

事業年度	令和5年度
工事種別	新営工事（建築工事）
工事番号	文ス工-6

工事名 広見市民グラウンド屋外便所新築工事

◎注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。
積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市 市民文化部 文化スポーツ課

当初 設計書

工事番号	文ス工-6	工事箇所	可児市 石井 地内	施設名	広見市民グラウンド	
工事名	広見市民グラウンド屋外便所新築工事					
理 由			工 事 概 要			
<p>当施設内の便所が、老朽化による劣化が進んでいるため。また、今年度運動公園整備事業が予定されており、代替施設として利用者が多くなると想定されるため。</p>			<p>・新築工事 1式 棟数 : 1棟 構造・階数: プレハブ造平屋 建築面積 : 28.27㎡ 延床面積 : 23.19㎡</p> <p>・解体工事 1式 構造・階数: プレハブ造平屋 建築面積 : 7.2㎡ 延床面積 : 7.2㎡</p>			
金 額		円	内消費税相当額		円	
特 記 仕 様 書						
<p>1. 一般事項</p> <p>(1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。</p> <p>(2) 受注者は、本工事が「可児市工物品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。</p> <p>(3) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿(指示、協議、承諾は除く)、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。</p> <p>2. 建設副産物有効利用及び適正処理について</p> <p>(1) 受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。</p> <p>(2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立等規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。</p> <p>3. 使用材料</p> <p>(1) 生コンクリートについて 本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート(24N/mm²以上)については55%以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート(21N/mm²以下)については60%以下、均しコンクリートについては60%程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。</p> <p>4. 工事施工について</p> <p>(1) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないように努めること。</p> <p>(2) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。</p> <p>5. 工事保険について 本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険(保険対象:第三者に与えた損害)及び工事保険(保険対象:工事目的物、工事材料及び仮設物等)に加入するものとする。</p> <p>6. ワンデーレスポンスの取組について</p> <p>(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。 「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。</p> <p>(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。</p> <p>(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。</p> <p>(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。</p>						

7. 電子納品について
「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。
8. 暴力団等による不当介入における通報義務について
(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年可児市訓令甲第47号)に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。
(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。
9. 現場代理人の兼務について
現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。
また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。
1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が4,000万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。
なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。
現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。
10. 可児市公共基準点の保全について
公共施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点紙を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう充分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。
11. 法定外の労災保険の付保
本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
12. 建築物・工作物等の解体・改修工事に伴うアスベスト調査について
工事規模、請負金額にかかわらず事前にアスベストの使用の有無の事前調査を行うこと。
また、一定規模以上の工事は、事前調査結果を岐阜県に報告すること。
14. 統一の一斉休工の取組について
(1) 本工事は「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、「公共工事における統一の一斉休工(略称:まんなかホリデー)」に取組む対象工事である。なお、本取組は強制的な一斉休工や工程の調整を求めものではない。
(2) 対象工事は、工事着手日～工事の終期(契約工期末)までの期間において、毎月第2土曜日の一斉休工に積極的に取組むものとする。なお、統一の一斉休工の実施日が変更となった場合は、別途、監督員より協議する。
(3) 統一の一斉休工の実施状況について、発注者より確認やアンケートを求められた場合は、受注者はこれに協力するものとする。
13. その他
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版
・工用水・電気については施設内のものを使用することができる。ただし、有償とする。

その他図面特記仕様書による。

特記仕様書
(条件明示)

工事名 広見市民グラウンド屋外便所新築工事

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 工種 (電気設備工事: 広見市民グラウンド照明LED化工) <input checked="" type="checkbox"/> B. 期間 (令和5年7月14日 ~ 令和5年11月30日)
	<input type="checkbox"/> 2. 他機関協議による工程条件あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 期間 (~)
	<input type="checkbox"/> 3. 他機関との協議状況	<input type="checkbox"/> A. 協議済機関及び内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議機関及び内容 ()
	<input type="checkbox"/> 4. 占用許可状況 ()	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 建築確認	<input checked="" type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 6. 河川区域、保全区域内作業あり	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 7. 文化財協議 (文化財課)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 施工時期	<input checked="" type="checkbox"/> A. 施工時期 (担当課と協議の上進めること)
	<input type="checkbox"/> 9. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
用 地	<input type="checkbox"/> 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	<input type="checkbox"/> A. 区間 (No. ~ No.) <input type="checkbox"/> B. 着工見込時期 () <input type="checkbox"/> C. 内容 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 工事用地の未買収	<input type="checkbox"/> A. 場所 () <input type="checkbox"/> B. 処理の見込み時期 () <input type="checkbox"/> C. 未買収地への立ち入り可否 ()
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> A. 官有地 <input type="checkbox"/> B. 民有地 <input type="checkbox"/> C. その他 () <input type="checkbox"/> D. 別途協議
	<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
公 害 対 策	<input type="checkbox"/> 1. 施工方法の制限あり	<input type="checkbox"/> A. 騒音 () <input type="checkbox"/> B. 振動 () <input type="checkbox"/> C. 水質 () <input type="checkbox"/> D. その他 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ()
	<input type="checkbox"/> 3. 環境影響調査あり	<input type="checkbox"/> A. 生物・植物調査あり
	<input type="checkbox"/> 4. 土壌汚染対策法に関する届出	<input type="checkbox"/> A. 届出済 (3,000㎡以上の土地の形質の変更、工事着手30日前まで)
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 石綿含有に関する事前調査	<input type="checkbox"/> A. 発注者による含有調査 () <input checked="" type="checkbox"/> B. 受注者による含有調査 <input checked="" type="checkbox"/> C. 調査結果の報告 (一定規模以上)
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. フロン回収あり <input type="checkbox"/> B. その他 ()
安 全 対 策	<input type="checkbox"/> 1. 交通規制あり	<input type="checkbox"/> A. 全面通行止め <input type="checkbox"/> B. 片側通行止め <input type="checkbox"/> C. 時間制限あり ()
	<input type="checkbox"/> 2. 通学路あり	<input type="checkbox"/> A. 迂回路あり <input type="checkbox"/> B. 仮設歩道必要
	<input type="checkbox"/> 3. 交通整理員	<input type="checkbox"/> A. 区間 (No. ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間 (No. ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間 (No. ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
	<input type="checkbox"/> 4. 鉄道等の近接作業制限あり	<input type="checkbox"/> A. 工法制限あり () <input type="checkbox"/> B. 作業時間制限あり ()
	<input type="checkbox"/> 5. バス路線 (運行者との協議)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ()
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
工 事 用 道 路	<input type="checkbox"/> 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	<input type="checkbox"/> A. 搬入経路指定あり <input type="checkbox"/> B. 時間帯制限あり
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> A. 一般交通供用あり <input type="checkbox"/> B. 安全施設必要 () <input type="checkbox"/> C. 路面工 () <input type="checkbox"/> D. 工事完了後存続又は撤去 () <input type="checkbox"/> E. 構造 () <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他)
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
指 定 仮 設 備	<input type="checkbox"/> 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 内容 ()
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()

明示項目	明示事項	制約条件等
建設発生土 建設（産業）廃棄物 関係	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	<input checked="" type="checkbox"/> A. 運搬距離 (7.0 km) <input type="checkbox"/> B. 投棄料計上あり <input type="checkbox"/> C. 整地（押土、敷均、締固等）必要 <input type="checkbox"/> D. 整地（押土）必要
	<input type="checkbox"/> 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	<input type="checkbox"/> A. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> B. スtockヤード利用あり () <input type="checkbox"/> C. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> D. 運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> E. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	<input type="checkbox"/> A. 場所 () <input type="checkbox"/> B. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> C. 整地（押土、敷き均し、転圧）あり <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり () <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> F. 運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> G. 仮置場の用地借上費計上あり <input type="checkbox"/> H. 処分料計上あり
	<input type="checkbox"/> 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	<input type="checkbox"/> A. 他工事名 () <input type="checkbox"/> B. 請負者運搬あり（運搬距離 km） <input type="checkbox"/> C. 盛土、埋戻し <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり () <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> F. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	<input type="checkbox"/> A. 種類 () <input type="checkbox"/> B. 場所 () <input type="checkbox"/> C. 中間処理施設までの運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> D. 処理費計上あり
	<input type="checkbox"/> 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	<input type="checkbox"/> A. 槽内洗浄必要 <input type="checkbox"/> B. 可児市環境課と打合せの必要あり
	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 産業廃棄物管理票（マニフェスト） <input type="checkbox"/> B. 建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書 <input checked="" type="checkbox"/> C. コプリス <input checked="" type="checkbox"/> D. 廃棄物処理委託契約、許可書
工事支障物件	<input type="checkbox"/> 1. 占用支障物件あり（電気）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（R 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 2. 占用支障物件あり（電話）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（R 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 3. 占用支障物件あり（水道）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（R 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 4. 占用支障物件あり（下水道）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（R 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 5. 占用支障物件あり（ガス）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（R 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 6. 占用支障物件あり（マンホール蓋、仕切り弁蓋等）	<input type="checkbox"/> A. 管理者による高さ調整 () <input type="checkbox"/> B. 請負者による高さ調整 ()
	<input type="checkbox"/> 7. 占用支障物件あり（その他）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 () <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
排水工関係	<input type="checkbox"/> 1. 濁水、湧水処理条件あり	<input type="checkbox"/> A. 方法 ()
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
再生材使用	<input type="checkbox"/> 1. 再生材使用指定あり	<input type="checkbox"/> A. RC <input type="checkbox"/> B. アスファルト再生合材（30%再生） <input type="checkbox"/> C. アスファルト再生合材（100%再生） <input type="checkbox"/> D. 再生材を使用できない場合別途協議 <input type="checkbox"/> E.
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
その他	<input type="checkbox"/> 1. 現場発生材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 () <input type="checkbox"/> B. 納入場所 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 支給材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 () <input type="checkbox"/> B. 引渡し場所 ()
	<input type="checkbox"/> 3. 現場環境改善	<input type="checkbox"/> A. 仮設費 () <input type="checkbox"/> B. 安全費 () <input type="checkbox"/> C. 営繕費 () <input type="checkbox"/> D. 地域連携 ()
	<input type="checkbox"/> 4. 「可児市工事品質証明実施要領」該当あり	<input type="checkbox"/> A. 品質証明員の配置あり
	<input type="checkbox"/> 5. 部分使用	<input type="checkbox"/> A. 範囲 () <input type="checkbox"/> B. 時期 ()
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()

記号	工事名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	広見市民グラウンド屋外便所新築工事						
A	建築工事		1.0	式			
E	電気設備工事		1.0	式			
M	機械設備工事		1.0	式			
I	直接工事費 計		1.0	式			
II	共通仮設費	(共通仮設工事費積上分を含む)	1.0	式			
	純工事費 計						
III	現場管理費		1.0	式			
	工事原価 計						
IV	一般管理費等負担額		1.0	式			
	工事価格 計						
V	消費税相当額		1.0	式			
	総合計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	建築工事						
	仮設工事		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	地業工事		1.0	式			
	鉄筋工事		1.0	式			
	コンクリート工事		1.0	式			
	ユニット工事		1.0	式			
	外構工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
A-2	発生材処理		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	仮設工事						
	養生		28.3	m ²			
	清掃・片付け	(施工中)	28.3	m ²			
	竣工時清掃		28.3	m ²			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	土工事						
	根切		29.6	m3			
	床付け		34.2	m2			
	埋戻し		5.5	m3			
	残土処分	積込運搬処分	24.1	m3			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	地業工事						
	砕石	基礎下 RC40	3.4	m3			
	砕石	犬走り下 RC40	0.7	m3			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	鉄筋工事						
	D13		671.0	kg			
	加工組立		671.0	kg			
	運搬		671.0	kg			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	コンクリート工事						
	型枠		5.5	m2			
	コンクリート	Fc21-15-25	5.7	m3			
	打設手間		5.7	m3			
	ポンプ圧送		1.0	回			
	型枠		17.3	m2			
	面木		25.3	m			
	コンクリート	Fc21-15-25	4.1	m3			
	打設手間		4.1	m3			
	ポンプ圧送		1.0	回			
	金鋺押え		13.3	m2			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ユニット工事						
	ユニットトイレ本体		1.0	式			
	積込運搬費		1.0	式			
	組立据付費	シーリング含む	1.0	式			
	設置用クレーン費	ラフテレーンクレーン 50t オペレーター付き	1.0	日			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	外構工事						
	雨水樹	240	2.0	基			
	樹蓋	コンクリート	2.0	枚			
	排水管	VP100	4.4	m			
	U字溝	U120、L=1000	6.0	m			
	ステンレスグレーチング	U120用、L=1000、 滑り止め模様、P=30、隙間26	6.0	枚			
	ステンレスグレーチング	U240用、L=1000、 滑り止め模様、P=10、隙間6	7.0	枚			
	既設グレーチング 移設	U240用、L=1000、手間のみ	2.0	枚			
	既設コンクリート蓋 移設	U240用、L=600、手間のみ	3.0	枚			
	アスファルト舗装	t=50表層のみ	33.4	m2			
	砂利敷	B種 t=60	11.2	m2			
	ステンレス手摺	外周側 SUS304、φ34、HL	1.0	箇所			
	ステンレス手摺	内周側 SUS304、φ34、HL	1.0	箇所			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	スロープ						
	根切		9.6	m3			
	床付け		18.2	m2			
	砕石	RC40	0.7	m3			
	捨てコン		0.3	m3			
	鉄筋	D13	94.6	kg			
	加工組立		94.6	kg			
	運搬		94.6	kg			
	型枠	打放	20.6	m2			
	スリーブ	φ 60、L=300	19.0	箇所			
	コンクリート	Fc21-15-25	2.0	m3			
	打設手間		2.0	m3			
	ポンプ圧送		1.0	回			
	打放面補修		16.3	m2			
	天端金鋸押え	W=150	14.5	m			
	手摺支柱モルタル詰め		19.0	箇所			
	面木	▼20*20	35.6	m			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	砕石	RC40	1.1	m3			
	鉄筋	D13	104.0	kg			
	加工組立		104.0	kg			
	運搬		104.0	kg			
	型枠		0.3	m2			
	土間コンクリート	Fc21-15-25	1.4	m3			
	打設手間		1.4	m3			
	ポンプ圧送		1.0	回			
	刷毛引き仕上	スロープ面	4.8	m2			
	目地	10*10	1.4	m			
	注意喚起タイル	300*300	6.0	枚			
	埋戻し		4.3	m3			
	残土処分	積込運搬処分	5.4	m3			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						
	プレハブトイレ上屋解体		7.2	m2			
	コンクリート土間解体	AS下土間、手洗い共	4.3	m3			
	アスファルト舗装 カッター入れ	t=50	14.9	m			
	アスファルト舗装 撤去		69.5	m2			
	コンクリート雨水桝 撤去	300*300	1.0	箇所			
	塩ビ雨水桝 撤去	100φ	1.0	箇所			
	塩ビ雨水管 撤去	VP100	7.8	m			
	U字溝 撤去	U-180	3.6	m			
	U字溝 撤去	U-100	3.5	m			
	グレーチング 撤去	手洗い部 (W450)	1.4	m			
	グレーチング 撤去	U-100部	3.5	m			
	コンクリート蓋 撤去	W330、L=600	8.0	枚			
	コンクリート蓋 撤去	W330、L=1000	2.0	枚			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
A-2	発生材処理						
	積込		1.0	式			
	運搬		1.0	式			
	処分		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	積込						
	コンクリートがら	積込	4.5	m3			
	アスファルト舗装	積込	3.5	m3			
	陶磁器くず	積込	0.4	m3			
	混合廃棄物	積込	2.3	m3			
	廃プラスチック類	積込	0.1	m3			
	金属くず (ステンレス)	積込	3.1	kg			
	金属くず (スチール)	積込	61.7	kg			
	発生土	積込	5.3	m3			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	運搬						
	コンクリートがら	運搬	4.5	m3			
	アスファルト舗装	運搬	3.5	m3			
	陶磁器くず	運搬	0.4	m3			
	混合廃棄物	運搬	2.3	m3			
	廃プラスチック類	運搬	0.1	m3			
	金属くず (ステンレス)	運搬	3.1	kg			
	金属くず (スチール)	運搬	61.7	kg			
	発生土	運搬	5.3	m3			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	処分						
	コンクリートがら	処分	4.5	m3			
	アスファルト舗装	処分	3.5	m3			
	陶磁器くず	処分	0.4	m3			
	混合廃棄物	処分	2.3	m3			
	廃プラスチック類	処分	0.1	m3			
	金属くず (ステンレス)	処分	3.1	kg			
	金属くず (スチール)	処分	61.7	kg			
	発生土	処分	5.3	m3			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
II	共通仮設積上						
	仮設便所	施設利用者用	2.0	棟			
	アスベスト含有調査	定性	1.0	検体			
	アスベスト含有調査	定量	1.0	検体			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
E	電気設備工事						
	構内配電線路		1.0	式			
	小 計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	構内配電線路						
	電線管	(G36)露出	7.0	m			
	電線管	(G28)露出	6.0	m			
	電線管	(G22)露出	20.0	m			
	電線管	(FEP30)埋設	7.0	m			
	可とう電線管	(F38)露出	2.0	m			
	可とう電線管	(F30)露出	2.0	m			
	可とう電線管	(F24)露出	5.0	m			
	支線	(メッセン5.5°)架空	5.0	m			
	ケーブル	EM-CE8.0° -3C 管内	9.0	m			
	ケーブル	EM-CE5.5° -2C 管内	8.0	m			
	ケーブル	EM-CE5.5° -2C 樹脂管内	7.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 架空	1.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C 管内	27.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C 架空	4.0	m			
	電線	E3.5° 管内	9.0	m			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	電線	E2.0° 管内	8.0	m			
	電線	E2.0° 樹脂管内	7.0	m			
	積算メーター	WHM	1.0	面			
	電灯分電盤	L-1	1.0	面			
	コンクリート柱	7-19-5.0	1.0	式			代-1
	照明器具	A	1.0	個			
	プルボックス	150*150*150(WP・SUS)	2.0	個			
	土工事		1.0	式			別-2
	接地工事		1.0	式			別-3
	撤去工事		1.0	式			別-1
	小 計						

改 計

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
代-1	CP代価表						
	コンクリート柱	7-19-5.0	1.0	m ³			
	基礎コンクリート工事	打設	0.1	m ³			
	根切	バックホウ 0.13m ³	0.1	m ³			
	運搬機械	2tトラック クレーン付き	1.0	日			
	機械運転		1.0	日			
	支線		1.0	カ所			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別-1	撤去工事別紙明細						
	電線管	(HIVE22)露出	15.0	m			
	電線管	(PF22)露出	3.0	m			
	ケーブル	CV2.0° -3C 管内	4.0	m			
	ケーブル	VVF2.0-2C 管内	11.0	m			
	ケーブル	VVF2.0-2C 樹脂管内	3.0	m			
	電灯分電盤	L-1	1.0	面			
	鋼管柱	4.5m	1.0	本			
	照明器具	防犯灯	1.0	個			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別-2	土工事別紙明細						
	根切	バックホウ 0.13m ³	3.3	m ³			
	砂類		0.8	m ³			
	碎石地業		0.4	m ³			
	埋め戻し	バックホウ 0.13m ³	2.0	m ³			
	埋設テープ		6.8	m			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
M	機械設備工事						
	給水設備工事		1.0	式			
	排水設備工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	給水設備工事						
	硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP-20A 地中	6.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP-25A 地中	24.0	m			
	仕切弁	GV-20 10K	4.0	個			
	弁篋	VC-P	4.0	個			
	土工事	給水配管	1.0	式			別-4
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	排水設備工事						
	排水 硬質ポリ塩化ビニル管	VP-100 地中	7.0	m			
	インバート桧 塩ビ製 防護蓋	200×100 L 500(A)	1.0	組			
	インバート桧 塩ビ製 防護蓋	200×100 Y 500(A)	1.0	組			
	インバート桧 塩ビ製	200×100 DRY 800H(A)	1.0	組			
	铸铁防護蓋	T-14 ロック式	2.0	組			
	土工事	配水配管	1.0	式			別-5
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						
	撤去 給水配管設備工事		1.0	式			別-6
	撤去 排水配管設備工事		1.0	式			別-7
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	別-4	土工事 給水配管					
	堀方	機械 バックホウ 0.13m3	8.9	m3			
	埋戻し	機械 バックホウ 0.13m3	6.1	m3			
	山砂の類		2.9	m3			
	埋設シート	W150	30.0	m			
	埋設表示杭	鉄鉾	3.0	ヶ所			
	埋設表示杭	コンクリート製	6.0	ヶ所			
	合計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	別-5	土工事 排水配管					
	掘方	機械	4.1	m3			
	埋戻し	機械	1.5	m3			
	山砂の類		1.1	m3			
	合計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	別-6	撤去 給水配管設備工事					
	硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP-20A 地中	28.0	m			
	配管切断 樹脂類	20A	5.0	ヶ所			
	堀方	機械	9.7	m3			
	埋戻し	機械	9.7	m3			
	合計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	別-7	撤去 排水配管設備工事					
	排水 硬質ポリ塩化ビニル管	VP-50 地中	1.0	m			
	排水 硬質ポリ塩化ビニル管	VP-100 地中	3.0	m			
	配管切断 樹脂管類	50A	1.0	ヶ所			
	配管切断 樹脂管類	100A	1.0	ヶ所			
	掘方	機械	0.8	m3			
	埋戻し	機械	0.8	m3			
	合計						
	改め計						


広見市民グラウンド屋外便所新築工事

図面リスト								
番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺
A - 01	特記仕様書 1	——	A - 16	建具キープラン、建具表	1/100、1/50	E - 01	電気設備 特記仕様書	——
A - 02	特記仕様書 2	——	A - 17	展開図 1	1/50	E - 02	電気設備 改修 部分配置図	1/100
A - 03	特記仕様書 3	——	A - 18	展開図 2	1/50	E - 03	電気設備 撤去 部分配置図	1/100
A - 04	特記仕様書 4	——	A - 19	伏図、配筋図 1	1/100	E - 04	電気設備 平面図、機器表	1/50
A - 05	特記仕様書 5	——	A - 20	配筋図 2	1/100			
A - 06	配置図 設計概要 面積表 案内図	1/600	A - 21	土質柱状図	——	M - 01	機械設備 特記仕様書	——
A - 07	敷地求積図	1/600	A - 22	外構図、詳細図 1	1/100、1/50	M - 02	機械設備 部分配置図	1/100
A - 08	現況 部分配置図	1/100	A - 23	詳細図 2	1/50	M - 03	機械設備 平面図、機器表	1/50
A - 09	計画 部分配置図	1/100	A - 24	除却建物 平面図、立面図	1/50、1/100			
A - 10	仮設計画図	1/300						
A - 11	平面図、求積図	1/50、1/100						
A - 12	屋根伏図、仕上表	1/50						
A - 13	立面図	1/50						
A - 14	断面図	1/50						
A - 15	矩計図、部分詳細図	1/30						

設計工房古山

Ⅱ 建築工事仕様			章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																	
工事概要 工事名称 広見市民グラウンド屋外便所新築工事 主要用途 公衆便所 工事種別 増築（新築） 敷地 地名地番 岐阜県可児市石井237-1 敷地面積 都市計画法等 都市計画区域 <input checked="" type="radio"/> 都市計画区域内（・市街化区域・市街化調整区域 <input type="radio"/> その他） ・都市計画区域外 用途地域 <input checked="" type="radio"/> （指定無しⅢ） 防火地域 ・防火地域 ・準防火地域 ・指定なし その他の指定 ・22条指定区域内 <input type="radio"/> 22条指定区域外（ <input type="radio"/> ） 建築基準法 道路 ・国道 ・県道 <input checked="" type="radio"/> 市道 ・町道 ・村道 ・私道 <input checked="" type="radio"/> 法定外道 指定の建ぺい率 60.00 % 指定の容積率 200.00 % 工事建物の概要 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td colspan="2">屋外便所</td></tr> <tr><td>構造</td><td>プレキャスト（鉄筋コンクリート造）</td></tr> <tr><td>階数</td><td>1階</td></tr> <tr><td>延床面積</td><td>23.19 m²</td></tr> <tr><td>建築面積</td><td>28.27 m²</td></tr> </table> 工事の範囲 <input checked="" type="radio"/> 建築主体工事（屋外便所棟 新築）一式 <input checked="" type="radio"/> 外構工事 <input checked="" type="radio"/> 舗装一式 <input checked="" type="radio"/> 電気設備工事一式 <input checked="" type="radio"/> 機械設備工事一式 <input type="radio"/> 解体工事一式 別途工事 ・駐車場一式 ・消防活動空地一式 ・植栽一式 ・昇降機設備工事一式 ・電話工事一式 ・搬送設備工事一式			屋外便所		構造	プレキャスト（鉄筋コンクリート造）	階数	1階	延床面積	23.19 m ²	建築面積	28.27 m ²	① 共通事項 ③ 工事実績情報サービス (CORINS) の登録 工事請負金額が500万円以上（消費税込み）の工事について、工事実績情報サービス (CORINS) を登録するものとする。 （登録先：（一財）日本建設情報総合センター） なお、登録内容を訂正する必要がある場合は、標準仕様書に記載された登録の順に準じて訂正するものとする。 また、変更契約日と工事完了日の間が、10日に満たない場合は、変更契約時の登録されたことを証明する資料の提出を省略できる。 ④ 概成工期 総合試運転調整を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね（10）日前までに支障のない状態まで完了していること。 ⑤ 施工計画書 [1.2.2] 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書（総合施工計画書）を作成し、監督員に提出する。また、次の工種に該当する工事の施工計画書を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。 <input checked="" type="radio"/> 仮設工事 <input checked="" type="radio"/> 土工事 <input checked="" type="radio"/> 地業工事 <input checked="" type="radio"/> 鉄筋工事 <input checked="" type="radio"/> コンクリート工事 <input type="radio"/> 鉄骨工事 ・コンクリートブロック・ALCパネル、押出成形セメント板工事 ・防水工事 ・石工事 ・タイル工事 ・木工事 ・屋根及びとい工事 ・金属工事 ・左官工事 ・建具工事 ・カーテンウォール工事 ・塗装工事 ・排水工事 ・舗装工事 ・植栽及び屋上緑化工事 <input checked="" type="radio"/> ユニットおよびその他工事 ⑥ 電気保安技術者 <input checked="" type="radio"/> 適用する [1.3.3] ⑦ 施工条件 <input checked="" type="radio"/> 適用する [1.3.5] <input checked="" type="radio"/> 施工時間（※追加特記仕様書による <input checked="" type="radio"/> 監督員の指示による） <input checked="" type="radio"/> 施工順序（・指定なし ・図示 <input checked="" type="radio"/> 監督員の指示による） <input checked="" type="radio"/> 工事用車両の駐車場（・指定なし ・図示 <input checked="" type="radio"/> 敷地内） <input checked="" type="radio"/> 資機材置場（・指定なし ・図示 <input checked="" type="radio"/> 敷地内） <input checked="" type="radio"/> 現場事務所（ <input checked="" type="radio"/> 指定なし ・図示 ・敷地内） <input checked="" type="radio"/> 建設発生土仮置場（・指定なし ・図示 <input checked="" type="radio"/> 敷地内） ⑧ 創意工夫 受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。 9 発生材の処理等 [1.3.11] ※引渡しを要するもの（・金属類 ※PCB含有物 ・） ・特別管理産業廃棄物（※廃石綿 ・） ・現場において再利用を図るもの（） ※再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の提出 建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督員に提出するものとする。 なお、計画書は、「建設副産物情報交換システム」（COBRIS）により作成したものとする。 ⑩ 環境への配慮 <input checked="" type="radio"/> 印は「国等による環境物品等の調達に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。 原則としてグリーン購入法における特定調達品目の使用に努めること。 判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針の変更（平成31年2月8日閣議決定）」による。 [1.4.1] 1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次のi)からiv)を満たすものとする。 i) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ii) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。	① 共通事項 <input checked="" type="radio"/> 材料の品質等 [1.4.2] 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料等は、次の1)から6)の事項を満たすものとする。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料等を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断に基準に従い、あらかじめ、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁 平成18年2月15日）に準拠した証明書を監督員へ提出する。 ⑫ 特別な材料の工法 改修標準仕様書、標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 ⑬ 技能士 ※適用する [1.5.2] 適用する技能士 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能士検定職種</th> <th>技能検定作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td><input checked="" type="radio"/> 鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>型枠施工</td> <td><input checked="" type="radio"/> 型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート圧送施工</td> <td><input checked="" type="radio"/> コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>防水施工</td> <td><input checked="" type="radio"/> シリカ防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官</td> <td>・左官作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>配管</td> <td>・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>路面表示施工</td> <td>・溶融イントロッドマーカ工事作業 ・加熱イントロッドマーカ工事作業</td> </tr> </tbody> </table> 14 技能資格者 [1.5.3] ・溶接技能者（（一社）日本溶接協会が検定した技能資格を有する者） ・圧接技量資格者（JIS Z 3881（ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準）による技量を有する者） ⑮ 施工の検査等 ・その他監督員の指示による [1.5.5] ⑯ 施工の立ち会い等 ・その他監督員の指示による [1.5.7]	工事種目	技能士検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	・とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	<input checked="" type="radio"/> 鉄筋組立作業	コンクリート工事	型枠施工	<input checked="" type="radio"/> 型枠工事作業		コンクリート圧送施工	<input checked="" type="radio"/> コンクリート圧送工事作業	防水工事	防水施工	<input checked="" type="radio"/> シリカ防水工事作業	左官工事	左官	・左官作業	排水工事	配管	・建築配管作業	舗装工事	路面表示施工	・溶融イントロッドマーカ工事作業 ・加熱イントロッドマーカ工事作業
屋外便所																																									
構造	プレキャスト（鉄筋コンクリート造）																																								
階数	1階																																								
延床面積	23.19 m ²																																								
建築面積	28.27 m ²																																								
工事種目	技能士検定職種	技能検定作業																																							
仮設工事	とび	・とび作業																																							
鉄筋工事	鉄筋施工	<input checked="" type="radio"/> 鉄筋組立作業																																							
コンクリート工事	型枠施工	<input checked="" type="radio"/> 型枠工事作業																																							
	コンクリート圧送施工	<input checked="" type="radio"/> コンクリート圧送工事作業																																							
防水工事	防水施工	<input checked="" type="radio"/> シリカ防水工事作業																																							
左官工事	左官	・左官作業																																							
排水工事	配管	・建築配管作業																																							
舗装工事	路面表示施工	・溶融イントロッドマーカ工事作業 ・加熱イントロッドマーカ工事作業																																							
1. 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版) [以下「標準仕様書」という]、可児市建設工事共通仕様書、および建築工事標準図(最新版) [以下「標準図」という]による。 (2) 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、それぞれの工事仕様書を適用する。 (3) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査（同法第7条の3の定めによる中間検査を含む）時には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料（報告書等）を用意すること。 2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項の中で選択する事項（・印の付いたもの）は、 <input checked="" type="radio"/> 印の付いたものを適用する。 <input checked="" type="radio"/> 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 <input checked="" type="radio"/> 印と <input checked="" type="radio"/> 印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の [. . .] 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。 上記事実が発生した場合は、契約書第26条（臨機の措置）の規定による。 (5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例等を含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守[1.1.13]の規定を優先する。			① 共通事項 ① 適用基準 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和4年版）各図面において、（○-○○-○）内の数字は適用する上記詳細番号を示す。 工事写真撮影ガイドブック（平成30年度版）建築工事編及び解体工事編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） ② 適用区分 建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速（V ₀ = 32 m/s） 地表面粗度区分（Ⅲ） ・積雪荷重 ・建設省告示第1455号における区域別表（24）																																						
章 項目 特記事項 ① 共通事項 ① 適用基準 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和4年版）各図面において、（○-○○-○）内の数字は適用する上記詳細番号を示す。 工事写真撮影ガイドブック（平成30年度版）建築工事編及び解体工事編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） ② 適用区分 建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速（V ₀ = 32 m/s） 地表面粗度区分（Ⅲ） ・積雪荷重 ・建設省告示第1455号における区域別表（24）	章 項目 特記事項 ① 共通事項 ① 適用基準 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和4年版）各図面において、（○-○○-○）内の数字は適用する上記詳細番号を示す。 工事写真撮影ガイドブック（平成30年度版）建築工事編及び解体工事編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） ② 適用区分 建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速（V ₀ = 32 m/s） 地表面粗度区分（Ⅲ） ・積雪荷重 ・建設省告示第1455号における区域別表（24）	TITLE 広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図 No. A-01 NAME 特記仕様書 1		No. A-01 設計工房古山 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山光司	CHARGE 岐卓県可児市広見1丁目16番地 〒517-303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677	DESIGN																																			
Ver. 20200701			SCALE	DATE	TITLE	No.	CHARGE	DESIGN																																	
			—	2023.06.30	広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図	A-01	岐卓県可児市広見1丁目16番地 〒517-303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677																																		
				2023.08.10																																					
				2023.08.22																																					

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項		
① 共通事項	17 化学物質の濃度測定	[1.5.9] 1) 施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督員に報告する。	① 共通事項	②⑥ 完成写真	・騒音対策 隣地境界地点において騒音振動測定器を設置し測定管理すること。 ・夜間照明 仮囲い上部に仮設夜間照明を設置すること。	① 共通事項	⑮ 工事着手前協議	受注者は工事請負契約後直ちに設計図書を照査し、受注者及び発注者側が現場状況を確認の上、設計と現地との整合性及び問題点を整理した後に、工事着手協議を発注者側の発議により開催するものとする。なお、立会者は発注者側が指定する。		
	⑱ 完成時の提出書類	[1.7.1~3][表1.7.1] ○完成図（施工図、施工計画書を除く）製本A3 2冊 ※新規に作成 ・既存完成図を修正 記載内容は監督員と協議する。 完成図CADデータ作成方法は「建築CAD図面作成要領」（平成17年4月改訂版）による。 ○保全に関する資料 提出 ※1部 ○2部 ○施工図 ○監督員の指示による 提出 ※原図及びその複写図1部 ○施工計画書 ○監督員の指示による 提出 ※1部 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督員の承諾を受ける。			撮影箇所数 ※（ ）箇所 ・航空写真（ ）箇所 本完成写真の著作権者の権利は、発注者に委譲するものとする。 提出内容 ※電子データ（JPEGフルカラー、圧縮率1/4程度）1部 画素数、画質等 4500×3000 ピクセル以上で画像補正を行ったもの 記録方式：RGB（フルカラー）、JPEG最高画質 記録媒体：CD-R（ISO）又はDVD-R ・カラープリント キャピネ版（ ）部 アルバム（黒表紙金文字300mm×300mm程度）・無し ※有りフォトブック 本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する「工事の請負に係る書類」様式に基づき作成する。 本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。		36 県産材の利用	「公共施設県産材利用推進方針」（岐阜県）に基づいて県産材利用促進に取り組む。		
	⑲ 営繕工事電子納品	「営繕工事電子納品要領」（令和元年改訂版）による。			⑳ 産業廃棄物の適正処理		産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。	⑰ その他	ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について (1) ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。 (2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。 工事施工に際し、在来部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならない補修する。 「日本工業規格」を「日本産業規格」に読み替える。 「改正工業標準化法（平成16年6月9日公布 法律第95号）」、「工業標準化法の一部を改正する法律（平成16年6月9日公布 法律95号）」、「改正工業標準化法（平成16年6月）をそれぞれ「産業標準化法」に読み替える。 適用日を令和元年7月1日とする。	
	⑳ 工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領（平成28年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。			㉑ 下請け業者等		下請け業者の選定に当たっては可児市入札参加資格停止の処置がなされていないこと。	② 仮設工事	1 足場その他	[2.2.4] 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 内部足場 ・設置する（※脚立、足場板等） ・設置しない 外部足場 ・設置する ・設置しない 防護シート ・設置する ・設置しない ・外部足場の防護シートによる養生（養生シート ・防音シート）
	㉑ 設計GL	※設計GL=BM +150 mm			㉒ ワンデーレスポンス		妨害又は不当要求に対する通報義務 1) 受注者は、契約の履行に当たって暴力団関係者等から事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報をしなければならない。なお、通報がない場合は入札参加資格を停止をすることがある。 2) 受注者は、暴力団等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に業務を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。		② 監督職員事務所	・設ける ・構内に新設する。 規模(m2程度) ・10 ・20 ※35 ・65 ・100 ○設けない
	㉒ 建設機械	1) 本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正 平成13年4月9日国土交通省告示第487号）に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 2) 本工事においては「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成18年3月17日国総施第215号、最終改定 平成23年7月13日国総環第1号）」に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制公募課題「建度設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はあるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。 排出ガス対策建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。			㉓ 軽微な変更等		現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合請負金額の変更は行わない。		③ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（※有償 ・無償）
	23 設備工事との取り合い	本工事の施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 施工図 ※設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督員の承諾を受ける。			㉔ 事故防止策		安全施設の使用・設置 1 安全施設の使用・設置は関係法令等を順守するほか次のとおり講じなければならない。 (1) 原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合は、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 (2) 安全帯は一連の作業において親綱の架け替え等が生じる場合は、ハーネス型安全帯としなければならない。 定期安全訓練・研修等 2 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上時間を割当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集（下記URL参照）の活用により、工事現場で予想される事故防止対策を必ず実施すること。 (1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 (2) 当該工事内容等の周知徹底 (3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 (4) 当該工事における災害対策訓練 (5) その他、安全・訓練等として必要な事項 https://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/jikojireishuu.html		④ 工事電力	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
	㉔ 事故報告	※工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通知するとともに、事故発生報告書を監督員に速やかに提出すること。			③ 土工事		① 埋戻し及び盛土		① 埋戻し及び盛土	[表3.2.1] [3.2.3] ※表3.2.1による種別 ・A種 適用場所（ ） ○B種 適用場所（ ） ・C種 適用場所（ ） 土質（ ） 受渡場所（ ） ・D種（細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする）適用場所（ ） ・材料及び工法 材料（ ） 工法（ ）
	㉕ 養生その他	工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならない補修する。 ※粉じん対策 粉じんが発生する場合には、集塵機を設置すること。 工事車両の洗車及び道路の清掃をすること。 搬出時等は、周辺道路への土砂等飛散防止に努めること。 ※安全対策 工事車両の出入口及び出隅部分に透明板付の仮囲いや赤色灯を設置すること。								

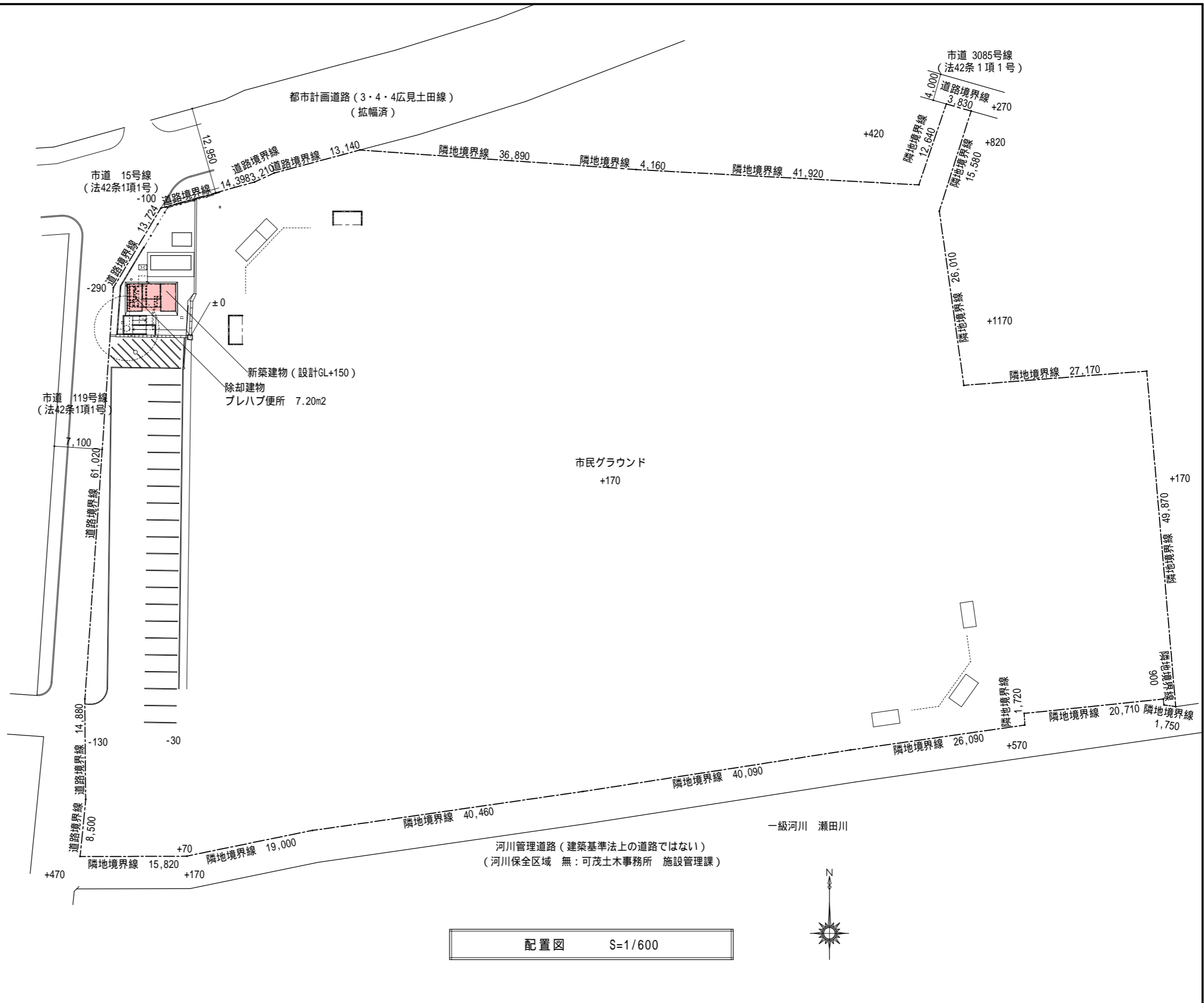
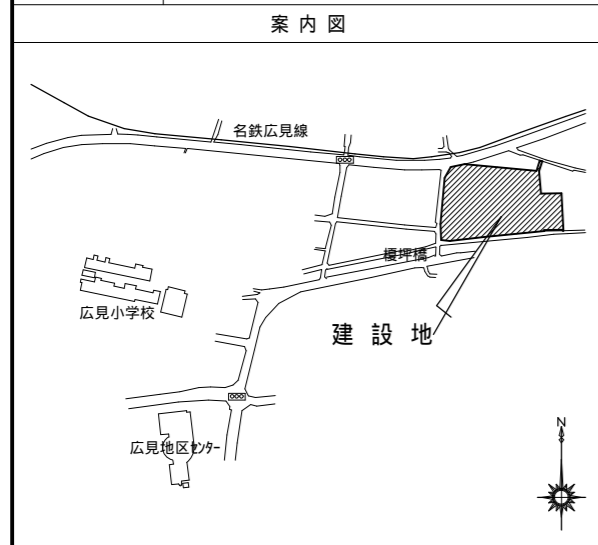
Ver. 20200701	SCALE	DATE	TITLE	No.	 設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 〒5147303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山 光 司	CHARGE	DESIGN
	—	2023.06.30	広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図	—			
	—	2023.08.10	NAME	A-02			
	—	2023.08.22	特記仕様書 2	—			


章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
③ 土工	2 建設発生土の処理	[3.2.5] 「建設発生土情報交換システム」(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 ・場外指定場所に搬出する。 搬出後、監督員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 ・場内指定場所に敷き均し() ・場内指定場所に堆積() ・岐阜県建設発生土管理基準により土壌検査を行う。	④ 地業 工事	試験杭 試験杭の位置・図示による() 杭の支持層への根入深さ・図示による() 杭の精度 水平方向の位置ずれ・杭径の1/4以下かつ100mm以下 杭の傾斜・1/100以内	④ 地業 工事		杭の継手の工法 ・溶接継手 形状・JIS A 5525による 溶接材料・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 認定等を受けた工法 検査 認定等により定められた項目 施工 認定をされた施工管理基準による	
	③ 建設汚泥の処理	本工事で建設汚泥が発生する場合は「建設汚泥の再生利用に関するガイドラインの策定について」(国営計第36号 平成18年 6月12日)、「建設汚泥の再生利用に関する実施要領について」(国営計第38号 平成18年 6月12日)に基づき建設汚泥の再生利用を行う。 再生利用の種類 埋戻し及び盛土材として利用 再生処理方法 脱水処理・安定処理(セメント、石灰による改良処理)要求品質 「建設汚泥処理土利用技術基準について」(国営計第41号 平成18年6月12日)表-4 建設汚泥処理土の適用用途標準」における下記の区分とする。 第3種処理土		・特定埋込杭工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式の内、 、 が下記の値を採用できる工法 =()、=()、=() 工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 杭周固定液・使用する・使用しない				杭頭の処理等 ・処理しない ・処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・図示による() 杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの
④ 地業 工事	① 地盤調査の結果	調査報告書 ①申請敷地の既往調査報告書のみによる 調査位置、柱状図、地層構成、地下水位 構造図()による	4 鋼杭地業	杭の継手の工法 ・アーク溶接継手 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5()による ・図示による() ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 検査 審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 施工 審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による	共通		基礎杭の適正な施工を確保するために講ずべき措置 (1)受注者は、基礎杭工事の施工前に設計図書等に記載された地盤条件、施工方法、工期等の基礎杭工事の施工に関する事項を確認し、基礎杭施工体制に係る全ての下請負人(以下「杭施工業者」という。)と共有すること。 (2)監理技術者又は、主任技術者(以下「監理技術者等」という。)は、現場条件に即した適正な基礎杭の施工を確保する計画、また記録データ消失に備え写真撮影等の施工記録に代替する記録を確保する手法をあらかじめ定めた施工計画書を作成し、監督員に説明を行うこと。 (3)監理技術者又は、主任技術者等は、基礎杭工事の施工前又は施工中に設計図書等に基づく施工が困難であること、設計図書等に示された地盤条件と現場条件とが異なることを杭施工者が発見した時は、書面をもってその旨報告させること。 監理技術者等は、杭施工者から報告がなされた場合には、監督員と遅滞なく協議をすること。 (4)監理技術者等は、試験杭施工について自ら立ち会い、原則として監督員の立ち会いを求めるとともに、杭施工業者の主任技術者に立ち会いのもとで支持層の位置等を確認すること。 (5)受注者は、すべての基礎杭施工に必ず立ち会い、支持層への到達を確認すること。また、監理技術者等は杭の施工に関する記録データ等、杭の支持層到達等を証明する記録を遅滞なく監督員へ提出すること。	
	② 支持地盤	[3.2.1][4.2.4][4.3.4~5][4.4.4][4.5.5~6] ・杭基礎 支持地盤の種類及び位置(基礎ぐいの先端の位置含む) 構造図()による ①直接基礎 支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む) 構造図()による 試験掘り(根切り底の状態の確認等) ・行わない ・行う 位置等・図示による() ・地盤の載荷試験 載荷試験の方法・地盤工学会基準 JGS 1521による 試験の位置、載荷荷重・図示による()		杭の精度 水平方向の位置ずれ・杭径の1/4以下かつ100mm以下 杭の傾斜・1/100以内				杭の継手の工法 ・溶接継手 形状・JIS A 5525による 溶接材料・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 認定等を受けた工法 検査 認定等により定められた項目 施工 認定をされた施工管理基準による
3 既製コンクリート杭地業	[4.2.2][4.3.1、3~6、8] 種類 ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) SC杭の鋼管材料・SKK400・SKK490 寸法、継手、性能等(種別:種類、性能及び曲げ強度区分)	鋼杭の材料 ・ 寸法、継手等	[4.2.2][4.3.8][4.4.3~6]	試験杭 種類 杭径 厚さ 杭長 継手数 ㄷ数 長期設計支持力(kN/本) 備考 試験杭 上杭 中杭 下杭 本杭 上杭 中杭 下杭	試験杭の適正な施工を確保するために講ずべき措置 (1)受注者は、基礎杭工事の施工前に設計図書等に記載された地盤条件、施工方法、工期等の基礎杭工事の施工に関する事項を確認し、基礎杭施工体制に係る全ての下請負人(以下「杭施工業者」という。)と共有すること。 (2)監理技術者又は、主任技術者(以下「監理技術者等」という。)は、現場条件に即した適正な基礎杭の施工を確保する計画、また記録データ消失に備え写真撮影等の施工記録に代替する記録を確保する手法をあらかじめ定めた施工計画書を作成し、監督員に説明を行うこと。 (3)監理技術者又は、主任技術者等は、基礎杭工事の施工前又は施工中に設計図書等に基づく施工が困難であること、設計図書等に示された地盤条件と現場条件とが異なることを杭施工者が発見した時は、書面をもってその旨報告させること。 監理技術者等は、杭施工者から報告がなされた場合には、監督員と遅滞なく協議をすること。 (4)監理技術者等は、試験杭施工について自ら立ち会い、原則として監督員の立ち会いを求めるとともに、杭施工業者の主任技術者に立ち会いのもとで支持層の位置等を確認すること。 (5)受注者は、すべての基礎杭施工に必ず立ち会い、支持層への到達を確認すること。また、監理技術者等は杭の施工に関する記録データ等、杭の支持層到達等を証明する記録を遅滞なく監督員へ提出すること。			
	SCALE	DATE 2023.06.30 2023.08.10 2023.08.22	TITLE 広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図	No. A - 03	設計工房古山 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山 光 司	CHARGE	DESIGN	
Ver.20200701						岐阜県可児市広見1丁目16番地 ㄱ1119303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677		

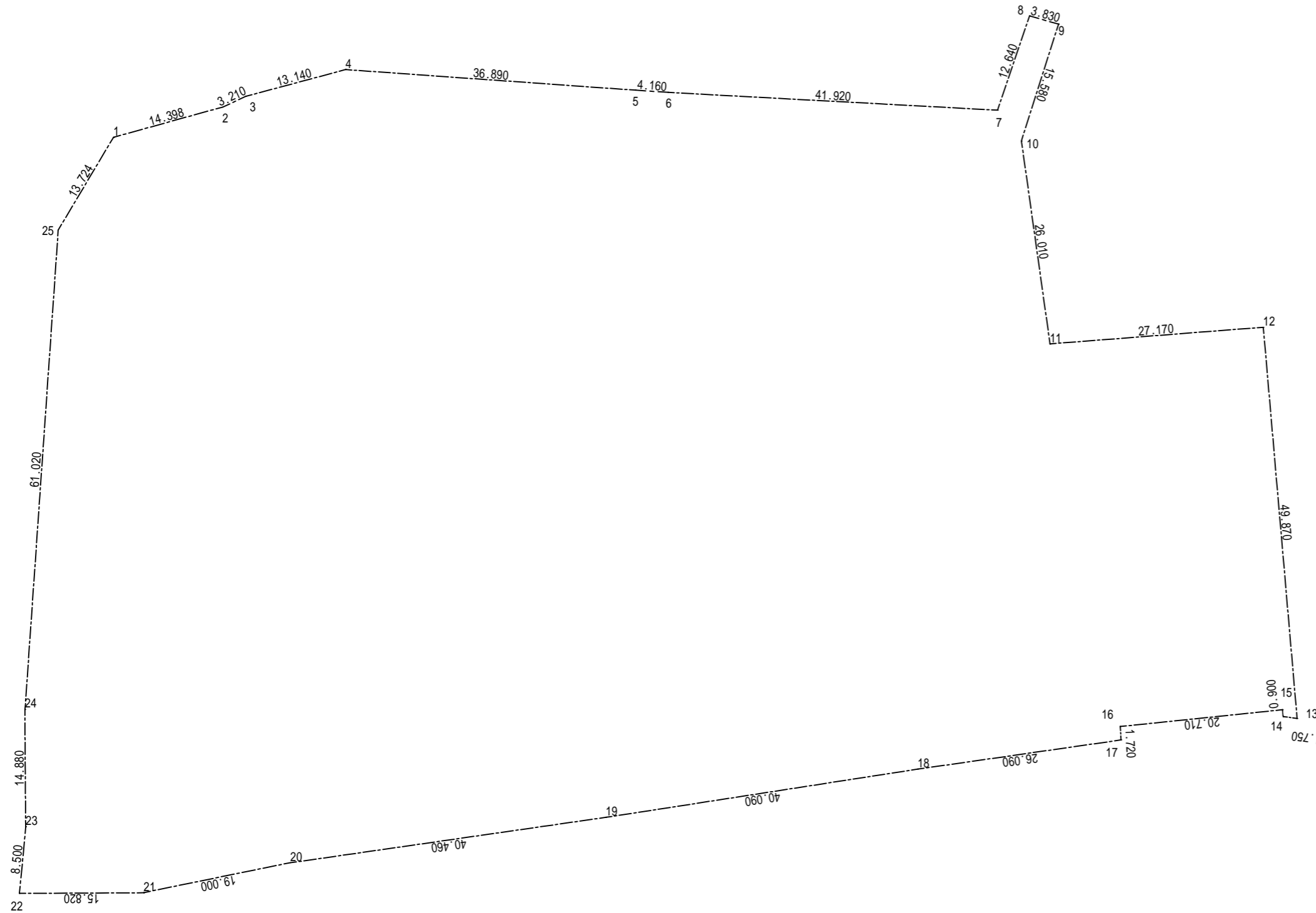
④ 地業 工事	⑤ 砂利地業	材料 ○再生クラッシャーラン ・切込砂利及び切込採石 [4.6.2~4.6.3] 砂利厚さ 60mm 適用場所 ・基礎下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ○図示による(A - 16、21、22)	⑤ 鉄筋 工事	⑤ 各部配筋	鉄筋相互のあき(機械式継手及び溶接継ぎ手を除く) ・図示による() ○図5.3.6による 各部配筋 [5.3.7] ○図示による()	⑥ コン クリ ート 工 事	⑧ 型枠	せき板の材料及び厚さ ○合板(○12mm ・) [G] [6.8.2] ・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 ・図示による() ・MCR工法用シート 適用箇所 ・図示による() 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による() スリーブの材種・規格等 ・図示による() 標準仕様書6.8.1表による		
	⑥ 捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ 50mm [4.6.4][6.14.1] 施工範囲 [4.6.4][6.14.1] ・基礎梁下、土に接するスラブ下 ○図示による(A - 21、22)		⑥ コン クリ ート 工 事	① コンクリートの種類		コンクリートの種類 [6.2.1] 類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・類(JIS A 5308に適合したコンクリート)	9 コンクリートの単位水量測定	実施要領 ・図示による()	
	7 床下防湿層	[4.6.5] 材料 ・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 施工範囲 ・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)		② コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等	普通コンクリートの設計基準強度 設計基準強度(N/mm ²) スラブ 気乾単位容積質量 (t/m ³) 適用箇所 2.4 ・ 2.3程度 ○2.1 ○1.5 基礎 ○1.8 ○1.5 捨てコン については構造体強度補正值(S)を適用すること。 ・調合強度()による。		7 鉄骨工事			
	8 地盤改良工法	種類及び施工方法等 ・図示による()		③ セメント	種類 [6.3.1] 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種(普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする) 適用箇所() ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所(基礎及び基礎梁) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所()		8 コンクリート用セメント・板工			
⑤ 鉄筋 工事	① 鉄筋の種類	鉄筋の種類 [5.2.1][表5.2.1] 種類の記号 呼び名(mm) 備考 ○SD295 D10、D13 ・SD345 ・ ・	④ 骨材	アルカリシリカ反応による区分 [6.3.1] A ・ B	⑥ コン クリ ート 工 事	9 防水工事				
	② 溶接金網	形状等 [5.2.2] 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) 使用部位 ○溶接金網 6*100*100 フカシ壁	⑤ 混和材料	○混和剤 [6.3.1] 混和剤の種類 [6.3.1](4)(a)による ・AE減水剤 ・混和材 混和材の種類 [6.3.1](4)(b)による		10 石工事				
	③ 鉄筋の継手及び定着	鉄筋の継手の方法等 [5.3.4][5.5.2][5.6.3] 部位 継手の方法 呼び径(mm) 地中梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 その他の鉄筋(土間、腰壁) ○重ね継手 継手位置 ○図示による() 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ ・図示による() 耐力壁の重ね継手の長さ ・図示による() 鉄筋の定着の長さ ○図示による()	6 構造体コンクリートの仕上がり	部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 [6.2.5] 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種別 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種		11 タイル工事				
	④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)	最小かぶり厚さ [5.3.5] ・図示による() ○表5.3.6による 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ○なし ・有り 適用箇所() 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 軽量コンクリートで土に接する部分 ○なし ・有り 適用箇所() 最少かぶり厚さに加える暑さ()mm 耐久性不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ○なし ・有り 適用箇所() 最少かぶり厚さのくわえる暑さ()mm	7 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	コンクリートの仕上りの平たんさ [6.8.1] 種別 適用箇所 ・a種 ・b種 ・c種 ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm		12 木工事				

13 屋根及び びとい 工事			17 カー テンウ ォール 工事		22 舗 装工 事	① 路床 [22.2.2、3、5][表22.2.1] 路床の材料 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・遮断層</td> <td>・川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシャー[G] ・クラッシャー ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量10%以下)</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量6%以下)</td> <td>・図示 ・</td> </tr> </table> 路床安定処理 ・添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 kg (目標CBR ・3以上 ・) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m ² 以上 ・ 厚さ(mm) ・0.5~1.0 ・ 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ 透水係数 ・1.5×10 ⁻¹ cm/sec以上 ・ 試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない	種 別	材 料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]	・図示 ・	・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・図示 ・	・凍上抑制層	・再生クラッシャー[G] ・クラッシャー ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量10%以下)	・図示 ・	・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量6%以下)	・図示 ・					
種 別	材 料	厚さ(mm)																								
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]	・図示 ・																								
・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・図示 ・																								
・凍上抑制層	・再生クラッシャー[G] ・クラッシャー ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量10%以下)	・図示 ・																								
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量6%以下)	・図示 ・																								
14 金属 工事	① 手すり ステンレスパイプ H L 34 H=800		18 塗 装工 事																							
15 左 官工 事	① 床コンクリート 直均し仕上 表面仕上：金鏝、スロープ部：刷毛引き 仕上りの平たんさ：15.4.2による 工法：15.4.3による		19 内 装工 事																							
16 建 具工 事	① アルミ製建具 性能値等 [16.2.2、4、5][表14.2.1][表16.2.1] 性能 外部に面する建具の種類 ・A種(建具符号： 建具表による) ・B種(建具符号： 建具表による) ・C種(建具符号： 建具表による) ・D種(建具符号： 建具表による) ・E種(建具符号： 建具表による) 枠の見込み寸法 建具表による 表面処理 (標準仕様書表14.2.1) 外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 着色 ①ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系		20 ユ ニ ット 及 び そ の 他 工 事	① ユニットトイレ 鉄筋コンクリート造 詳細寸法は各メーカー仕様とし、軽微な変更は可能とする。 カラーは監督員と協議の上、決定すること。 (一社)日本公園施設業協会 公園施設団体賠償保険加入製品とする。	② 路盤 [22.3.2、3、5][表22.3.1] 路盤の厚さ ・図示 路盤材料 種 別 <table border="1"> <tr> <td>・砕石</td> <td>・クラッシャー</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・粒度調整砕石</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①再生材</td> <td>①クラッシャー [G]</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・粒度調整砕石 [G]</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・クラッシャー鉄鋼スラグ [G]</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> <td></td> </tr> </table> 試験 路盤締固め度の試験 行う ・行わない	・砕石	・クラッシャー			・粒度調整砕石		①再生材	①クラッシャー [G]			・粒度調整砕石 [G]			・クラッシャー鉄鋼スラグ [G]			・粒度調整鉄鋼スラグ [G]			・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]	
	・砕石	・クラッシャー																								
	・粒度調整砕石																									
①再生材	①クラッシャー [G]																									
	・粒度調整砕石 [G]																									
	・クラッシャー鉄鋼スラグ [G]																									
	・粒度調整鉄鋼スラグ [G]																									
	・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																									
② アルミ製建具 性能値等 [16.2.2][16.4.2][16.6.2~5] 性能 外部に面する建具の耐風圧性 ①適用しない ・S-4(建具符号： 建具表による) ・S-5(建具符号： 建具表による) ・S-6(建具符号： 建具表による) ステンレス鋼板 SUS304、SUS430J1L 又はSUS443J1 表面仕上げ H L ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 普通曲げ ・角出し曲げ		21 排 水 工 事	① 屋外雨水排水 材料 <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>① 硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>① VP</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ VU</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ RS-VU [G]</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> </table> 側塊の形状及び寸法 ・図示 排水樹の種類 ①図示 砂地業に用いる材料 ・シルト ①山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 ①再生クラッシャー ・切込砂利又は切込砕石 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 18N/mm ² ・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 SD295A ・現場打ちの場合の足掛け金物 標準仕様書21.2.2(6)(イ) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 ・行う ①行わない	材種	管の種類	呼び径	備考	① 硬質ポリ塩化ビニル管	① VP	図示			・ VU	図示			・ RS-VU [G]	図示								
材種	管の種類	呼び径	備考																							
① 硬質ポリ塩化ビニル管	① VP	図示																								
	・ VU	図示																								
	・ RS-VU [G]	図示																								
③ 自閉式上吊り 引戸装置 性能値等 ①標準仕様書 表16.10.1による ②定トルクばね式 [16.10.3]			② 埋戻し土 B種																							
④ ガラス フロート板ガラス 品種及び厚さの呼びによる種類 建具表による 型板ガラス 厚さによる種類 建具表による 網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 建具表による [9.7] [16.14.2~4]						③ アスファルト舗装 [22.4.2~6][表 22.4.4] アスファルト舗装の構成及び厚さ 図示 材料 アスファルト ・再生アスファルト [G] ・ストレートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 [G] 加熱アスファルト混合物等の種類 <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>地域</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">表層</td> <td>・一般地域</td> <td>・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)</td> </tr> <tr> <td>・寒冷地域</td> <td>・密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td>一般及び寒冷地域</td> <td>粗粒度アスファルト混合物(20)</td> </tr> </table> シールコートの施工 ・行う ・行わない 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平たん性 通行の支障となる水たまりを生じない程度	区分	地域	種類	表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)	基層	一般及び寒冷地域	粗粒度アスファルト混合物(20)									
区分	地域	種類																								
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)																								
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)																								
基層	一般及び寒冷地域	粗粒度アスファルト混合物(20)																								

設計概要				
都市計画区域	地域内			
区域区分	区域区分非設定			
用途地域	指定無し(地域)			
防火指定	指定なし、法22条地域外			
	二方向道路 建蔽率1割増し			
建蔽率	60.00%(70.00)			
容積率	200.00%			
その他	砂防指定地(河川側一部)(今回:対象外)			
建物用途	公衆便所			
面積表				
敷地面積	13,259.47 m ²			
既設建物	構造	建築面積	床面積	最高高さ
器具庫	C B造	11.65	11.65	2,400
便所	木造	4.96	4.96	3,050
ベンチ	C B造	8.50	8.50	2,600
待機場	アルミ	14.04	14.04	2,620
休憩室	プレハブ	5.76	5.76	2,340
ベンチ	C B造	8.50	8.50	2,600
ベンチ	アルミ	11.04	11.04	2,250
待機場	アルミ	13.50	13.50	2,370
ベンチ	アルミ	11.20	11.20	2,250
計		89.15	89.15	
新築建物	構造	建築面積	床面積	最高高さ
新築建物	プレハブ	28.27	23.19	2,955
合計		117.42	112.34	
除却建物	構造	建築面積	床面積	最高高さ
除却建物	プレハブ	7.20	7.20	2,715




参考図による作図	SCALE	S=1/600	DATE	2023.06.30	TITLE 広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図	No. A - 06	 設計工房古山 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山 光司	岐阜県可児市広見1丁目16番地 沢川19303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677	CHARGE	DESIGN
			DATE	2023.08.10						
			DATE	2023.08.22						

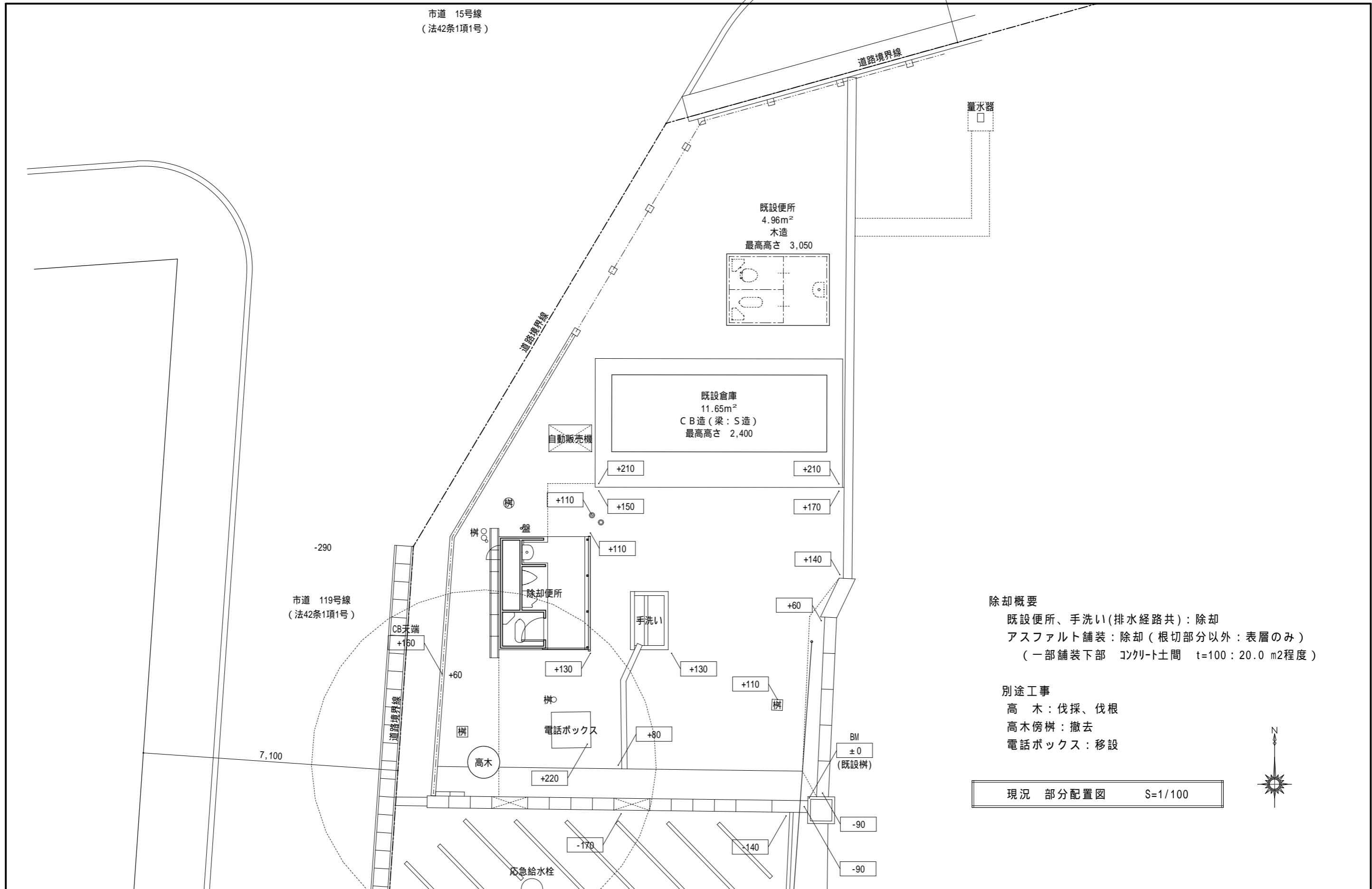


座標面積計算表

座標点	X _n (m)	Y _n (m)	(X _{n+1} - X _{n-1}) · Y _n
1	-63.978	38.263	800.129481
2	-50.105	42.115	706.806485
3	-47.196	43.471	678.231403
4	-34.503	46.872	2319.717980
5	2.295	44.274	1812.925056
6	6.445	43.981	2023.506982
7	48.304	41.720	1915.581028
8	52.360	53.691	415.602878
9	56.044	52.644	-54.565637
10	51.324	37.796	-41.564405
11	54.945	12.040	369.737184
12	82.034	14.138	443.512281
13	86.316	-35.548	-90.611108
14	84.583	-35.307	64.885550
15	84.478	-34.413	712.502930
16	63.878	-36.546	749.182455
17	63.978	-38.263	984.392833
18	38.151	-41.957	2745.862247
19	-1.467	-48.090	3831.086465
20	-41.514	-53.853	3158.968767
21	-60.126	-57.676	1985.874815
22	-75.946	-57.732	865.282386
23	-75.114	-49.273	-35.177106
24	-75.232	-34.394	-140.913362
25	-71.017	26.481	297.998452
敷地面積		倍面積	26,518.956040
13,259.47 m ²		面積	13,259.478020

敷地求積図 S=1/600

SCALE S=1/600	DATE	TITLE 広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図	No. A - 07	 設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 沢川19303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山 光司	CHARGE	DESIGN
	2023.06.30					
	2023.08.10					
	DATE	NAME 敷地求積図				
	2023.08.22					




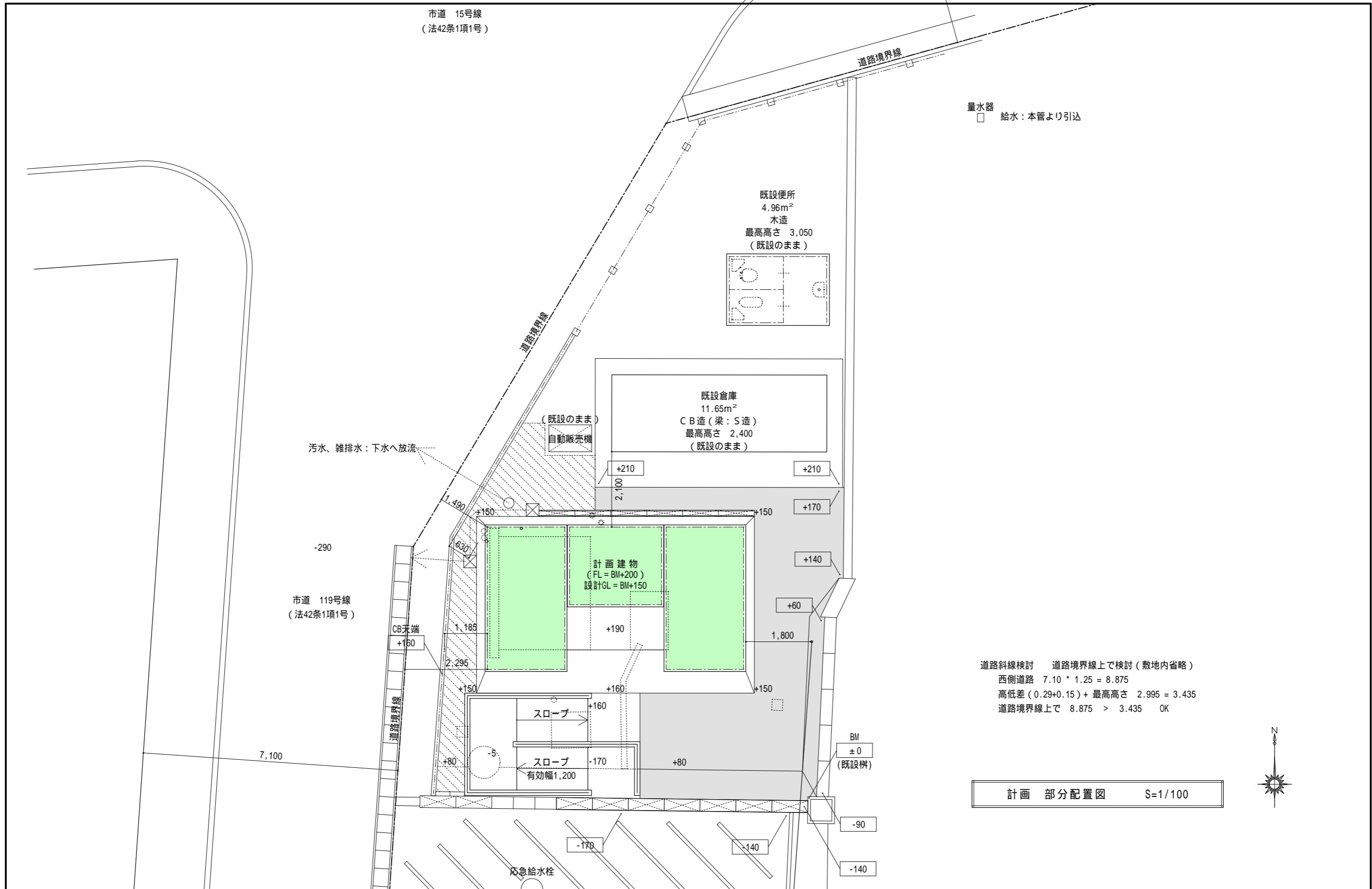
除却概要
 既設便所、手洗い(排水経路共)：除却
 アスファルト舗装：除却(根切部分以外：表層のみ)
 (一部舗装下部 コンクリート土間 t=100：20.0 m2程度)


別途工事
 高木：伐採、伐根
 高木傍樹：撤去
 電話ボックス：移設

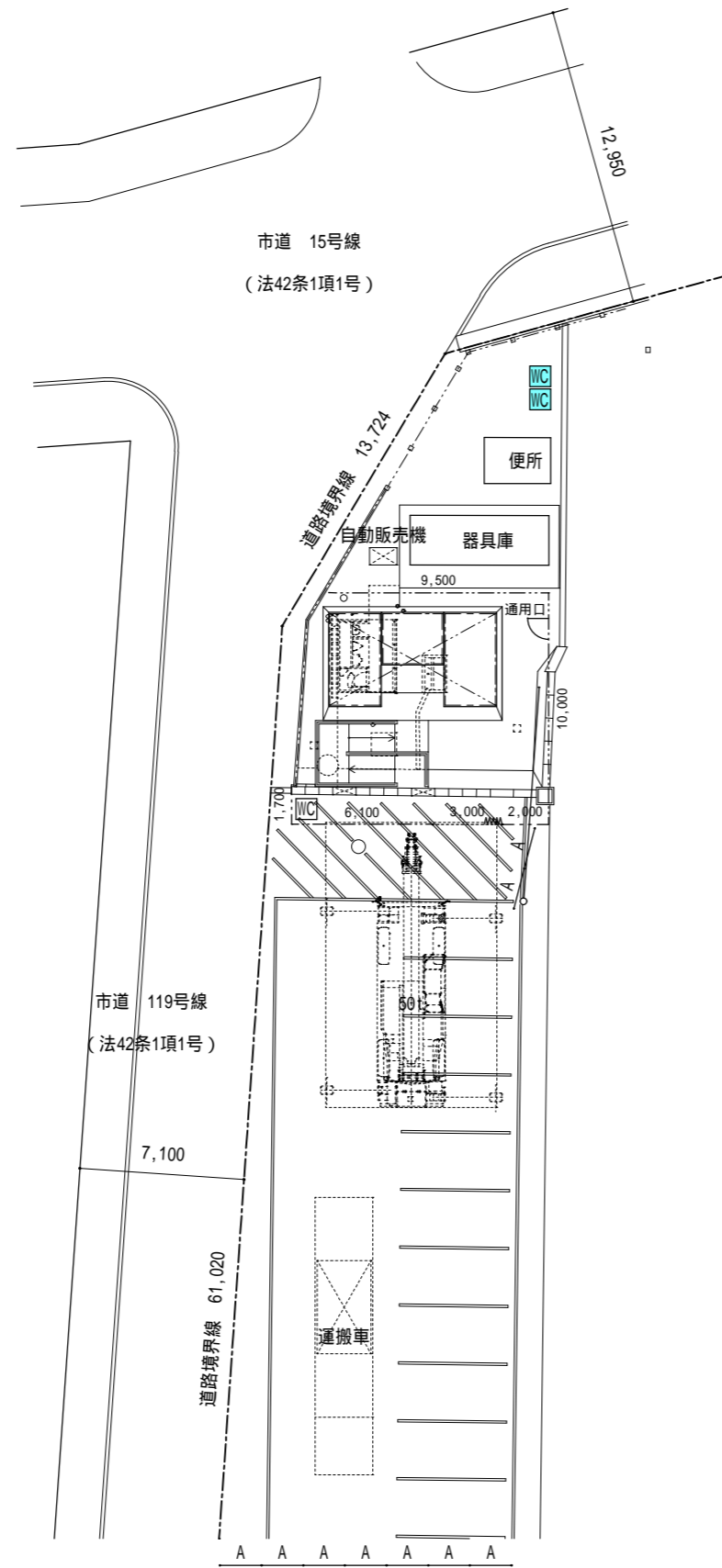
現況 部分配置図 S=1/100



SCALE S=1/100	DATE 2023.06.30	TITLE 広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図	No. A - 08	 設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 〒51119303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山 光司	CHARGE	DESIGN
	DATE 2023.08.10					
	DATE 2023.08.22					
NAME 現況 部分配置図						



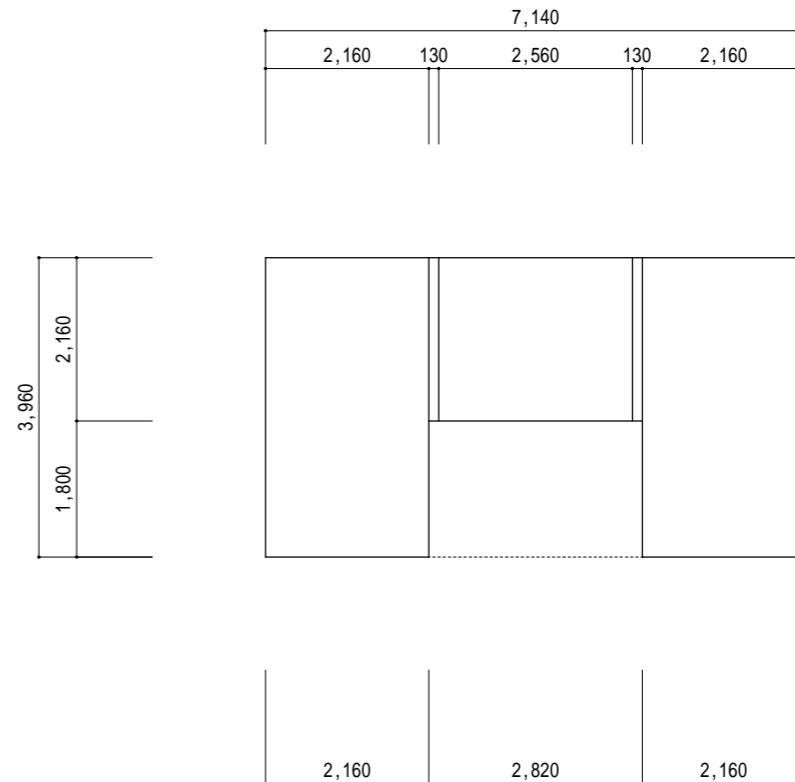
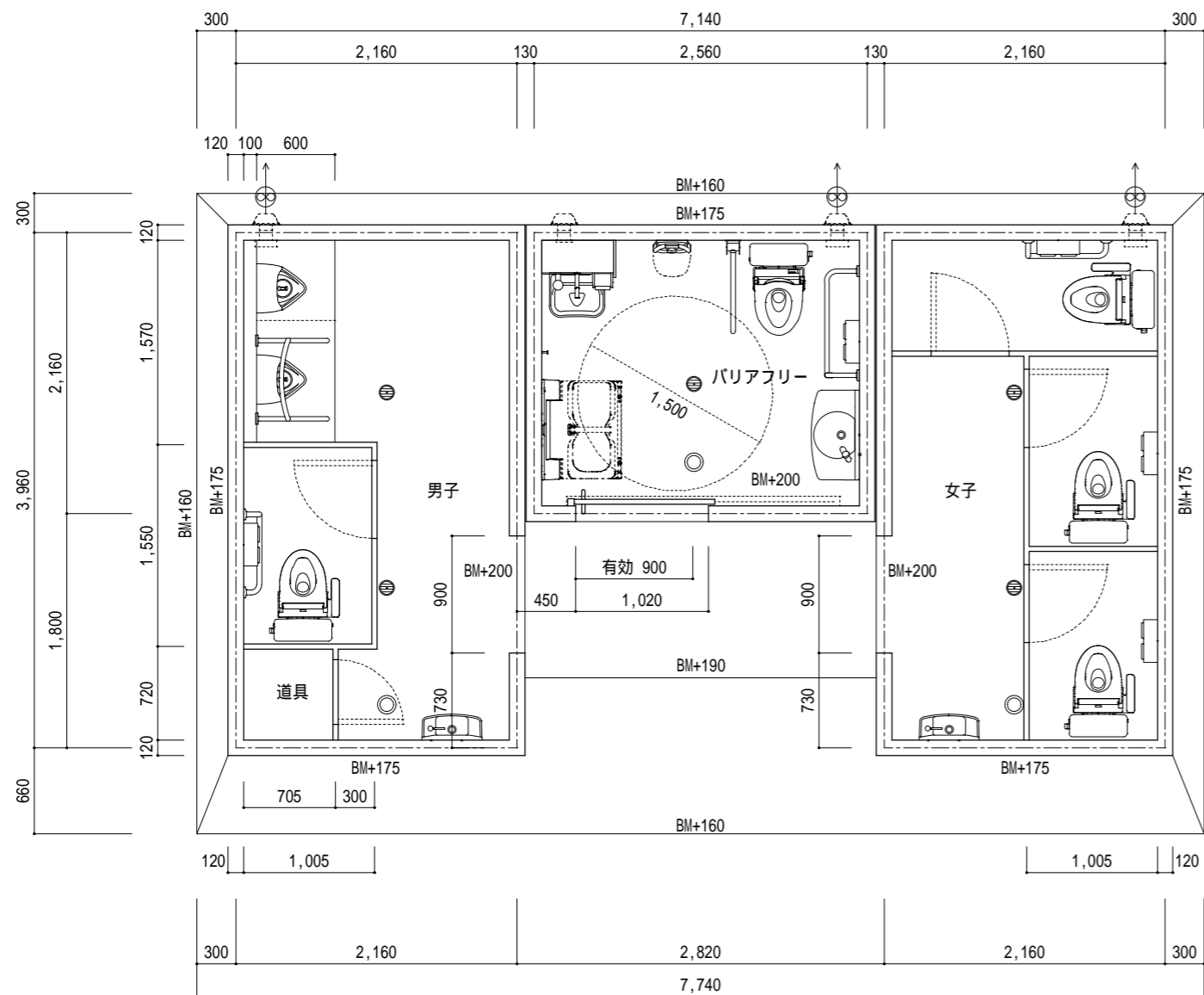
SCALE S=1/100	DATE	TITLE	No. A - 09	 設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 ｼﾝﾊﾞﾙ19303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山光司	CHARGE	DESIGN
	2023.06.30	広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図				
	2023.08.10	計画 部分配置図				
	2023.08.22					



仮設計画図 S=1/300

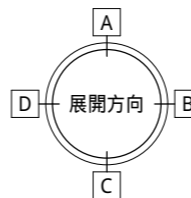
----	仮囲い	成形鋼板 H=2.0m
WWW-----	搬入ゲート	工事用出入口：キャスターゲート W=3000、H1800
A	簡易仮囲い 仮囲い外	A型ハリケート カラーコンパ 臨時作業スペース
□ WC	仮設便所	参考（1棟）
■ WC	仮設便所	施設利用者用：2棟 （くみ取り式）

- 特記事項
- ・仮囲い位置・範囲については、施設担当者・監督員と事前に協議を行うこと。
 - ・仮囲い外で作業する場合は、安全対策を施し施工すること。
 - ・工事車両駐車場位置については、施設担当者・監督員と事前に協議を行うこと。
 - ・交通誘導員：交通誘導員を配置することで、安全対策を施し施工すること。
 - ・工事車両出入口は、施設利用状況を把握し、迷惑を掛けないよう配慮すること。
又、必要に応じて工事車両出入口に安全係員を配備すること。
 - ・工事過程において、既設諸設備に損傷を与えた場合は受注者の責任において原形復旧を行う。
 - ・本工事は施設を使用しながらの工事であるため、施設運営に支障をきたさぬよう万全を期すること。
(既設倉庫、自動販売機、既設便所、応急給水栓：利用可能とする)
 - ・一時的に利用不可能となる場合は、施設担当者・監督員と協議すること。
 - ・施設利用者用の仮設便所の設置：2棟。
 - ・敷地内別発注工事がある場合は、施設担当者・監督員と協議すること。



建築面積 $7.140 * 3.960 = 28.2744$ 28.27 m²

床面積 $2.160 * 3.960 * 2 + 2.820 * 2.160 = 23.1984$ 23.19 m²




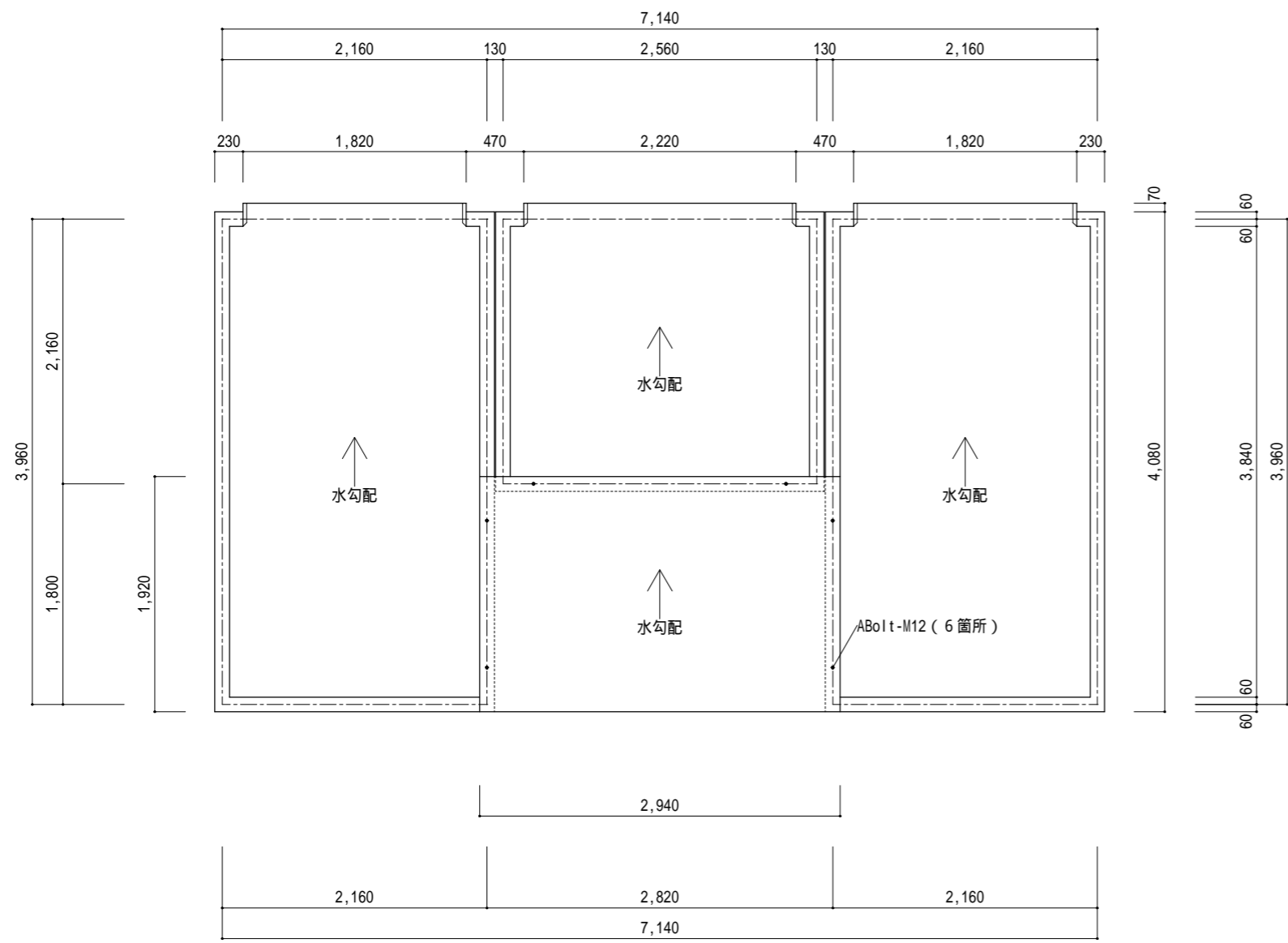
平面図 S=1/50

設計 G L = BM+150

求積図 S=1/100




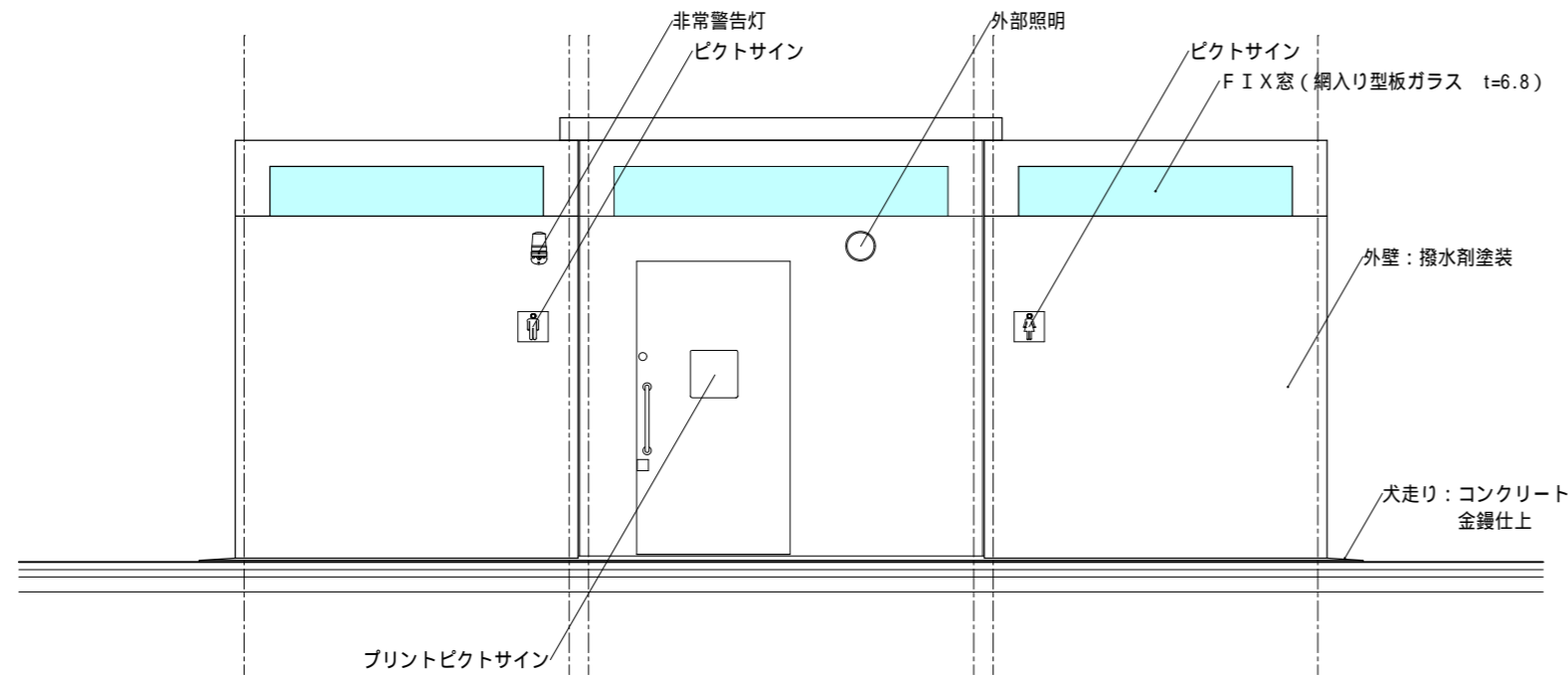
SCALE	DATE	TITLE	No.	 設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 沢川19303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677	CHARGE	DESIGN	
	S=1/50	2023.06.30					広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図
	S=1/100	2023.08.10					NAME
	2023.08.22	平面図、求積図	A - 11	1級建築士 大臣登録 第199812号 古山 光司			



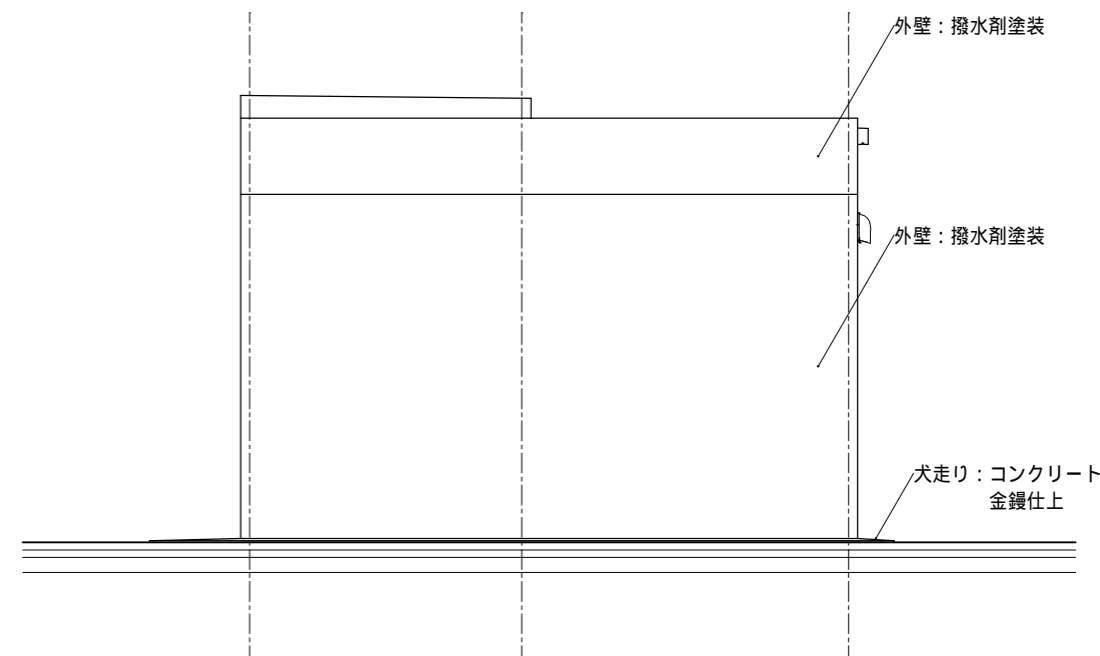
屋根伏図 S=1/50

外部仕上表	
部位	仕様
屋根	RC造 天 端：水系1液型厚膜防水材
	立上り：コンクリート打放風仕上 撥水剤塗装
	天 井：コンクリート打放風仕上 撥水剤塗装
	水切り：SUS製
出入口上部	天 端：水系1液型厚膜防水材
	見 付：コンクリート打放風仕上 撥水剤塗装
	上 裏：コンクリート打放風仕上 撥水剤塗装
外 壁	コンクリート打放風仕上 撥水剤塗装
巾 木	コンクリート打放風仕上 撥水剤塗装
外部建具	出入口 片引き戸 (SUSフラッシュ、アルミ戸先、DW1080*DH1950 (有効900*1950)、引手、表示錠、シリンダー錠、大型サムターン、プリントビクトサイン)
	ランマガラス (網入り型板ガラス t=6.8)
犬走り	コンクリート 金鍍仕上
スロープ	コンクリート 刷毛引き仕上、手摺 (SUS304 34 HL)
その他	ビクトサインプレート
内部仕上表	
部位	仕様
床	モルタル下地、磁器質100角タイル、一部 汚垂石
巾 木	磁器質100角タイル H=100
壁	コンクリート打放風仕上 撥水剤塗装
天 井	コンクリート打放風仕上 撥水剤塗装
面 台	天板：集成材 t=25 塗装仕上、壁面：コンクリート打放風仕上 撥水剤塗装
	巾木：磁器質100角タイル H=100、手摺等取付き部 下地補強
内部建具	トイレブース (H=1,870) 出入口有効W：600、表示付き打掛錠、SUSフック
	物置 出入口有効W：500、管理錠、引手 (メラミンフラッシュ、エッジ：AL製R、笠木、巾木：SUS製)
照明器具	設備図面 参照
換気扇	設備図面 参照
衛生設備	設備図面 参照

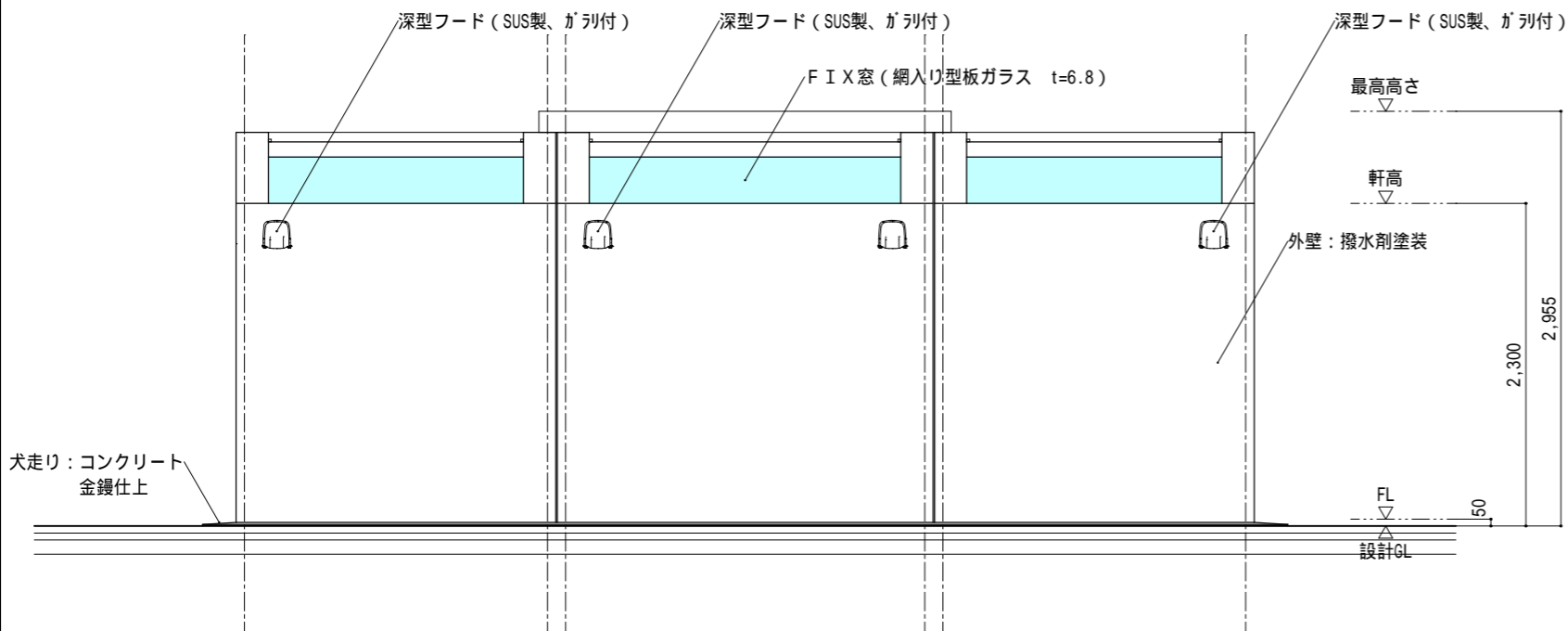
SCALE S=1/50	DATE	TITLE	No. A - 12	 設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 〒514-1930 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山 光 司	CHARGE	DESIGN
	2023.06.30	広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図				
	2023.08.10	屋根伏図、仕上表				
	2023.08.22					



南 立面図 S=1/50

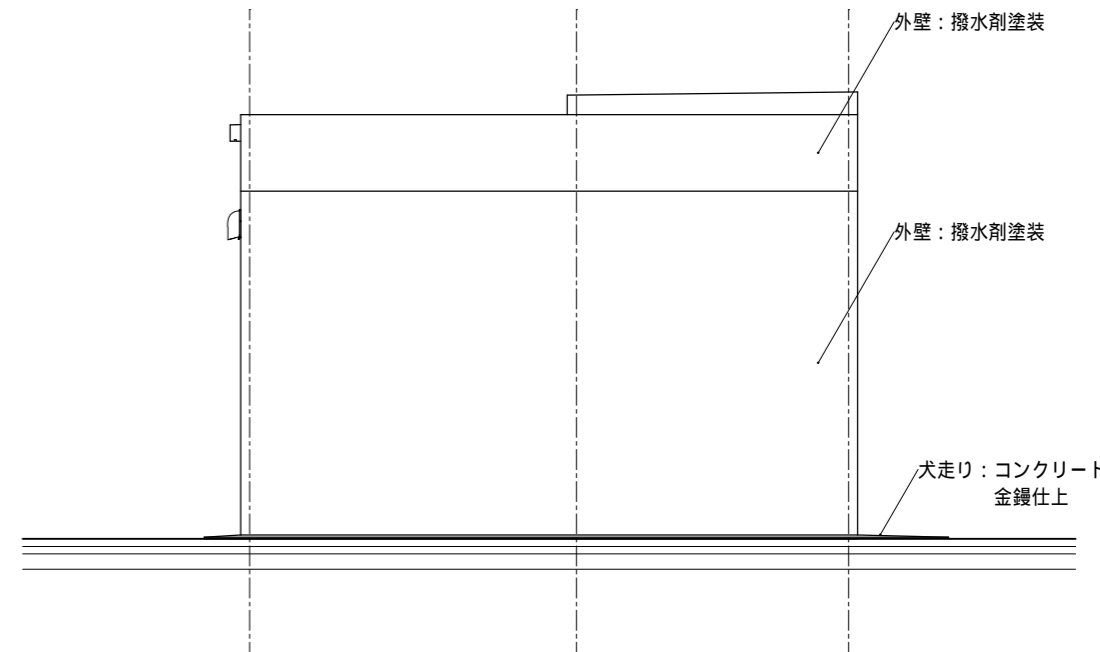


東 立面図 S=1/50




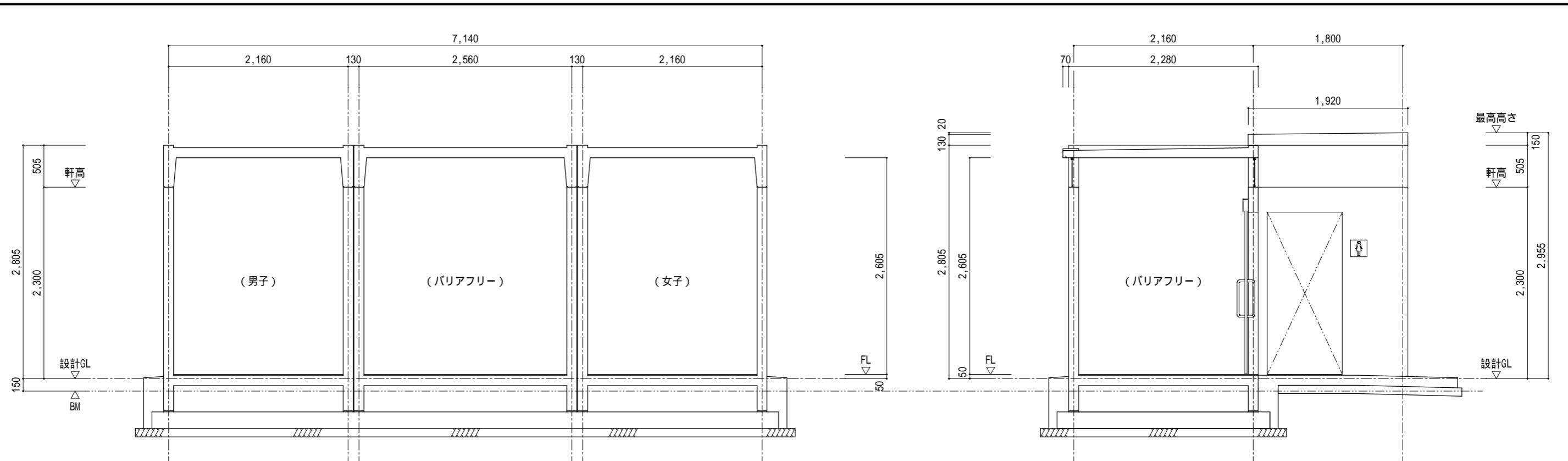
北 立面図 S=1/50

設計GL = BM+150

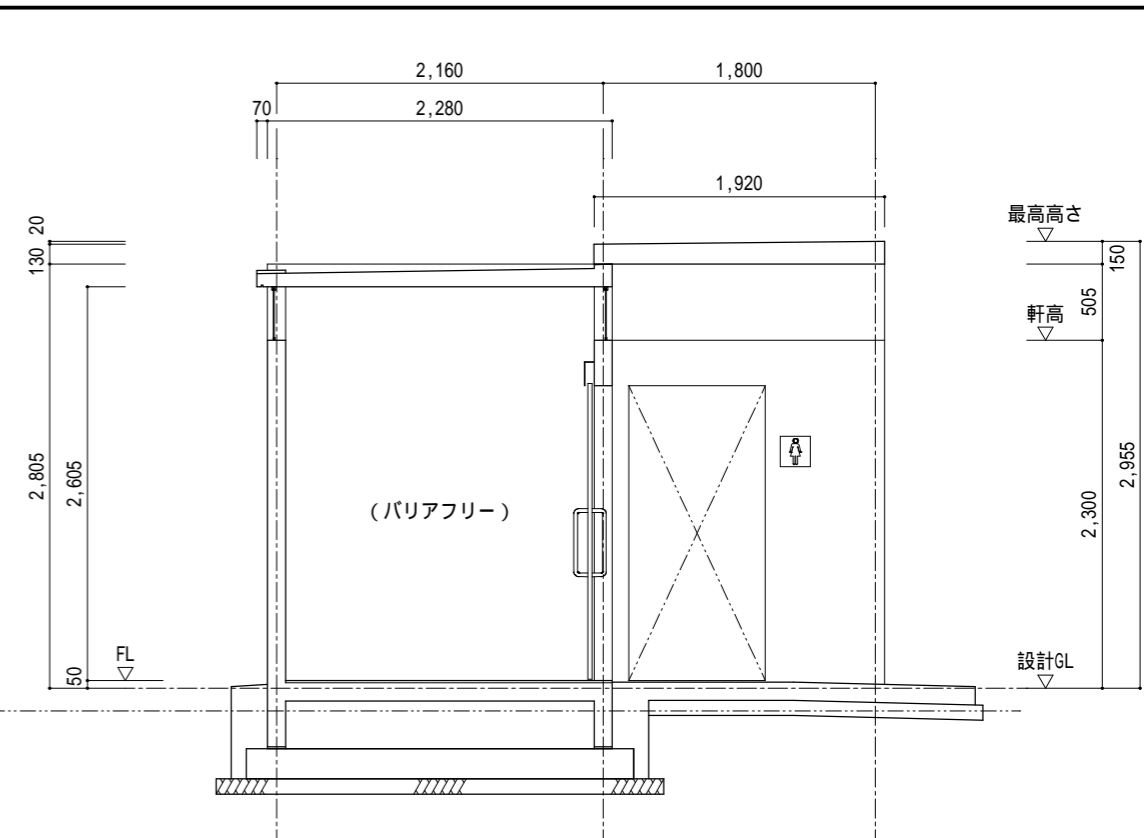


西 立面図 S=1/50

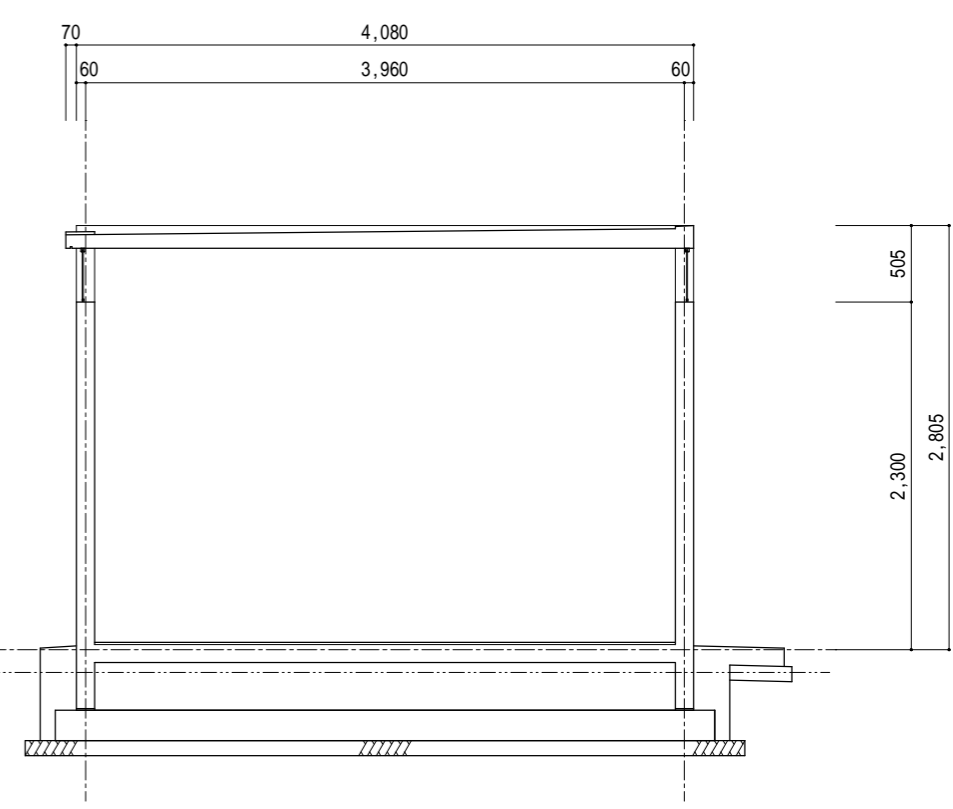
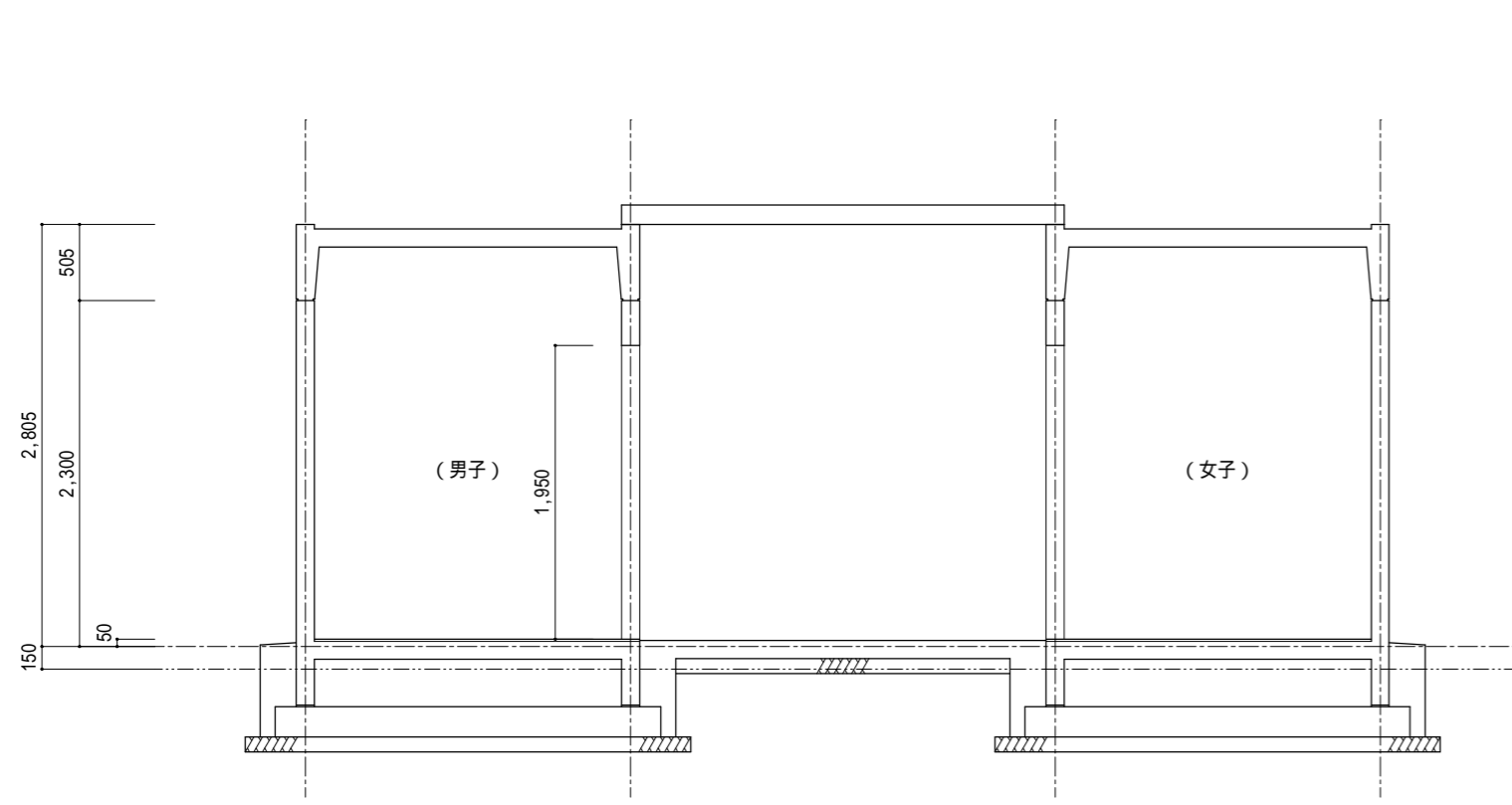
SCALE S=1/50	DATE	TITLE	No. A - 13	 設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 〒511-17303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山光司	CHARGE	DESIGN
	2023.06.30	広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図				
	2023.08.10	立面図				
	2023.08.22					




X2-X2 断面図 S=1/50



Y2-Y2 断面図 S=1/50




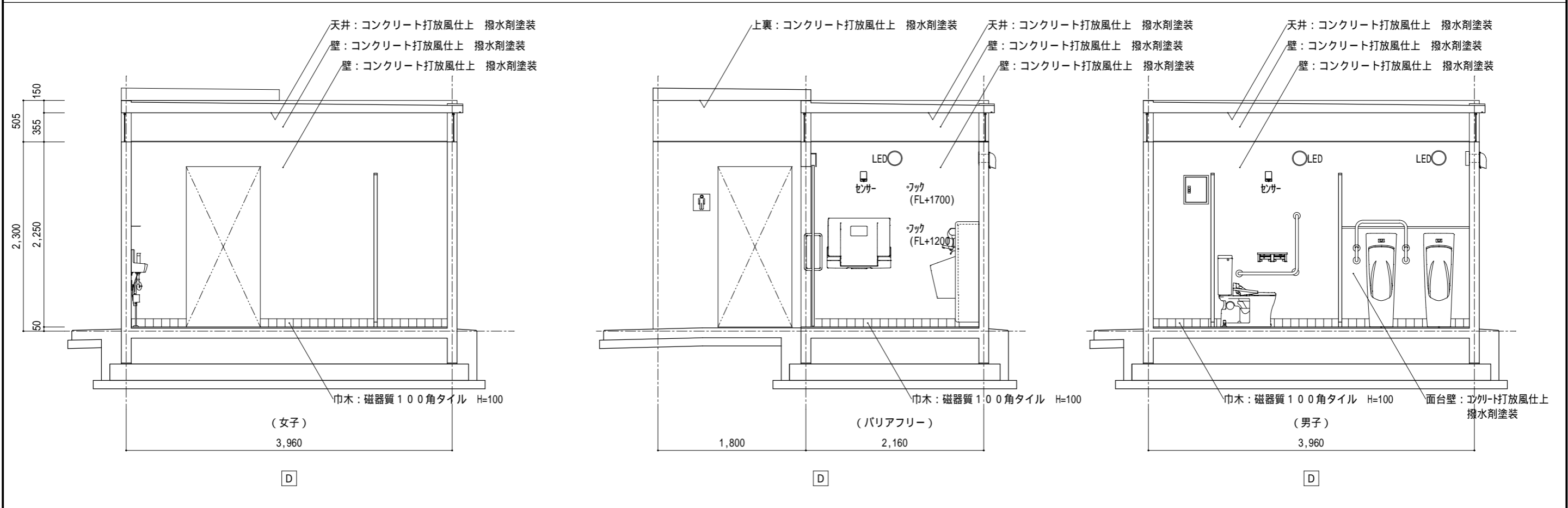
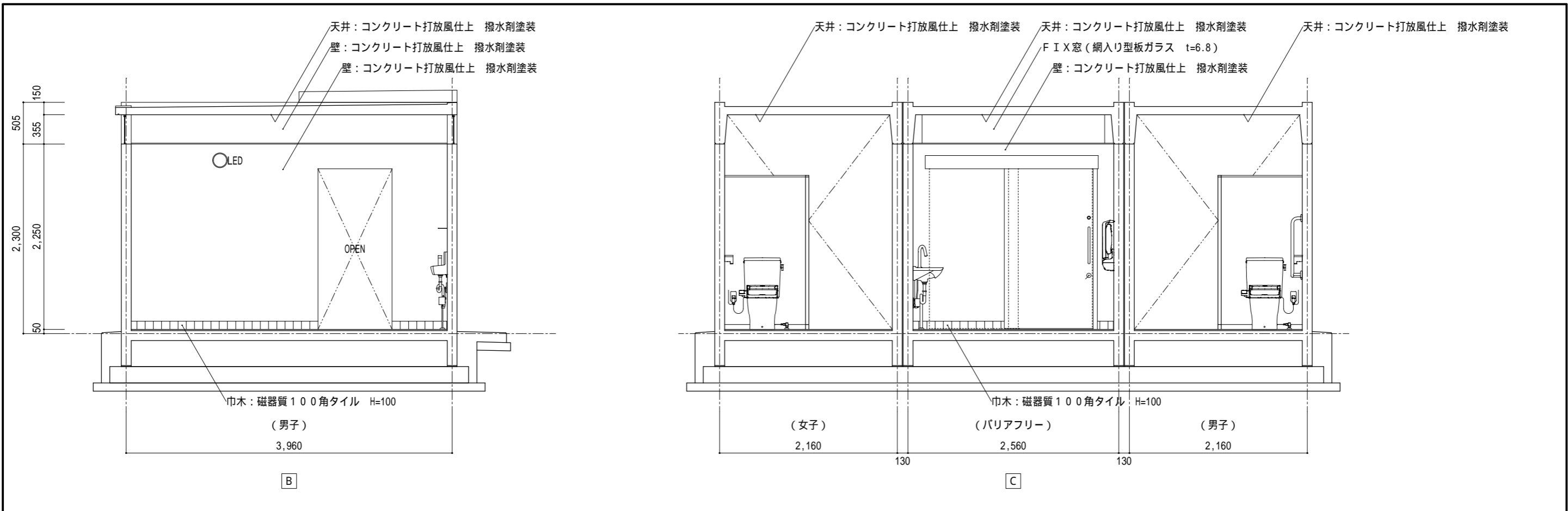
Y1-Y1 断面図 S=1/50


SCALE S=1/50	DATE 2023.06.30	TITLE 広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図	No. A - 14	 設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 汗1119303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山光司	CHARGE	DESIGN
	DATE 2023.08.10					
	DATE 2023.08.22					
NAME 断面図						

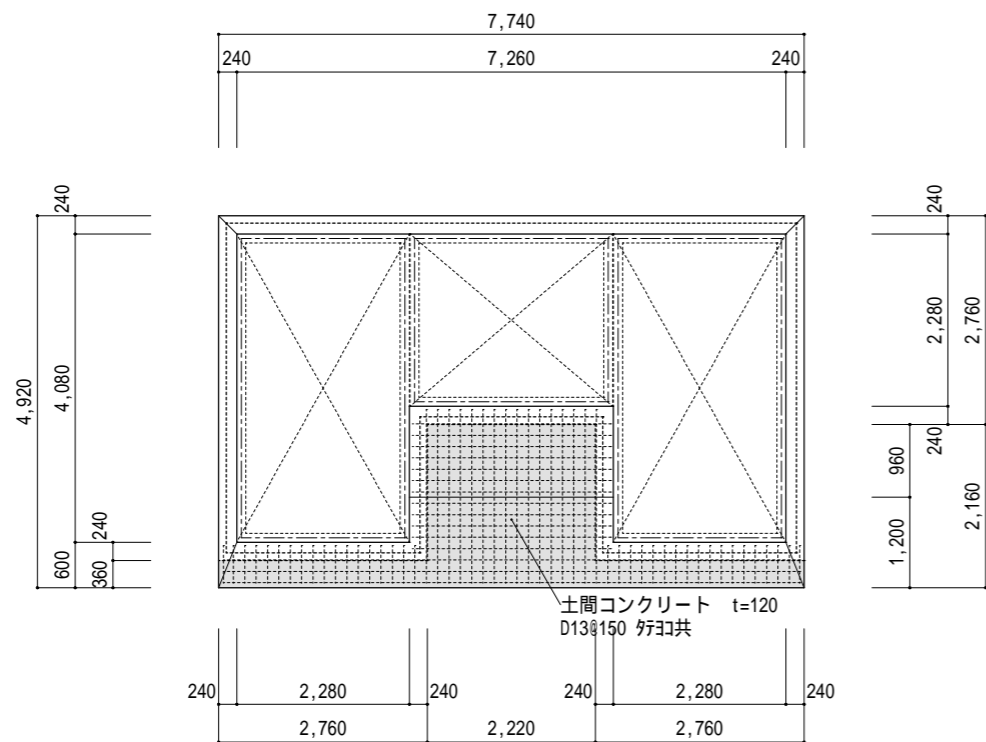
符号・型式	① HD	片引きステンレスハンガードア	① SW	② SW	吊り窓	
姿 図						
取付場所	バリアフリー便所		バリアフリー便所、男子便所、女子便所			
数量・見込	1箇所 36		SW-1: 2箇所、SW-2: 4箇所			
仕上・硝子	SUS304 t=0.8 HL		SUS304 t=1.5 網入り型板ガラス t=6.8			
付属金物	レールカバー(アルミ・シルバー)、プリントビクトサイン 管理錠:外シリンダー錠-内錠なし FG3-2		ガラス押え振れ止め金物、ガラス押え吊り金物			
備考	下段:大型表示錠-内錠大型ハンドル FG3-BBG 戸当たりゴム、ガイドローラー、付属金物一式(SUS取手等)		鍵 共通			
建具キープラン S=1/100						

符号・型式	① TB	トイレブース	② TB	トイレブース
姿 図				
取付場所	女子便所		男子便所	
数量・見込	1箇所 40		1箇所 40	
仕上・硝子	表面材:メラミン樹脂化粧板、芯:ペーパーコア、エッジ:アルミ製R、笠木、巾木:ステンレス製			
付属金物	アルミ、取付金物一式、表示付きスライド錠(非常時解除キー付き)、物掛けフック			
備考	鍵 共通			

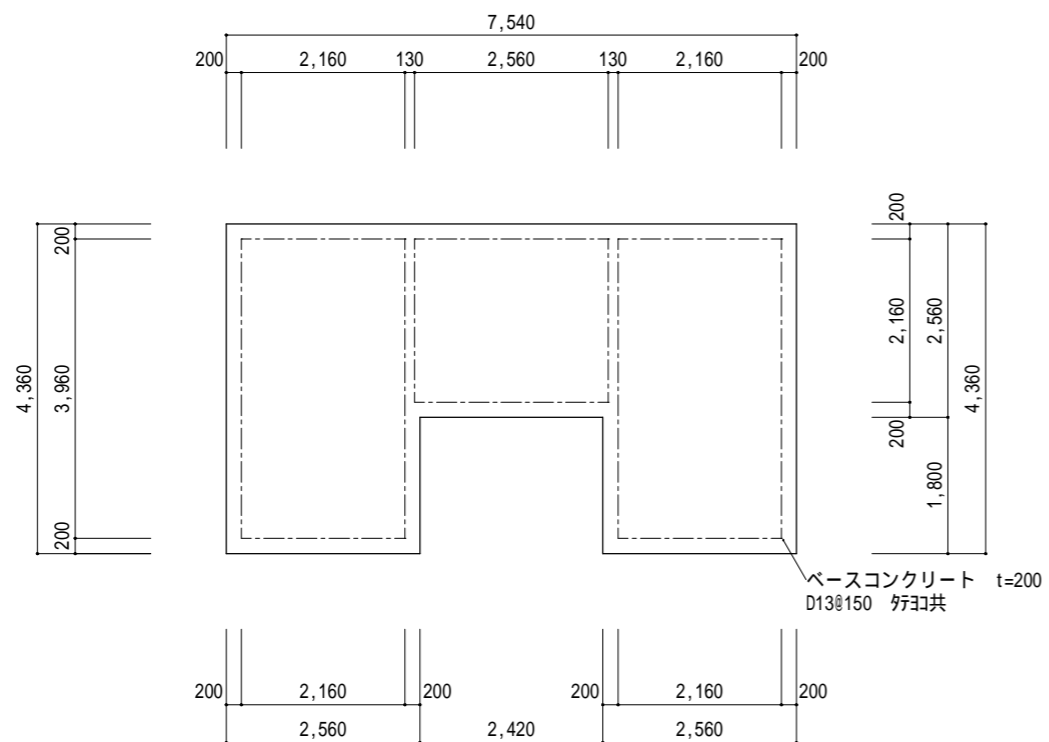
SCALE	DATE	TITLE	No.	 設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 〒5111303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山 光司	CHARGE	DESIGN
S=1/100	2023.06.30	広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図	A - 16			
S=1/50	2023.08.10	建具キープラン、建具表				
	2023.08.22					



SCALE S=1/50	DATE 2023.06.30	TITLE 広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図	No. A - 18	 設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 〒51119303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山 光司	CHARGE	DESIGN
	2023.08.10					
	2023.08.22					
NAME 展開図 2						

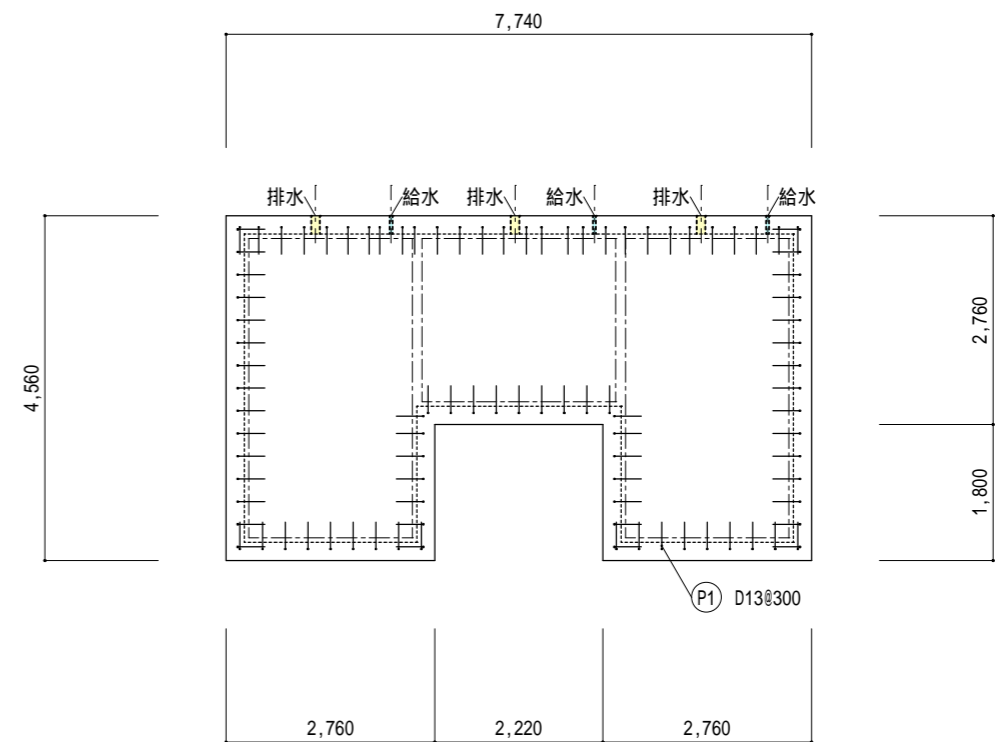


根巻、土間伏図 S=1/100



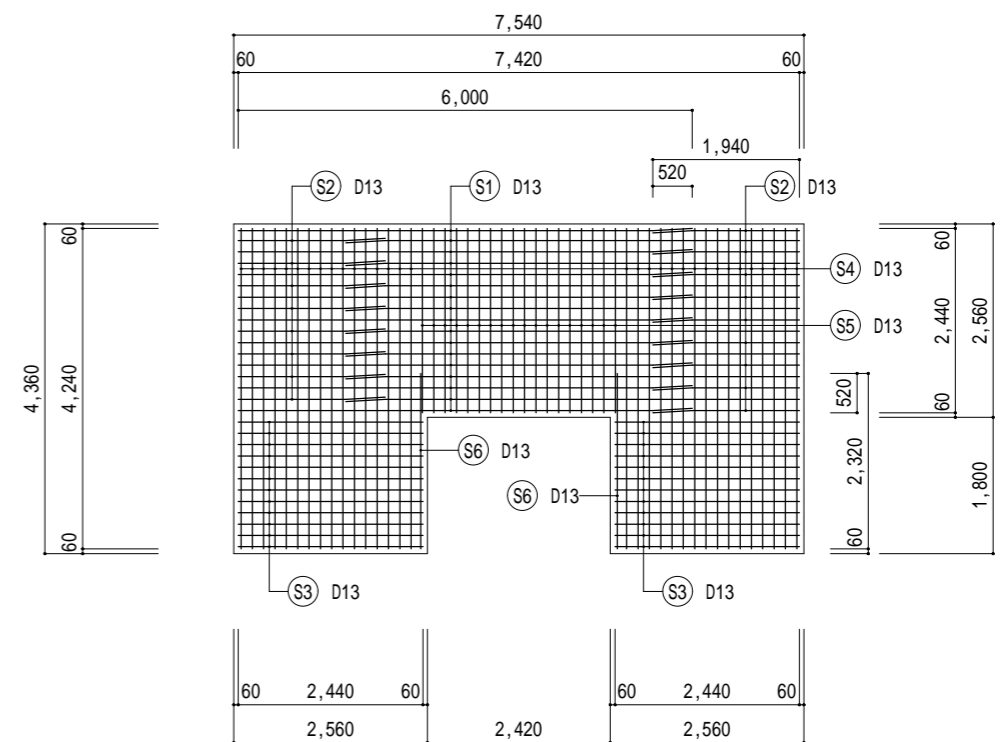
基礎伏図 S=1/100

使用材料
 コンクリート : Fc21、S15、粗骨材最大25mm
 捨コンクリート : Fc21、S15、粗骨材最大25mm
 砕石 : RC-40
 鉄筋 : SR295




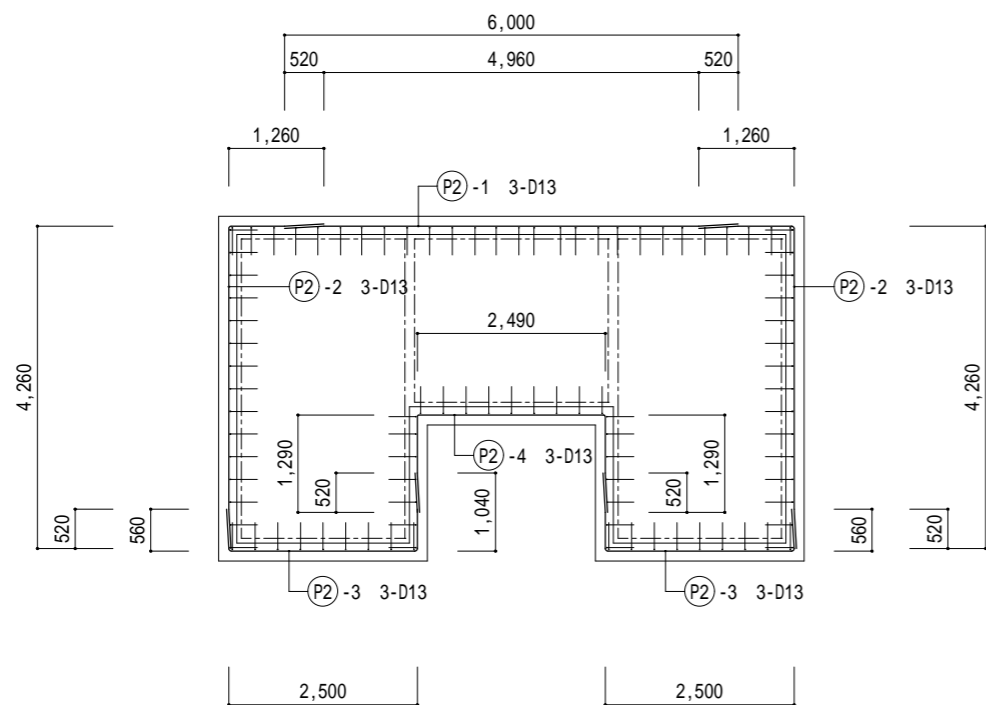
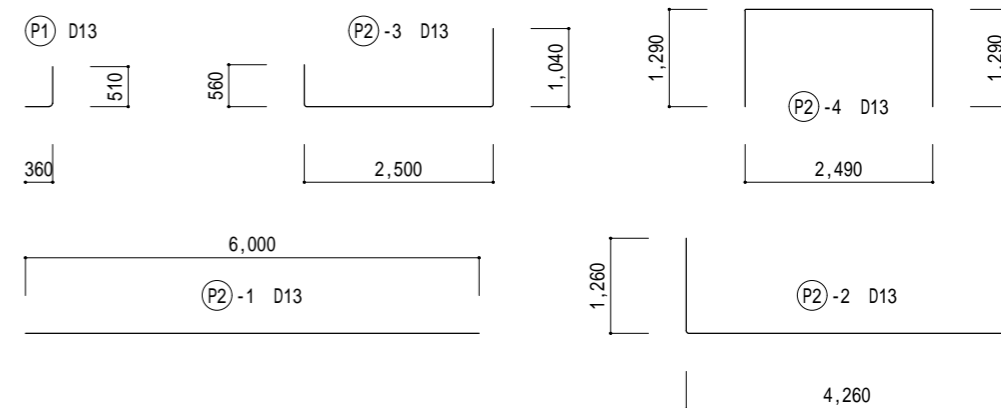
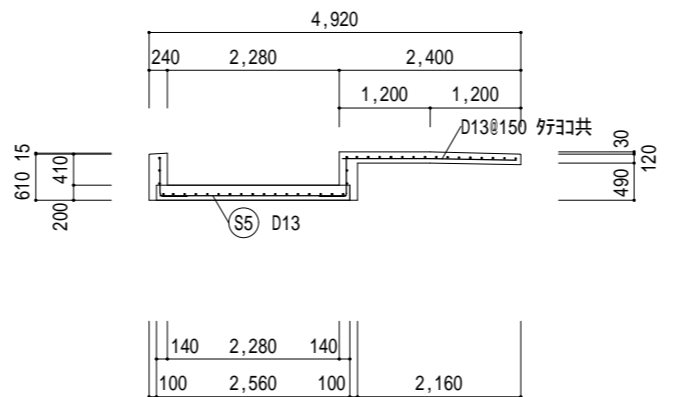
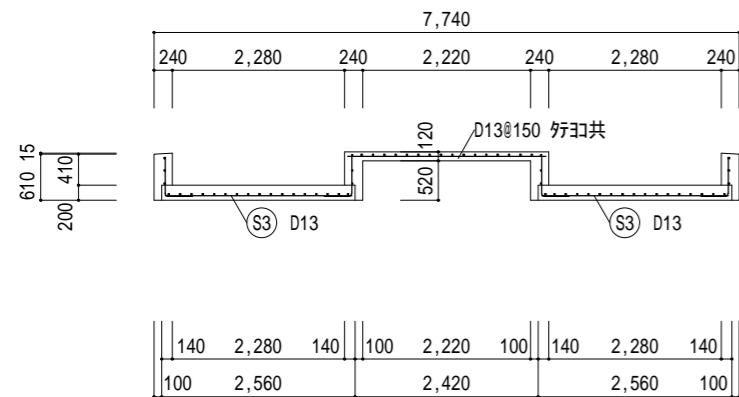
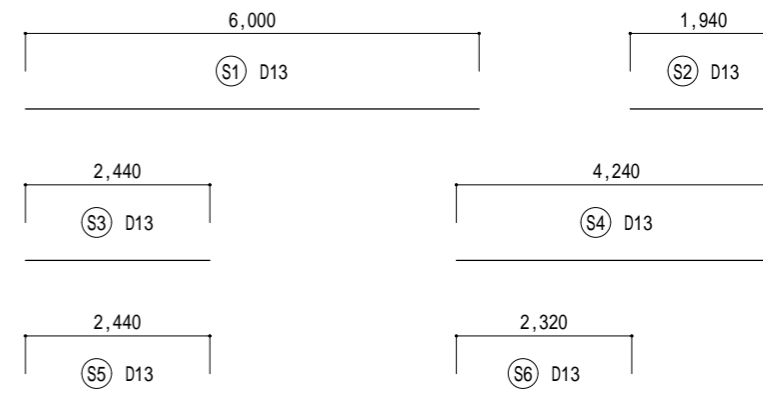
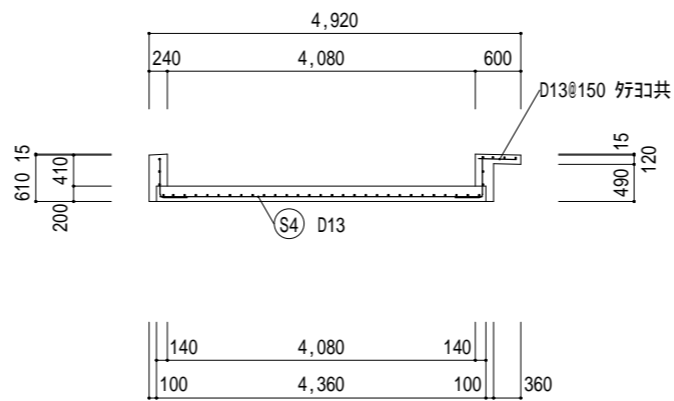
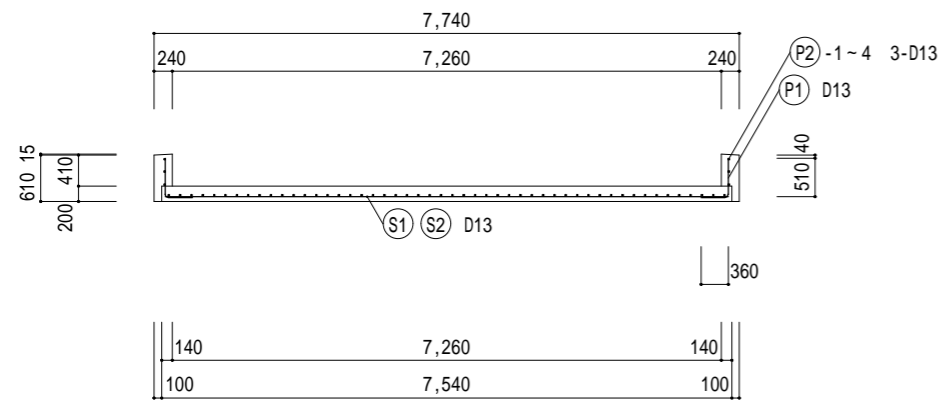
立上り(桁)配筋図 S=1/100

給水：給水接続位置
 排水：排水接続位置



ベース配筋図 S=1/100

SCALE S=1/100	DATE 2023.06.30	TITLE 広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図	No. A - 19	 設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 汗1119303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山光司	CHARGE	DESIGN
	DATE 2023.08.10					
	DATE 2023.08.22					
		NAME 伏図、配筋図 1				



立上り(30)配筋図 S=1/100

配筋重量表

符号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	摘要
S1	D13	6,000	17	0.995	5.970	101.49	
S2	D13	1,940	17	0.995	1.9303	32.8151	
S3	D13	2,440	24	0.995	2.4278	58.2672	
S4	D13	4,240	28	0.995	4.2188	118.1264	
S5	D13	2,440	18	0.995	2.4278	43.7004	
S6	D13	2,320	2	0.995	2.3084	4.6168	
P1	D13	870	99	0.995	0.86565	85.69935	
P2-1	D13	6,000	3	0.995	5.970	17.91	
P2-2	D13	5,520	6	0.995	5.4924	32.9544	
P2-3	D13	4,100	6	0.995	4.0795	24.477	
P2-4	D13	5,070	3	0.995	5.04465	15.13395	
土間、犬走り	D13	500	36	0.995	4.975	17.91	
	D13	2,300	16	0.995	2.2885	36.616	
	D13	6,000	3	0.995	5.97	17.91	
	D13	2,140	3	0.995	2.1293	6.3879	
	D13	2,620	12	0.995	2.6069	31.2828	
合計						645.2973	
						$645.2973 * 1.04 = 671.109192$	671 kg

SCALE S=1/100	DATE	TITLE
	2023.06.30	広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図
	2023.08.10	NAME
	2023.08.22	配筋図 2

No.	A - 20
-----	--------

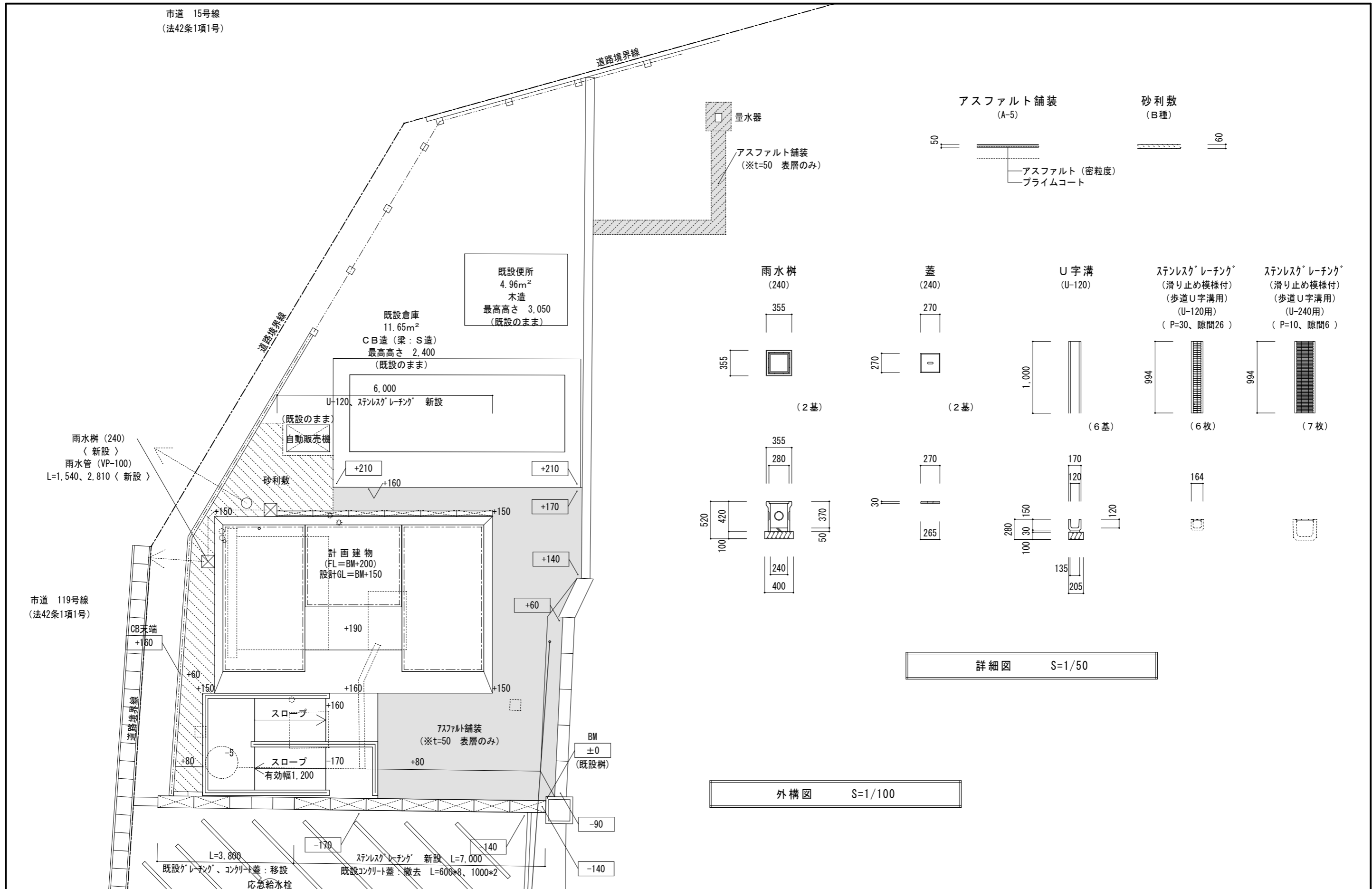


設計工房古山

岐阜県可児市広見1丁目16番地 河川19303
TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677

1級建築士 大臣登録 第199812号 古山 光司

CHARGE	DESIGN
--------	--------



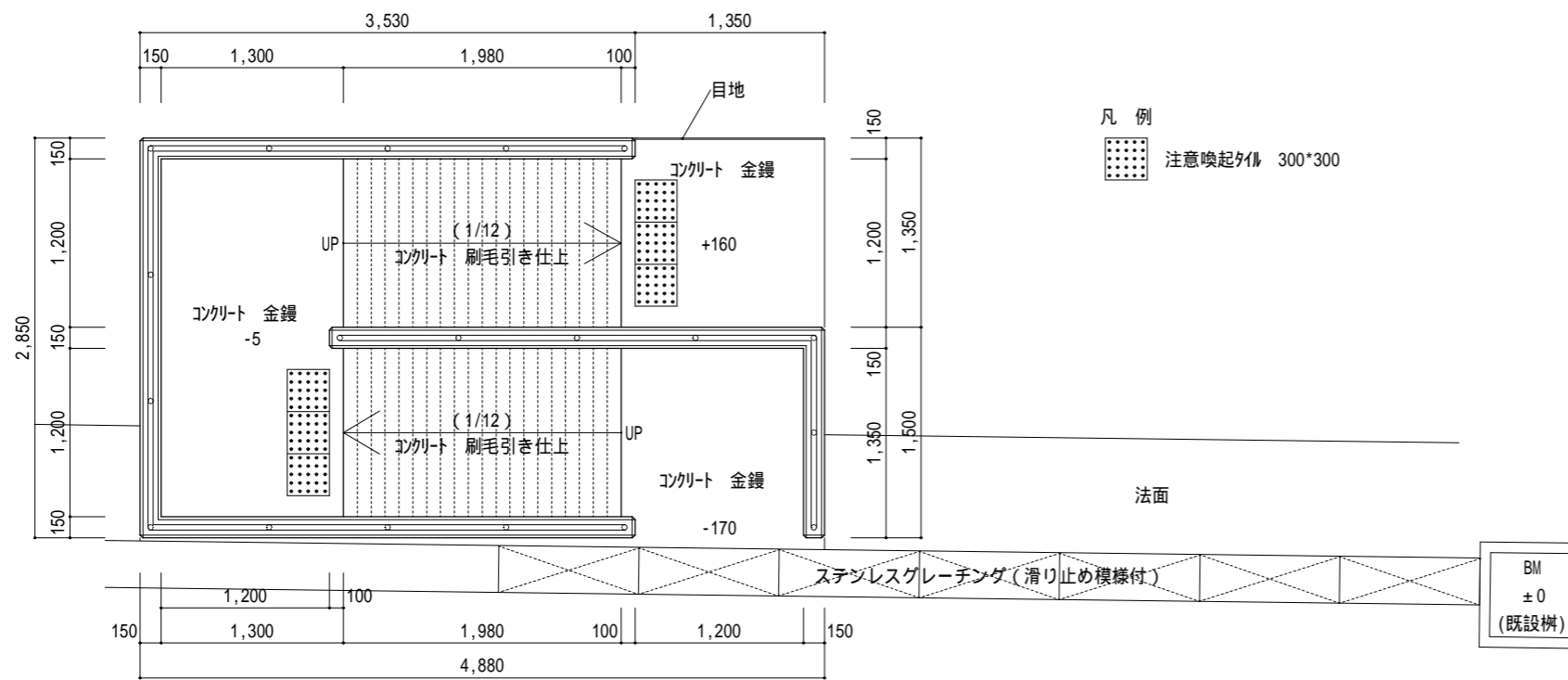
SCALE	DATE
	2023. 06. 30
	2023. 08. 10
S=1/100	2023. 08. 22
S=1/50	

TITLE	広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図
NAME	外構図、詳細図 1

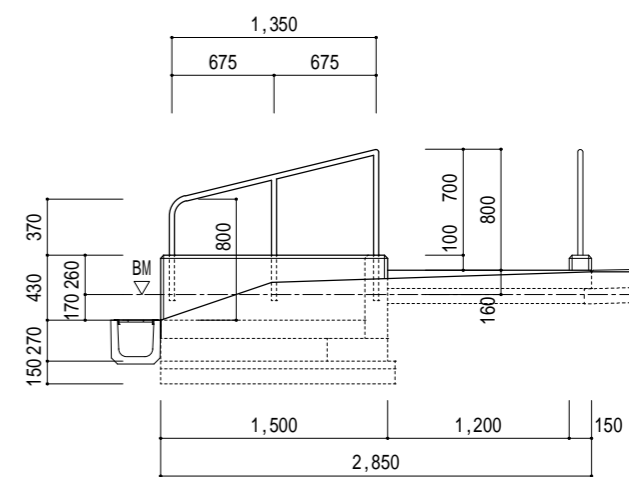
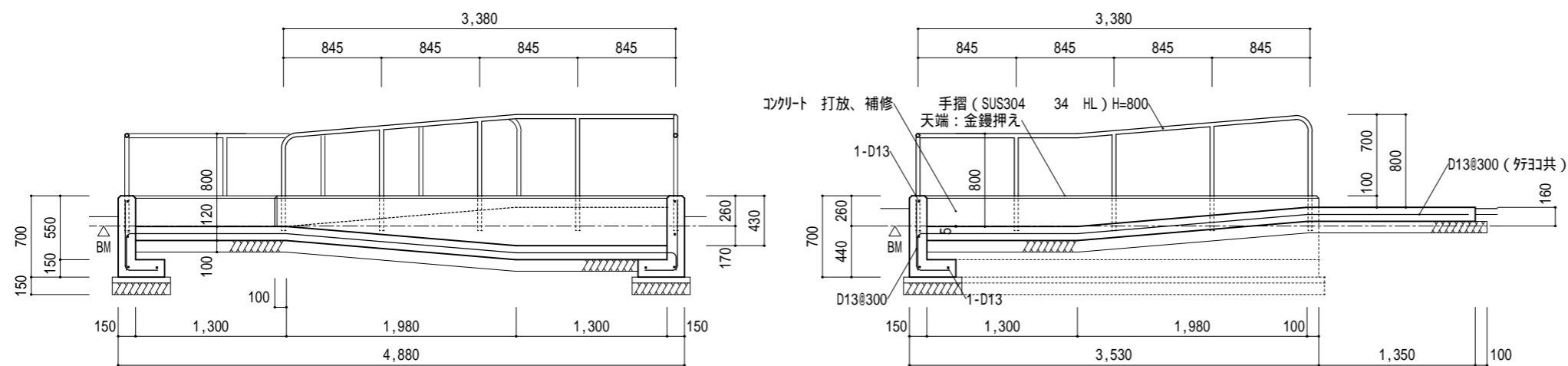
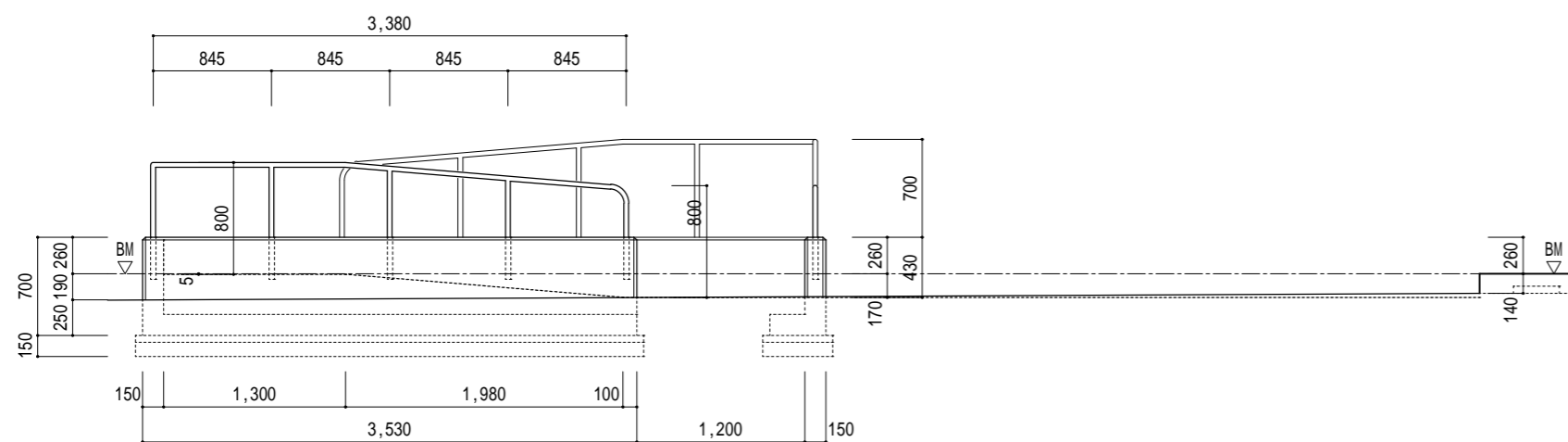
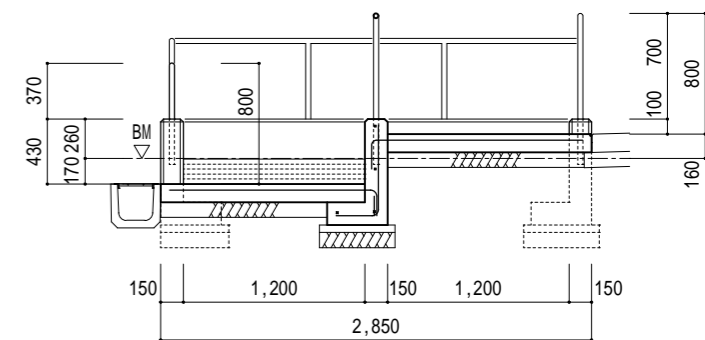
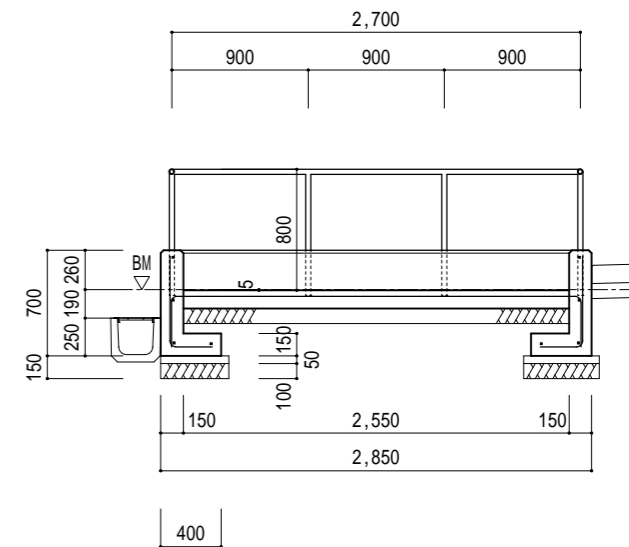
No.	A - 22
-----	--------


設計工房古山
 岐阜県可児市広見1丁目16番地 〒517-303
 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677
 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山 光司

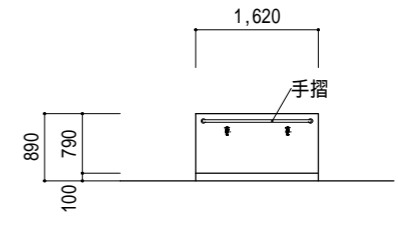
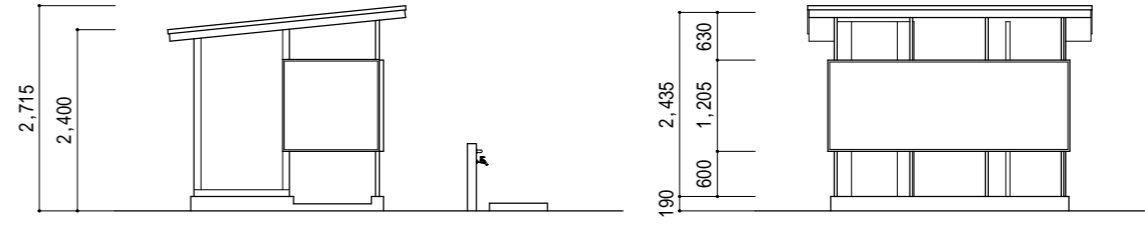
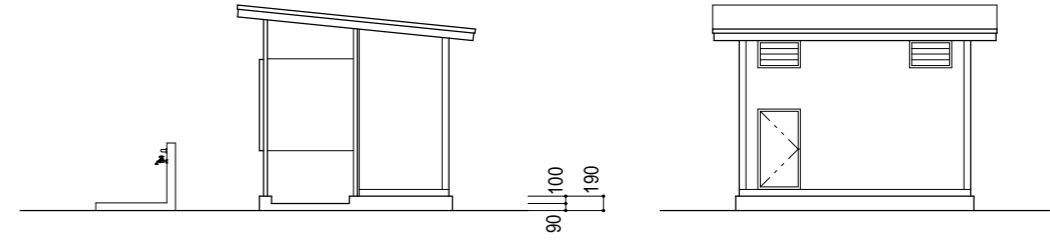
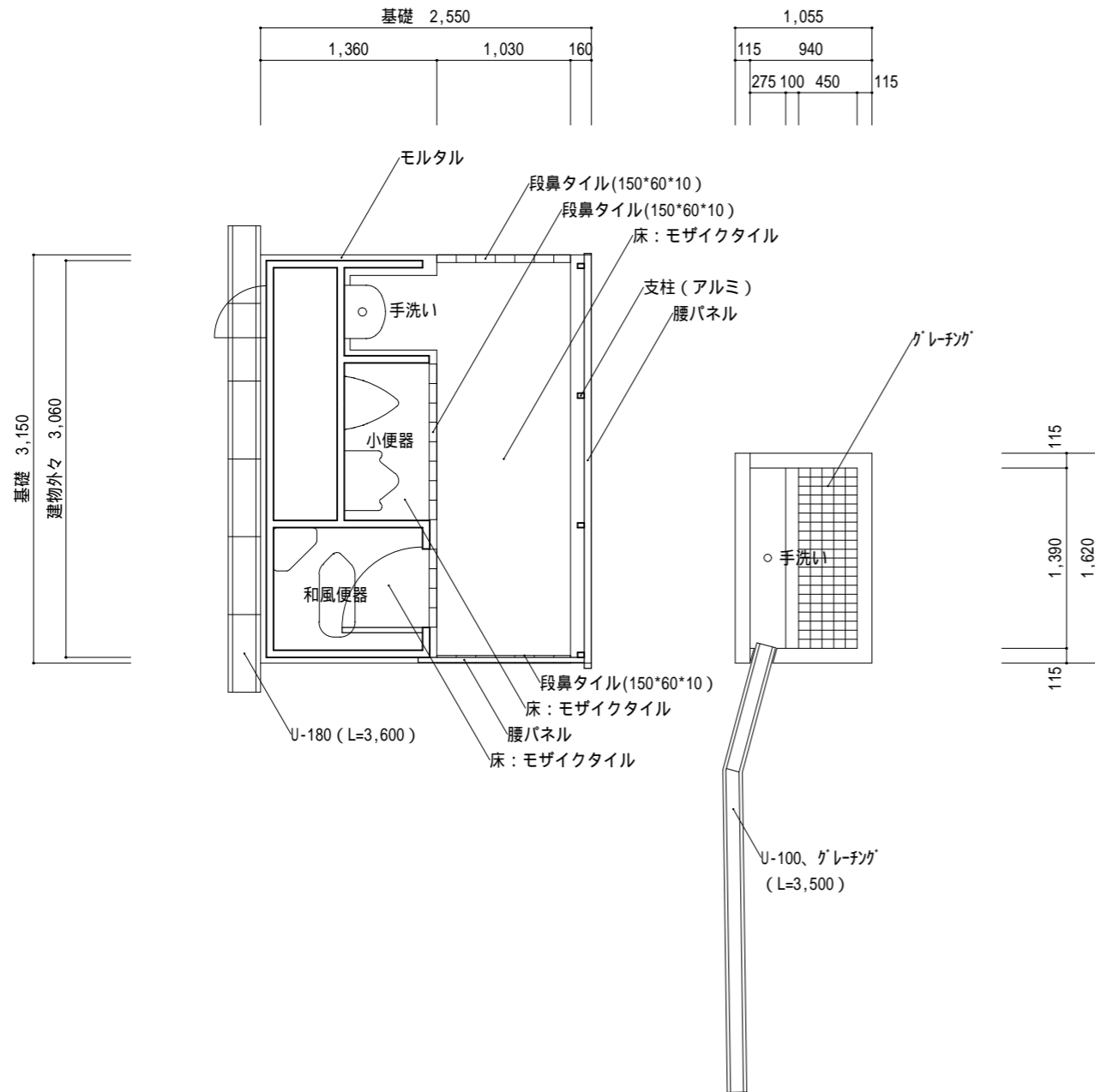
CHARGE	DESIGN
--------	--------



凡例
 注意喚起タイル 300*300



SCALE S=1/50	DATE 2023.06.30	TITLE 広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図 NAME 詳細図 2	No. A - 23	設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 沢川19303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山 光司	CHARGE	DESIGN
	DATE 2023.08.10					
	DATE 2023.08.22					




東 立面図
(手洗い)


平面図 S=1/50

既設便所(プレハブ)7.20 m2 解体
既設手洗い(鉄筋コンクリート造)解体

立面図 S=1/100

SCALE	DATE	TITLE	No.	 設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 ｼﾝﾄﾞﾙ19303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677	CHARGE	DESIGN	
	S=1/50	2023.06.30					広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図
	S=1/100	2023.08.10					除却建物 平面図、立面図
	2023.08.22		A - 24	1級建築士 大臣登録 第199812号 古山光司			

電気設備工事仕様書		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
I 工事概要	1 工事名称	広見市民グラウンド屋外便所新築工事	● 外線工事負担金 ○ 電界強度の測定	○ 電気方式 ○ 施工方法	三相3線式 200V ○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線	○ 施工方法	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線
	2 工事場所	可見市広見 地ない	● 他工事との取合 ○ 電波障害対策	○ 電動機等の接地 ○ 遠方操作押切 ○ 手元開閉器 ○ 制御盤	電動機容量 7.5kW以下は、金属管を接地線としてもよい。 通用形押切 (a・b接点、ハイロッドランプ) とする。 特記のない場合は (○ トリップなし ○ トリップ) とする。 扉の裏面の充電部に感電防止の処置を施す。	○ 機器仕様	○ UHFアンテナ (20素子) ○ BS・110° CSアンテナ ○ 混合器 ○ 増幅器 ○ 分岐器 ○ 分配器 ○ その他軽微な変更等は本工事に含む
3 建築概要	建築名称	-----	○ 電力等の引込み	○ 受電部	○ 突針 ○ 棟上げ導体	テレビ共同受信設備	○ 施工方法 ○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線 ○ UHFアンテナ (20素子) ○ BS・110° CSアンテナ ○ 混合器 ○ 増幅器 ○ 分岐器 ○ 分配器 ○ その他
	構造	---	○ 鋼製電線管	○ 避雷導線 ○ 接地極	○ 金属製笠木 (別途) 等 ○ 建築構造体利用 ○ 引下げ導線 ○ 接地極埋設 ○ 建築構造体利用		
4 工事種目	建物及び屋外		○ 電線本数・管路	○ 電気方式	○ 突針 ○ 棟上げ導体	監視カメラ設備	○ 施工方法 ○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線 ○ その他 ※既設機器移設
	工事種目		○ 研り	○ 高圧 三相3線式 6.6KV	○ 棟上げ導体		
II 工事仕様	1 共通仕様	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て下記による。 ● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」(最新版) ● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)」(最新版) ● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準仕様書(電気設備工事編)」(最新版) ○ 日本建築家協会監修「建築設備工事共通仕様書」(最新版)	○ フラッシュプレート	○ 主遮断装置	○ 高圧真空遮断器 (VCB) ○ 高圧交流遮断器 (CB) ○ 限流ヒューズ (PF)	火災報知設備	○ 施工方法 ○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線 ○ 火災報知装置 ○ 受信機 P型 1級 40回線 (○ 壁掛形 ○ 自立形 ○ 単独 ○ 複合) ○ 発信機 P型 1級埋込形 ○ 感知器 確認表示灯付とする。 ○ 自動閉鎖装置 ○ 連動制御器 回線 (○ 壁掛形 ○ 自立形 ○ 単独 ○ 複合) ○ 自動閉鎖装置 (○ 防火戸 ○ 防火扉 ○ 防火シャッター) ○ 受信機 型 級 回線 (○ 壁掛形 ○ 自立形 ○ 単独 ○ 複合) ○ 非常警報装置 ○ 機器一体形 (○ 埋込形 ○ 露出形) ○ 各機器単独設置
	2 特記仕様	項目は、●印の付いたものを適用する。 特記事項は、○印がある場合は、●印の付いたものを適用する。	○ OAフロアー ● 接地極	○ 設備容量 ○ 進相コンデンサ	変圧器総容量 三相 300 kVA 単相 150 kVA ○ 高圧 ○ 低圧 ○ 自動力率制御 (○ 行う ○ 行わない) ○ キュービクル形 ○ 単位閉鎖形 ○ 開放形 (○ 屋内形 ○ 屋外形) ○ 本工事 ○ 別途工事		
章 項 目	特記事項		○ 機器姿図 ● その他 ● 耐震施工	○ 形式 ○ 簡易形	○ キュービクル形 ○ オープン形 ○ 簡易形	構内配電線路	○ 電気方式 ○ 三相3線式 6.6KV ○ 三相3線式 200V ○ 単相3線式 100/200V ○ 単相2線式 100/200V 特記なき埋設深さは、0.6mとする。 地中配線は埋設表示シート(ダブルタイプ)を設ける。 埋設深は (○ 鉄製 ○ コンクリート製) とする。 ケーブル保護材は下記とする。 ○ 波付硬質ポリエチレン管 ○ 耐衝撃性硬質ビニル電線管 ○ 鋼管用炭素鋼管(白管) 鉄蓋には、鉄型流し込みで用途名 (○ 電気 ○ 高圧) を表示する 特記のない限り電柱は0P-12-19-500とし、脚金、硝子、支線その他は電力会社仕様による。 外灯接地は、各ポールごとに施工し埋設は設けない。 外灯基礎は (○ 本工事 ○ 別途工事) とする。
	特記事項		○ 電気方式 ○ 施工方法	○ 原動機 ○ 燃料 ○ その他	電圧 V 定格出力 kVA以上 定格出力 PS以上 始動方式 (○ 電気式 ○ 空冷式) 冷却方式 (○ 水冷循環式 ○ ラジエータ式) ○ 軽油 ○ 灯油 ○ A重油 原動機、発電機と附属機器間の燃料油、冷却水等の配管、制御用配線は監督員の承諾を受けて変更しても差し支えない。		
一般共通事項	● 工事実績情報	登録可能な請負金額の場合：適用する。(登録先(財)日本建設情報総合センター)	○ 電気方式 ○ 施工方法	○ 構造体接地 ○ 等電位接地	○ 構造体接地 ○ 等電位接地	構内交換設備	○ 用途 ○ 電話 ○ 情報 ○ 予備 ○ 拡声 ○ テレビ ○ 火災報知 構内配電線路に準ずる。 鉄蓋には、鉄型流し込みで用途名 (○ 弱電 ○ 電話) を表示する
	● 適用基準等	設計図書は優先順位は原則として下記の通りとする。尚、不明な点は監督員と協議する。 1 現場説明事項 2 電気設備工事仕様書 3 図面 4 共通仕様書	○ 避雷導線 ○ 接地極	○ 避雷導線 ○ 接地極	○ 避雷導線 ○ 接地極		
● 工事用電力・水	● 工事用仮設物	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は、全て請負者の負担とする。 ○ 構内に作ることができる。 ○ 構内に作ることができない。 尚位置については、あらかじめ監督員の承諾を受ける。	○ 防炎用照明器具 ○ PCB含有確認	○ 電気方式 ○ 施工方法	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線	大日光発電設備	○ 用途 ○ 電話 ○ 情報 ○ 予備 ○ 拡声 ○ テレビ ○ 火災報知 構内配電線路に準ずる。 鉄蓋には、鉄型流し込みで用途名 (○ 弱電 ○ 電話) を表示する
	● 残土処分	○ 構内指示場所に敷ならし。 ○ 構内指示場所に堆積。 ● 構外に搬出し、関係法令等に従い適切処理する。	○ 電気方式 ○ 施工方法	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線		
● 発生材の処理	● 産業廃棄物の適正処理について	● 監督員の指示により処理する。 産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督職員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。 工事の経過の記録、使用材料の確認その他監督員の指示事項をカラー写真にて撮影し提出する 総合施工計画書を作成し監督員に提出する。	○ 電気方式 ○ 施工方法	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線	大日光発電設備	○ 用途 ○ 電話 ○ 情報 ○ 予備 ○ 拡声 ○ テレビ ○ 火災報知 構内配電線路に準ずる。 鉄蓋には、鉄型流し込みで用途名 (○ 弱電 ○ 電話) を表示する
● 工事写真	● 施工計画書	機器及び材料は新品とし、監督員の検査を受け合格したものとす。 又同等品以上とする場合は監督員の承諾を受ける。	○ 電気方式 ○ 施工方法	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線		
● 経微な変更	● 隠蔽部の検査	現場の納まり、取り合いなどの関係による協議の中で、設計図書によることが困難又は、不都合な場合の経微な変更は監督員の指示による。この場合、請負金額の変更は行わない。 埋戻し、コンクリート打設及び内装仕上げ等により設備工事が隠蔽となる部分の施工は、前記工事等の施工前に設備工事の部分検査を受けること。	○ 電気方式 ○ 施工方法	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線	大日光発電設備	○ 用途 ○ 電話 ○ 情報 ○ 予備 ○ 拡声 ○ テレビ ○ 火災報知 構内配電線路に準ずる。 鉄蓋には、鉄型流し込みで用途名 (○ 弱電 ○ 電話) を表示する
● 火災保険等	● 完成図その他	工事施工火災保険又は、それに代る請負賠償責任保険等に加入し、証書の写しを提出する。 加入期間 内部配電配線開始の日から完成期限後14日まで 加入金額 請負金額とする。 工事完成に関わる完成図等は監督員の指示により提出すること。 建物の保全に関する説明書を作成して提出すること。 非常用照明器具の照度測定箇所は、監督員の指示による。	○ 電気方式 ○ 施工方法	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線		
● 照度測定			○ 電気方式 ○ 施工方法	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線	大日光発電設備	○ 用途 ○ 電話 ○ 情報 ○ 予備 ○ 拡声 ○ テレビ ○ 火災報知 構内配電線路に準ずる。 鉄蓋には、鉄型流し込みで用途名 (○ 弱電 ○ 電話) を表示する
			○ 電気方式 ○ 施工方法	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線	○ 金属管配線 ○ 合成樹脂管配線 ○ PF管配線 ○ ケーブル配線		

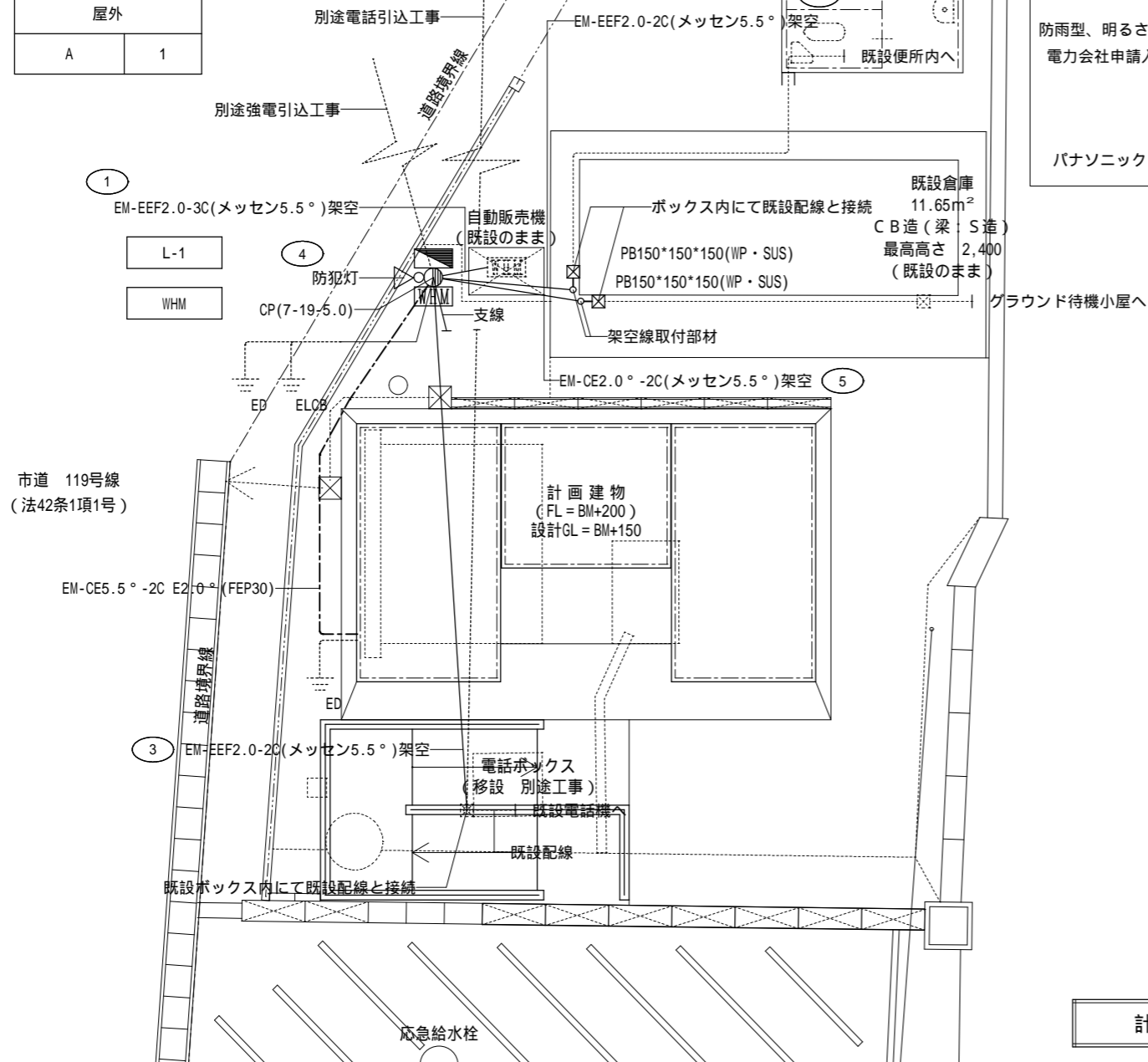
SCALE	DATE	TITLE	No.	 設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山 光 司	CHARGE	DESIGN
---	2023.06.30 2023.08.10	広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図	E-01			
		NAME				
		電気設備 特記仕様書				

改修

図中、太線で示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし、薄線で示したものを対象外とする

別途工事 電話ボックス 移設工事（盤からの配線共）

屋外	
A	1



A LED防犯灯 蛍光灯FHP32形相当

光束10701m、消費電力9W、電圧100V
 昼白色、5500K、Ra80
 、光源寿命6万時間（光束維持率80%）
 本体：ASA樹脂（クールホワイト）
 前面パネル：アクリル
 防雨型、明るさセンサ内蔵、優良防犯機器RBS S認定品
 電力会社申請入力容量9.2VA、雷サージ15kV、
 明光色
 CP取付部材
 落下防止ワイヤー
 パナソニック NNY20348LE1

WHM 鋼板製 ポール取付型 監督員指定色 国土交通省仕様

1 3W 100/200V

MCCB3P 50AF/50AT

EM-CE8.0°-3C E3.5° (G36、F38)

L-1 鋼板製 ポール取付型 監督員指定色 国土交通省仕様 6.1kw

1 3W 100/200V

EM-CE8.0°-3C E3.5° (G36、F38)

送	MCCB2P 50AF/30AT	2500
	男子女子トイレ R4新築棟	

w	名称	NO	名称	w
1500	ELCB2P 30AF/20AT	1	MCCB2P 30AF/20AT	400
	自販機		女子トイレ	
100	MCCB2P 30AF/20AT	3	MCCB2P 30AF/20AT	100
	電話		外灯	
1500	MCCB2P 30AF/20AT	5	MCCB2P 30AF/20AT	-
	球場バックネット待機小屋		盤内コンセント	
	MCCB2P 30AF/20AT		MCCB2P 30AF/20AT	
	予備		予備	

計画 部分配置図 S=1/100

撤去

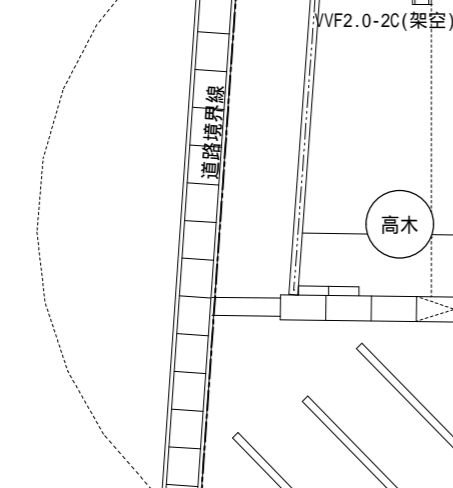
図中、太線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする

別途工事 電話ボックス 移設工事（盤からの配線共）

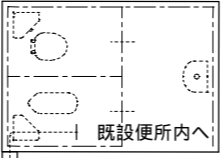
屋外	
防犯灯	1

L-1
WHM

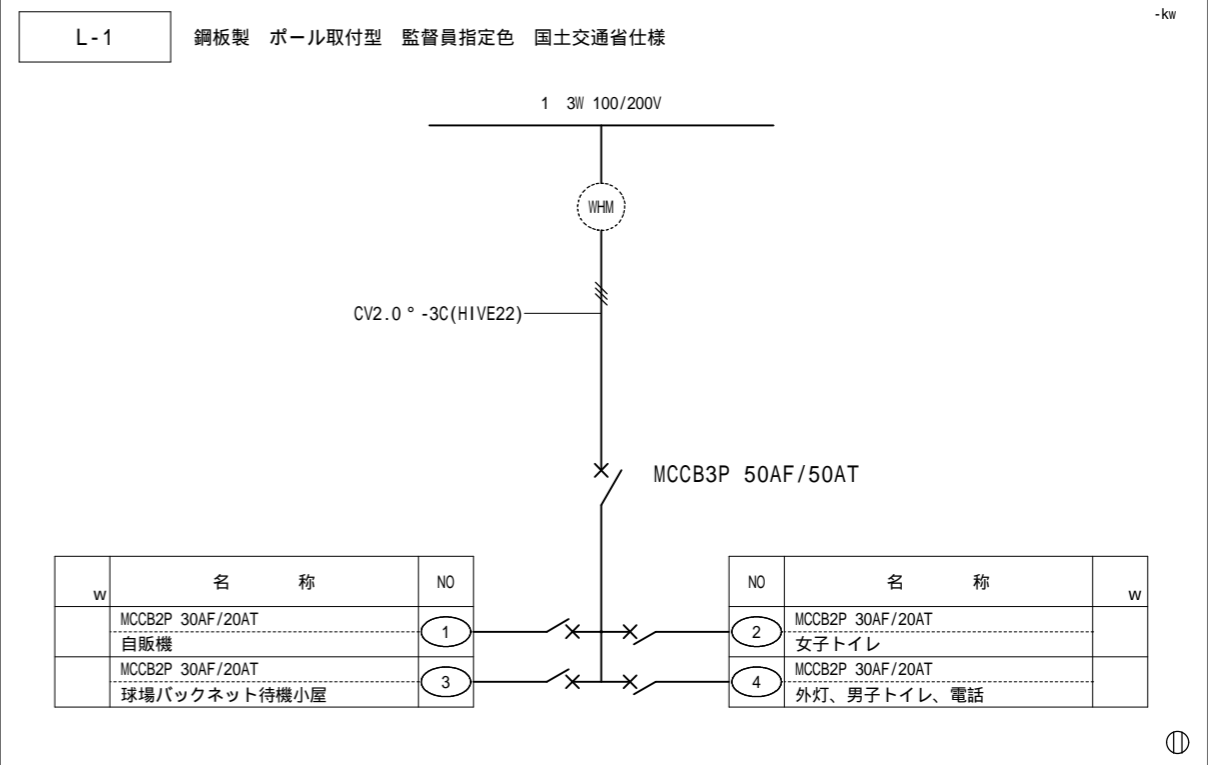
市道 119号線
(法42条1項1号)



既設便所
4.96m²
木造
最高高さ 3,050

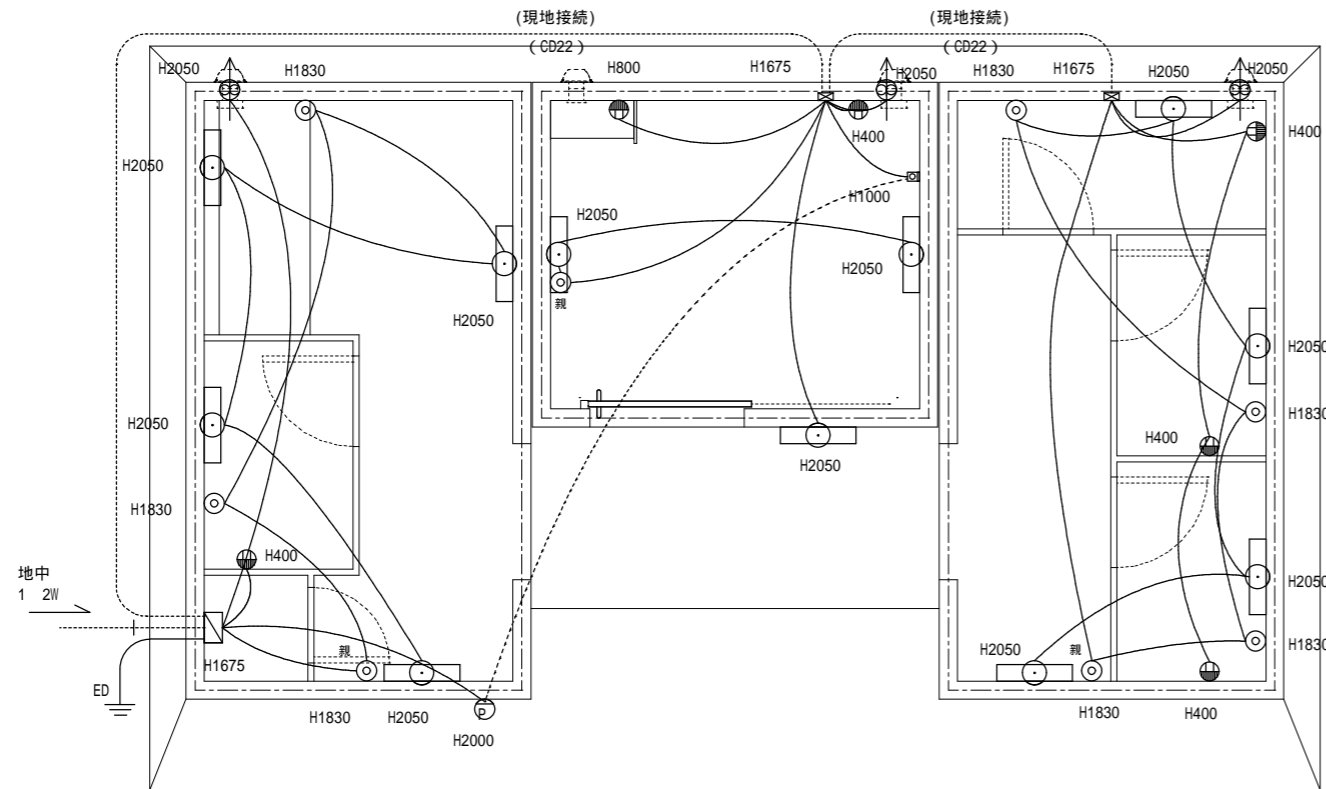


既設倉庫
11.65m²
C B造(梁:S造)
最高高さ 2,400



現況 部分配置図 S=1/100

SCALE S=1/100	DATE 2023.06.30	TITLE 広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図	No.	設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 沢川19303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677	CHARGE	DESIGN
	DATE 2023.08.10					
		NAME 電気設備 撤去 部分配置図	E - 03	1級建築士 大臣登録 第199812号 古山光司		

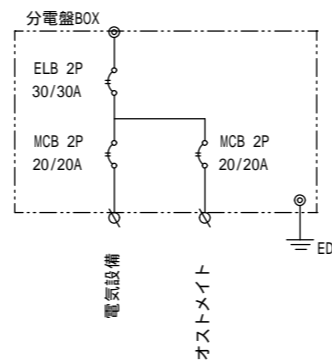


電気設備 平面図 S=1/50

参考消費電力

一般名称	参考品番 (同等品)	消費電力 (1台当り)	台数	小計
人感センサー	WNTK3481	1W	3	3.0W
換気扇 (人感内蔵)	FY-08PFRY9VD	2.2W	3	6.6W
照明器具 (LED)	LUC08	8W	9	72.0W
非常用押釦	WS66772	7W	1	7.0W
非常警告灯	SKH-M2JB-R+SZK-101	3.3W	1	3.3W
洗浄便座	CW-PA21LQF-NE-R1	310W	1	310.0W
洗浄便座	CW-PB21-NEC	310W	4	1240.0W
オストメイト	PTOM-B210W/SSW	707.5W	1	707.5W
			合計	2349.4W

屋外コンセント・将来用コンセント容量はのぞく



電圧：100V 電線：1E/F1.6
 電線管：CD16、CD22 (1次引き込み～分電盤まで、躯体間接続)
 設置ブレーカー容量：30A

	一般名称	参考品番 (同等品)	メーカー (同等品)	消費電力 (1台当り)	台数
☐	分電盤BOX	S012-33A	日東工業		1
		ELB, MCB 非常警告灯用トランス リレー			
◎	照明用センサー (親) 照明用センサー (子)	WTK3481 WTK3911	パナソニック パナソニック	1W	3 5
←◎	換気扇 (人感内蔵)	FY-08PFRY9VD	パナソニック	2.2W	3
☉	照明器具 (LED)	LUC08	MARUWA	8W	10
☉	外部照明器具 (LED)	LGWC80312K	パナソニック	7.1W	1
☐	非常用押釦	WS6677	パナソニック		1
⊕	非常警告灯	SKH-M2JB-R+SZK-101	パトライト	3.3W	1
⊕	設備用コンセント 鍵付きコンセントカバー	RDS20000W	TERADA		6 5
☒	目隠しプレート				1

接地工事は電気設備工事とする。
 取付高さはFLからの高さとする。
 配管・配線は壁内埋込とする。
 記載品番が廃盤の場合は後継機種又は同等代替品に変更する。

SCALE	DATE	TITLE	No.	CHARGE	DESIGN
	2023.06.30				
S=1/50	2023.08.10	NAME	1級建築士 大臣登録 第199812号	古山 光司	
電気設備 平面図、機器表					



設計工房古山

1級建築士 大臣登録 第199812号


古山 光司

工事名称 広見市民グラウンド屋外便所新築工事				
仕様書				
1. 工事概要書				
1. 工事場所	岐阜県 可児市 広見 地内			
2. 建物概要				
建物名称	構造及び階数	延べ面積	消法令の適用	備考
3. 工事種目				
建物別及び屋外	工 事 種 別			
工事種目	屋 内		屋 外	
・ 空気調和設備				
○ 換気設備	工事一式			
・ 排煙設備				
○ 衛生器具設備	工事一式			
○ 屋内給水設備	工事一式			
○ 屋外給水設備	工事一式		工事一式	
○ 屋内排水設備	工事一式			
○ 屋外排水設備	工事一式		工事一式	
・ 給湯設備				
・ 消火設備				
・ ガス設備				
・ し尿浄化槽設備				
4. 設備概要				
方式及び種別	設 備 概 要 (・ 本工事 ・ 既存)			
・ 空調方式	・ 空気調和 ・ ダクト方式 ・ パッケージ方式 (マルチ方式)			
・ 暖房方式	・ ファンコイル方式 ・ ダクト方式 ・ 輻射方式			
・ 自動制御方式	・ 電気式 ・ 電子式 ・ 空気式			
○ 給水方式	○ 水道直結方式 ・ 高置水槽方式 ・ 圧力タンク方式 ・ 電気式 ・ 圧力給水			
○ 排水方式	○ 建物内汚水、雑排水 (・ 分流 ○ 合流) ・ 建物外放流先 ○ 汚水・雑排水→下水本管 ・ 雨水→水路			
・ 消火設備の種類	・ 屋内消火栓設備 ・ スプリンクラー設備 ・ 泡消火設備 ・ 消火器 ・ 二酸化炭素消火設備 ・ 屋外消火栓設備			
・ ガスの種類	・ 都市ガス (種類 :) ・ 液化石油ガス (発熱量 : kcal/Nm ³) 12,000 kcal/kg			
II 特記仕様書				
1. 共通仕様	特記仕様及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁官務部監修の公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (最新版) 及び公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (最新版) 並びに国土交通省官庁官務部設備・環境課監修の公共建築設備工事標準仕様書 (機械設備工事編) (最新版) による。			
2. 指定部分	・ 無 ・ 有 対象部分			
3. 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用する。				
4. 工事仕様	1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを用いる。 2) 特記事項のうち選択する事項は、◎印の付いたものを用いる。			
業 項 目	特 記 事 項			
● 一般共通事項	① 資 材 等 本工事に使用する資材等は、設備資材等指定表によるほか、同等品以上とする。ただし、同等品以上のものとする場合は、取扱監督員の承諾を受ける。 ② 技能士の適用 ○ 配管 (配管工事) ・ 建築板金 (ダクト製作及び取付け) ・ 熱線線施工 (保温工事) ・ 冷凍空気調和機器施工 (クーリングユニット、パッケージ型空気調和器の取付け及び整備) ・ 資格区分Ⅰ ・ 資格区分Ⅱ 4. 電気保安技術者 ・ 置く ・ 置かない ⑤ 資材等の検査及び試験 検査及び試験を行うべき資材は、別表 1 によるほか標準仕様書による。 6. 監督員事務所 ・ 設けない ・ 設ける ⑦ 官公署への手続 工事の施工に必要な官公署その他への手続は請負者が代行し、速やかに行う。 ⑧ 工事用電力・水・その他 工事の施工に必要な工事用電力、水及び随手続などの費用は、すべて請負者の負担とする。 ⑨ 工事用仮設備 構内につくることが ○ できる ・ できない ⑩ 臨機の措置 「大規模地对特別措置法」による警戒宣言が発せられた場合工事責任者は、人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の安全措置を講ずるとともに、工事中断などの措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第 2 1 条 (臨機の措置) によって処理されるものとする。			

① 足場・さん積組	○ 別契約の関係請負者が指定したものは無償で使用できる。本工事で使用する。															
② 残土処理	○ 構外搬出適切処理 ・ 構内敷きならし															
③ 埋め戻し土・盛土	○ 根切り土中の良質土 (ただしヒューム管以外の周囲は山砂の類) ・ 山砂の類															
14. 発生材の処理	引き渡すを要するもの ・ なし ・ あり (機器類及び金属類) ・ 特別管理産業廃棄物あり (ノ) 図による。 但し引き渡しを要しないものは、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進条例等の関係法令等に従い、構外搬出適切処理 (片道の運搬距離約 km)															
⑮ 製作図・施工図・見本等	製作図・製作仕様書・施工図・見本等は、施工に先立ち速やかに監督員に提出する。															
⑯ 工事写真	監督員の指示により撮影し提出する。															
⑰ 完成図・その他	工事完成に関わる完成図等は監督員の指示により提出すること。															
18. 案内板	機器等の取扱い方法及び重要な定期点検項目を記載したアクリル樹脂製の案内板を主機械室に設ける。但し案内板の大きさは、約 m ² とする。 ○ 本工事として下記項目の測定表を提出する。 ・ 別途															
⑱ 総合調整	総合調整項目 ・ 風量調整 ○ 水量調整 ・ 室内外空気の温度度の調整 ・ 室内気流及びしんあいの測定 ・ 騒音の測定 ○ 初期運転状態の記録															
⑳ 電動機	測定箇所等は監督員の指示による。 換気扇、圧力扇、その他これらに類するものの電動機の保護規格は、製造者規格による準拠品としてよい。 ○ 60 ・ 50) Hz とする。 (1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。															
㉑ 電源周波数	⑱ 容量等の表示															
㉒ 容量等の表示	前置施工方法は、標準仕様書及び標準図による。 設計用水平地震力は、下表に示す震度に機器の重量を乗じたものとし、設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の 1/2 とする。															
㉓ 前置施工	設計用水平地震 (地域係数は 1.0 とする。)															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">震度の区分</th> <th colspan="3">震の区分</th> </tr> <tr> <th>1 階</th> <th>2 階以上</th> <th>塔屋・屋上層上層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重要機器等</td> <td>0.6</td> <td>1.0 (1.3)</td> <td>1.5 (2.0)</td> </tr> <tr> <td>一般機器等</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>	震度の区分	震の区分			1 階	2 階以上	塔屋・屋上層上層	重要機器等	0.6	1.0 (1.3)	1.5 (2.0)	一般機器等	0.4	0.6	1.0
震度の区分	震の区分															
	1 階	2 階以上	塔屋・屋上層上層													
重要機器等	0.6	1.0 (1.3)	1.5 (2.0)													
一般機器等	0.4	0.6	1.0													
	注) 重要機器で防振装置付きは、() 内 () 数値とする。 重要機器は次による。 ・ タンク類 ・ 防災機器 ・ ボイラー ・ 冷水機 ・ 冷凍機 ・ 冷却塔 ・ 電算室用空調機															
	一般機器等は、下記による。 ・ 地上 3 階以上の建物に設置される重量 100 KG 以上の機器。															
㉔ 弁の耐圧	特記のない弁は、JIS 10K とする。 油圧に使用する弁は、JIS 10K (マレブル弁等) とする。 水道直結給水配管系統に使用する弁は、JIS 10K とする。															
㉕ 支持金物及び架台類	屋外部分は鋼製溶融亜鉛めっきまたはステンレス鋼製 (SUS304) とする。															
㉖ 防振吊り金物及び防振支持金物	次の配管には防振吊り金物 ○ シングル ・ ダブル) 又は、防振支持金物をもうける。 ただし、屋外及び地下ビット内等を除く。 ・ 口径 65 A 以上の配管 (・ 冷温水 ・ 冷却水 ・ 排水) ・ 次に示す配管															
㉗ 地中埋設機	○ 設ける ○ 標準図によるもの ・ 表面径 100mm のアルミ製) ・ 設けない ○ 設置箇所は図示による															
28. 管溶接部の検査	標準仕様書第 2 編 2. 5. 13. 12 の溶接部の非破壊検査の適用。 ・ 不要 ・ 要															
29. 絶縁フランジ	図示の箇所に取り付ける。															
30. 防食措置	次の土中埋設配管には (・ ベトラタム系 ・ プチルゴム系) による防食措置を行う。															
㉘ 保温	図面に特記なき場合は下記によるほか標準仕様書第 2 編による。ただし各工事項目別に指定されたものは除く。 ・ ダクトの保温外装は下記による。 カラ鉄板ラッキング ・ 塩ビスリムダクト ・ カラ鉄板ダクト ・ 配管の保温外装は下記による。(冷媒管は除く) ステンレス鉄板ラッキング (屋外) カラ鉄板ラッキング (屋内露出)															
32. 吹出口等の色	監督員の指示による。															
33. 塗装	下記の金属電線管は塗装を行う。 ・ 屋外露出															
	表示なき電線は、エコ電線とする。ただし、自動制御設備に係る配線は標準仕様書による。															
㉙ はつり	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。															
35. 天井仕上区分	室名に△印を付した部屋は、天井材を張らない部屋を示す。															
㉚ 他工事との取り合い	一次側電線管及び電線 ○ 別途工事 ・ 本工事 二次側電線管及び電線 ○ 別途工事 ・ 本工事 設備機器等のスリーブ ・ 別途工事 ・ 本工事 設備機器等の型枠 (ただし大壁用を除く) ・ 別途工事 ・ 本工事 設備機器等の開口補強スリーブ ・ 別途工事 ・ 本工事 設備機器等を取り付けるためのお天井及び壁の下地組及び仕上げ材の切り込み ○ 別途工事 ・ 本工事 改修工事等におけるコンクリート壁及び床などのはつり及び補修 はつり ○ 別途工事 ・ 本工事 瓦補修 ・ 別途工事 ・ 本工事 仕上り補修 ・ 別途工事 ・ 本工事 天井材及び壁などのボード類の撤去 ・ 別途工事 ・ 本工事															
38. その他	天井材及び壁などのボード類の復旧 ・ 別途工事 ・ 本工事 コア抜き (補修共) ・ 別途工事 ・ 本工事															

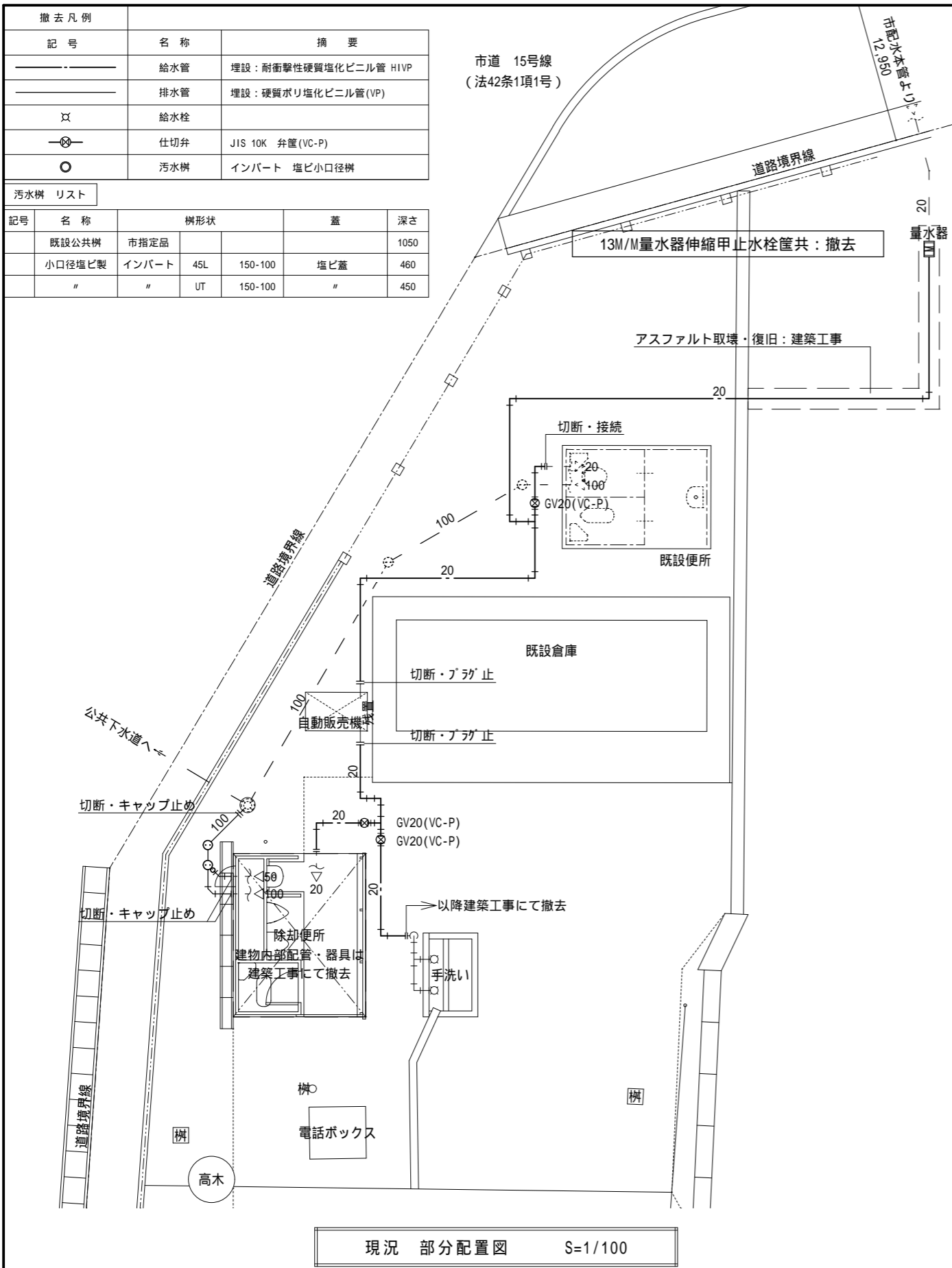
1. 設計温度	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">外気</th> <th colspan="4">屋内 (調整目標値)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一般系統</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>35.0</td> <td>55.6</td> <td>28.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-2.1</td> <td>65.2</td> <td>22.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		外気		屋内 (調整目標値)				一般系統						温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)			夏季	35.0	55.6	28.0				冬季	-2.1	65.2	22.0			
	外気		屋内 (調整目標値)																															
	一般系統																																	
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																														
夏季	35.0	55.6	28.0																															
冬季	-2.1	65.2	22.0																															
2. パッケージ型空気調和機	・ 電気ヒーター (KW以上) を組み込む場合は、送風機に誘電体回路を設ける。 ・ 冷媒管の能力は JIS B8615 による表示とする。 ・ 冷媒管は、製造者の標準仕様による。 ・ 冷媒管の保護は、製造者の製造者の標準仕様による。ただし屋外露出部分は、(・ ステンレス製 ・ 着色亜鉛鉄板 ・ 塩ビスリムダクト) によりラッキングを行う。 ・ 圧縮機用電動機の合計出力が 7.5 KW 未満は、すべて製造者の標準仕様による。																																	
3. 地下オイルタンク	据え付け方法は、標準図による。 ・ 施工 2 4 (タンク室あり) ・ 施工 2 4 (タンク室なし) ・ 本体は (・ アスファルト ・ モルタル ・ エポキシ樹脂) により保護を行う。																																	
4. ばいじん量測定口	設ける (測定口は 80 A とし、取り付け箇所は煙道の直線部とする)																																	
5. ばい煙濃度計取付座	・ 設ける ・ 設けない																																	
6. ダクト	低速ダクト (・ アンダルフ工法 ・ 共板工法 ・ スライド工法) とする。																																	
7. チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機の吸込み側及び吐出側に接続するチャンパーの板厚は、1.2 mm 以上とする。なお、製作及び取付けは、アンダルフ工法ダクトの当該事項による。 図示されたチャンパーには、寸法 (・ 約 400 × 500 H) (3) 外壁に面するガラスに直接取付けるチャンパー及びホッパーは、雨水の滞留の少ないように施工する。 (4) シーリングヒューズ形状出口には、下記の接続チャンパーを設ける。 a) ネット径が 200 φ 以下 400 × 400 × 250 H b) ネット径が 200 φ 2 を超えるもの 500 × 500 × 300 H																																	
8. ダンパー	(1) 防煙ダンパー 操作方式 瞬時通電式又は電動式 (DC24V、0.5A以下) 復帰方式 (・ 遠隔) 定格入力 DC24V、0.5A 以下とする。 (2) ビストダンパー 復帰方式 (・ 遠隔)																																	
9. 配管材料	(1) 蒸気管 給気管 送管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) S A h 4 0 ・ 圧力用炭素鋼鋼管 (黒) S c h 4 0 (2) 油管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) (3) 冷温水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) (4) 冷却水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) (5) 空用排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ VP (6) 廊下管、空気抜き管及び配管タンクよりボイラー等への補給水管は配管用炭素鋼鋼管 (白) とする。また、加温用又は冷却水補給水管は、塩ビライニング鋼管又はポリ粉体ライニング鋼管とする。																																	
10. 弁 類	冷温水コイル及び蒸気加熱コイルまわり (標準図 施工 2 9. 3 3) の弁は仕切弁とする。																																	
11. 温 度 計	温度計は (・ 円形指針計 (バイメタル式 100 φ) ・ L 形温度計) とする。																																	
12. 瞬間流量計	・ 検出部と指示部一体形を設ける。 ・ 指示部の脱着可能なタイプを設ける。 ・ ビト一管式流量計用タッピングのみを設ける。 取付箇所は、次による。 ・ ユニツト型空気調和機 ・ 冷温水ポンプ ・ 冷却水ポンプ ・ ヘッダーの各送り管 ・ ヘッダーの各送り管																																	
● 換気設備	1. ダクト 低速ダクト (・ アンダルフ工法 ・ 共板工法 ・ スライド工法 ・ スパイラルダクト) とする。 2. ダンパー 空気調和設備の当該項目による。 3. チャンパー 空気調和設備の当該項目による。 4. その他 OAダクト及び EAダクトは全て保温施工とする。																																	
排煙設備	1. ダクト ・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板 (1.6mm) 2. 排煙口の形状 ・ 天吊り付 (・ スリット形 ・ スイグ形) 3. 排煙口開放装置 ・ 壁取付 (・ スリット形 ・ スイグ形) ・ 手動及び遠隔操作の可能なもの。 ・ 手動 建築設備定期検査業務指導書 (日本建築設備安全センター) の排煙風量の点検方法に準ずる。																																	
● 衛生設備	1. 浴槽ふた JIS A5708 又は、SG 規格による。 2. 掃除流し 排水口は (・ 目皿 ・ 鎖付き共栓) とする。 3. 水石けん入れ ・ 衛生器具取付形 ・ 壁取付け形 4. 水 栓 水栓は節水型コマとする。 5. 衛生器具等の色 標準色の範囲で、監督員の指示による。																																	
● 屋内給水設備	① 配管材料 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (・ VB ・ FVA) ○ 水道用硬質塩化ビニル管 ○ H1VP ・ VP) ・ ステンレス鋼管 (管管式) ・ ｶﾞﾗﾞﾝﾞ管 (管管+工法) 水栓BOX 消音+ﾌ ・ ヘッダー (・ 樹脂製 ・ 青銅製 ・ 系統名称 ・ 個別系統止水栓) ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (PA, FPA) ただし土中埋設部は (VB, FVA) 又は (PA, FPA) を (・ VD, FVD) 又は (PD, FPD) に読み替える。 2. 量水器 水道事業者の、認定品とする。																																	
● 屋外給水設備	① 引き込み付金付 ○ 要 (・ 本工事 ○ 別途工事) ・ 不要 ・ 直接工事 (・ 本工事 ・ 別途工事) ② 配管材料 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VD, FVA) ○ H1VP ・ ポリエチレン管 ③ 量水器 ○ 観メーター (・ 貸与品 ・) ・ 子メーター (・ 買取り ・) ④ 量水器 ○ 水道事業者の、認定品 (・ 貸与品 ○ 買取り) ・ 標準図 MC 形 ⑤ 水栓柱 ○ 合成樹脂製 ・ 人工とぎし製 ・ ステンレス製 ⑥ 埋設表示テープ ○ 設ける ・ 設けない ⑦ 管の埋設深さ 埋設深さは原則として、一般敷地は (○ 300 ・) mm 構内道路は (○ 600 ・ 1200) 以上とする。																																	

● 1. ステンレス流し	流し台 (・ 別途工事 ・ 本工事) トラップ (・ 別途工事 ・ 本工事)
② 配管材料	ステンレス製流しの床下部分の配管は、VP を使用してもよい。 (1) 屋内汚水配管 ○ VP (~100) ・ VU (125 ~) ・ 消音管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ コーティング鋼管 (2) 屋内一般雑排水管 ○ VP (~100) ・ VU (125 ~) ・ 消音管 (3) 一般用排水通気管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ VP ・ 消音管
③ 試 験	漏水試験 ・ 行わない ○ 行う 煙試験 ・ 行わない ○ 行う
● 1. 放流納付金	・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 直接工事 (・ 本工事 ・ 別途工事)
② 配管材料	・ 遠心力鉄筋コンクリート管 ○ VP (~100) ・ VU (125 ~)
3. 下水管工事	・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) (図示部分のみ) ・ 硬質塩化ビニル管 (VP)
1. 配管材料	・ 保温付き被覆鋼管 ・ 被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ 給湯用塩ビライニング鋼管 ・ H1VP ・ スリム鋼管 (おたけ接合) ・ ｶﾞﾗﾞﾝﾞ管 (管管+工法) 水栓BOX 消音+ﾌ ・ ヘッダー (・ 樹脂製 ・ 青銅製 ・ 系統名称 ・ 個別系統止水栓) 図示箇所に取り付ける。
2. 防食措置	下記によるほか、標準仕様書第 2 編 2. 1. 4 による。
3. 保温	・ 湯沸器の給排水管 (二重管) の隠へい箇所は保温を行う。
1. 配管材料	(1) 屋内消火栓 配管用炭素鋼鋼管 ・ SGP 白 外面塩ビライニング (埋設部) (2) 連結送水管 ・ SGP 白 外面塩ビライニング (埋設部) (3) スプリンクラー管 ・ SGP 白 外面塩ビライニング (埋設部)
2. 屋内消火栓箱	箱内に別途機器 (発信機及び電路) 取付け用の板を設ける。
3. 屋内消火栓閉弁	・ 10 K
4. 地中埋設管の接合	外面被覆鋼管の呼び径 100 以下はねじ接合とする。
5. 消火器	・ ABC10 型 (2本) プラスチック製置台共
1. 配管材料	露出部及びコンクリート埋め込み部は配管用炭素鋼鋼管 (白) とする。 地中埋設部は、ポリエチレン被覆鋼管又は塩化ビニル被覆鋼管とする。 都市方の場合配管材料等は、ガス供給事業者の供給規定による。
2. ガスメーター	・ 借用 ・ 本工事
3. ガス弁ペ	・ 借用 ・ 本工事
4. ガス漏れ警報器	・ 設ける (個別式 外部警報 ・ 有 ・ 無) ・ 設けない 設置箇所は図示による。
5. 気密試験	保持時間は、25 分以上とし記録計による測定表を提出する。
6. その他	ガスボンベ転倒防止の鎖は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 ガスボンベ置場のコンクリート基礎は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。

SCALE	DATE	TITLE	No.	 設計工房古山 岐阜県可児市広見1丁目16番地 〒517303 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677	CHARGE	DESIGN
—	2023.06.30	広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図	—			
—	2023.08.10	機械設備 特記仕様書	M-01			
				1 級建築士 大臣登録 第199812号	古 山 光 司	

記号	名称	摘要
—	給水管	埋設：耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H1VP
—	排水管	埋設：硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
⊗	給水栓	
⊗	仕切弁	JIS 10K 弁蓋 (VC-P)
○	汚水樹	インバート 塩ビ小口径樹

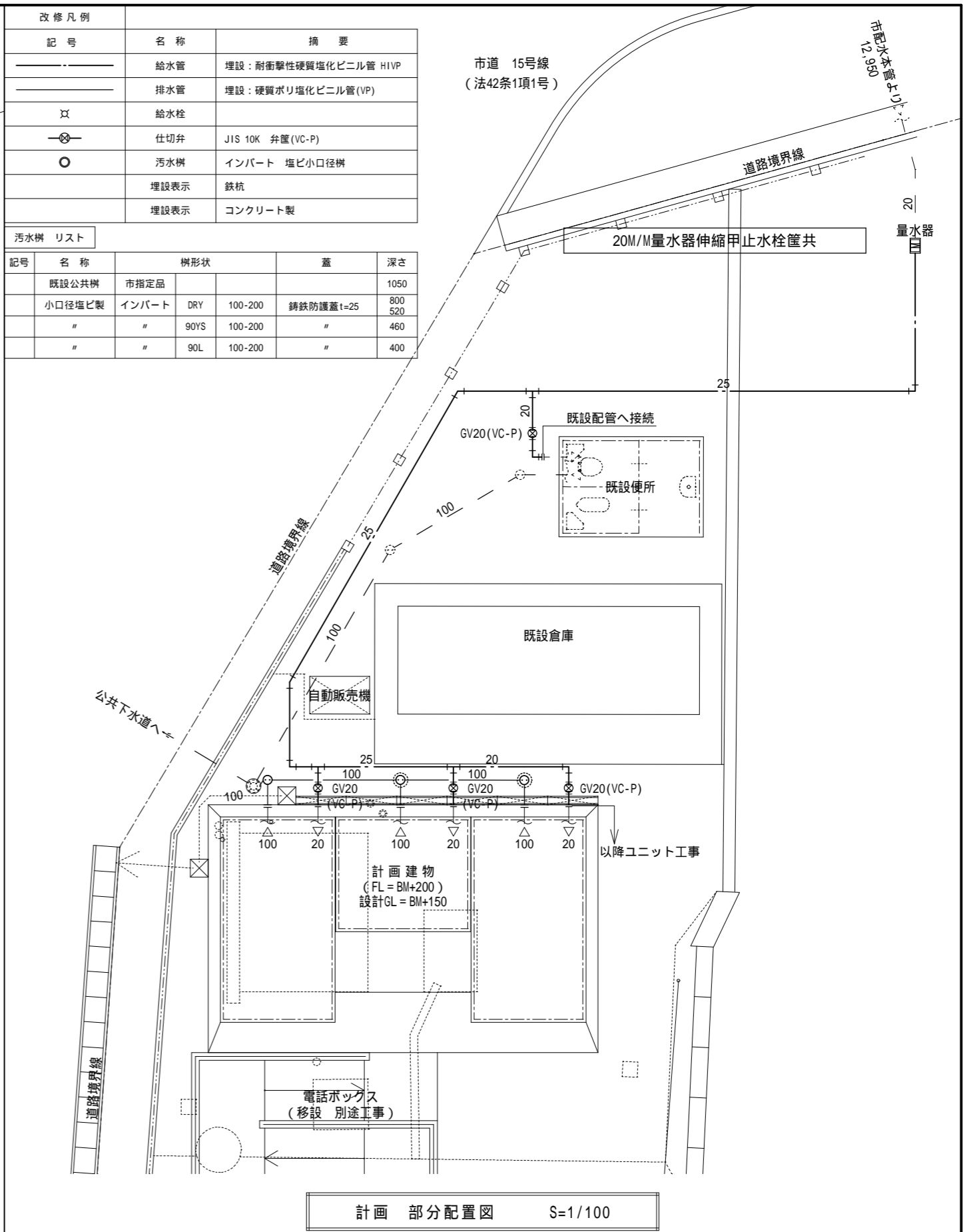
記号	名称	樹形状	蓋	深さ
	既設公共樹	市指定品		1050
	小口径塩ビ製	インバート	45L 150-100	塩ビ蓋 460
	"	"	UT 150-100	" 450



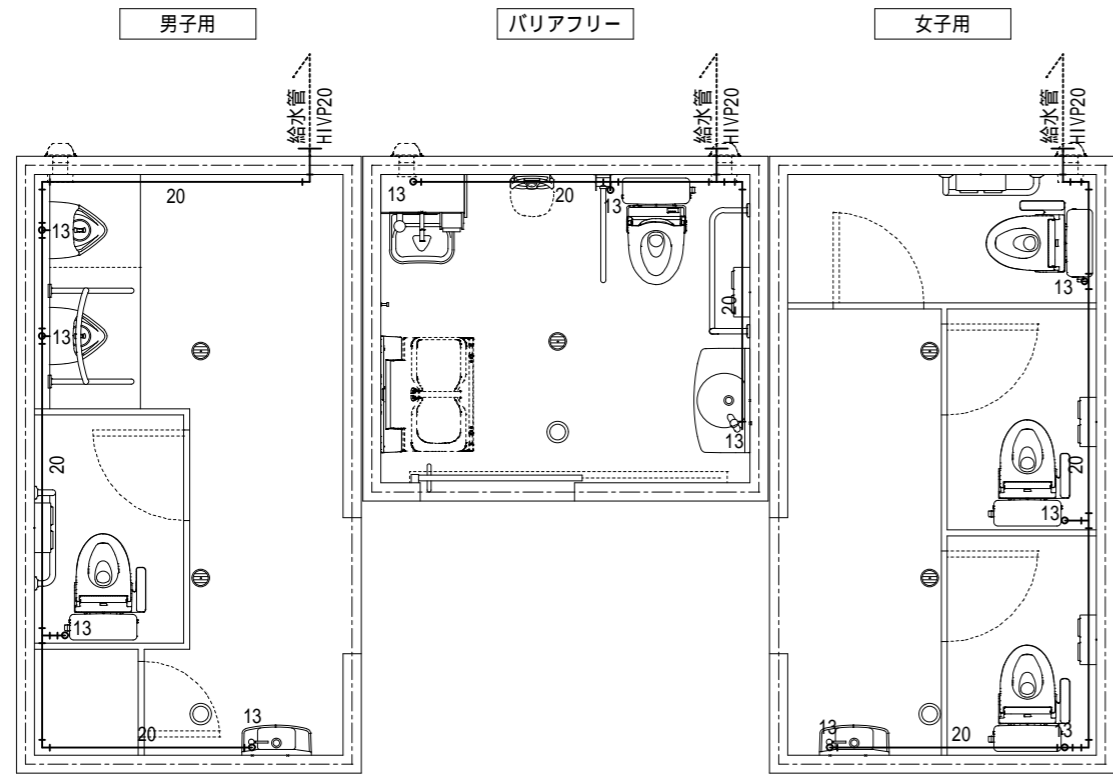
現況 部分配置図 S=1/100

記号	名称	摘要
—	給水管	埋設：耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H1VP
—	排水管	埋設：硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
⊗	給水栓	
⊗	仕切弁	JIS 10K 弁蓋 (VC-P)
○	汚水樹	インバート 塩ビ小口径樹
—	埋設表示	鉄杭
—	埋設表示	コンクリート製

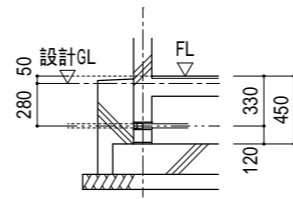
記号	名称	樹形状	蓋	深さ
	既設公共樹	市指定品		1050
	小口径塩ビ製	インバート	DRY 100-200	鑄鉄防護蓋t=25 800
	"	"	90YS 100-200	" 520
	"	"	90L 100-200	" 460
	"	"	" 100-200	" 400



計画 部分配置図 S=1/100



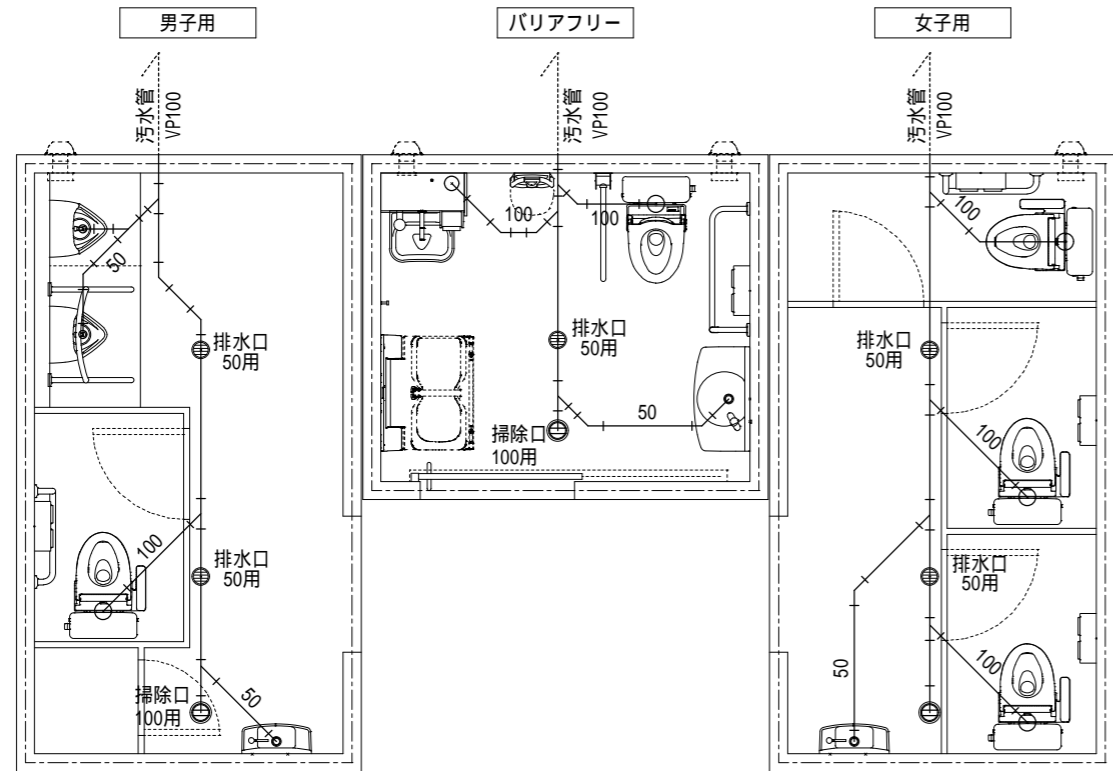
給水設備 平面図 S=1/50



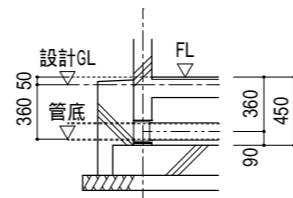
給水部分

給水管管芯 GL - 280

床下給水管はポリエチレンフォーム保温筒巻きとする。
床下配管の吊り金具はユニクロメッキ仕上とする。



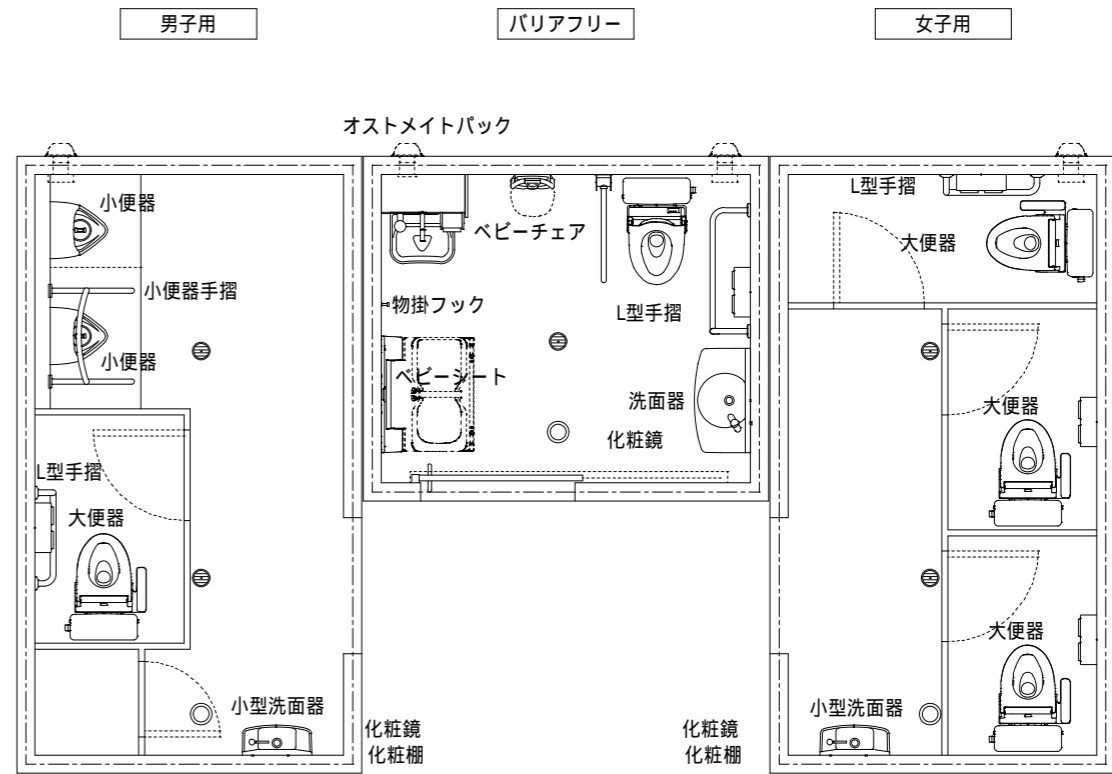
排水設備 平面図 S=1/50



排水部分

汚水管管底 GL - 360

床下配管の吊り金具はユニクロメッキ仕上とする。



衛生設備 平面図 S=1/50

一般名称	参考品番	同等	男子	バリアフリー	女子	数量	備考
大便器	BC-P20SUM	LIXIL	1		3	4	
ロータンク	DT-PA250UCH	LIXIL	1		3	4	
ウォシュレット	CW-PB21-NEC	LIXIL	1		3	4	
大便器	BC-P20SUM	LIXIL		1		1	
ロータンク	DT-PA250UCH	LIXIL		1		1	
ウォシュレット	CW-PA21LQF-NE-R1	LIXIL		1		1	
小便器	U-A31MP	LIXIL	2			2	
オストメイトバック	PTOM-B210W/SSW	LIXIL		1		1	
洗面器	L-275A	LIXIL		1		1	
自動水栓 (自己発電)	AM-300C	LIXIL		1		1	
水石けん入れ	KF-24EM	LIXIL		1		1	
小型洗面器 (自己発電)	L-A74TM2B (水石鹸入れ付き)	LIXIL	1		1	2	
掃除用キー水栓	Y70J	SANEI	1	1	1	3	
L型手摺	SB-103-250	セイワ工業		1		1	
L型手摺	SB-102-120	セイワ工業	1		1	2	
跳上式手摺	SB-604	セイワ工業		1		1	
小便器手摺	SB-201	セイワ工業	1			1	
ベビーシート	OK21W	コンビウィズ		1		1	
ベビーチェア	BK-F62	コンビウィズ		1		1	
紙巻器	CF-AA64	LIXIL	1	1	3	5	
化粧鏡 化粧棚付	KF-3545AB	LIXIL	1		1	2	
化粧鏡	アルポリック 600×900	三菱ケミカル		1		1	
物掛フック	CB-60	シロクマ		2		2	

衛生器具のカラーはLIXIL (ビュアホワイト) とする。

大便器は掃除口付とする。

記載品番が廃盤の場合は後継機種又は同等代替品に変更する。

急激な温度変化による凍結破損は保障の対象外とする。

小便器、手洗器、洗面器のセンサーの電源は自己発電とする。

排水管・給水管一次引込及び接続は設備工事とする。

SCALE	DATE
S=1/50	2023.06.30
	2023.08.10

TITLE	NAME
広見市民グラウンド屋外便所新築工事等 設計図	機械設備 平面図、機器表

No.	M - 03
-----	--------


設計工房古山
 岐阜県可児市広見1丁目16番地 〒51419303
 TEL 0574-63-2101 FAX 0574-63-2677
 1級建築士 大臣登録 第199812号 古山 光 司

CHARGE	DESIGN
--------	--------